

立川競輪事業の将来像について（2020 年版）



**令和2（2020）年
立川市**

立川競輪事業の将来像について（2020 年版）

目次

第1章	はじめに	・・・ 1
第2章	立川競輪を取り巻く現状	・・・ 3
第1節	競輪事業の現状	・・・ 3
1	公営競技全体の動向	・・・ 3
2	娯楽産業全体の動向	・・・ 4
第2節	立川競輪事業の将来像について（2014 年版）に係る取組事項	・・・ 5
第3節	立川競輪の現状と課題	・・・ 13
1	車券売上の推移と過去の予測との比較	・・・ 13
2	その他売上の推移と過去の予測との比較	・・・ 15
3	開催経費の推移と過去の予測との比較	・・・ 17
4	収支の推移と過去の予測との比較	・・・ 19
第4節	開催経費の推移	・・・ 20
第5節	今後の収支予測	・・・ 22
1	車券売上の推移予測	・・・ 22
2	その他収入の推移予測	・・・ 23
3	支出の推移予測	・・・ 24
4	収支の推移予測	・・・ 25
第6節	顧客ニーズ分析	・・・ 26
1	立川競輪来場者アンケート調査	・・・ 26
2	アンケート結果のまとめ	・・・ 27
第3章	収支改善策	・・・ 47
第1節	売上浮揚策	・・・ 47
第2節	経費削減策	・・・ 51
第3節	その他取組事項	・・・ 53
第4章	今後の収支予測（改善後）	・・・ 57
第1節	車券売上の推移予測（改善後）	・・・ 57
第2節	その他収入の推移予測（改善後）	・・・ 58
第3節	支出の推移予測（改善後）	・・・ 59
第4節	収支の推移予測（改善後）	・・・ 60
第5章	まとめ	・・・ 61

《用語解説》	・ ・ ・ 63
《資料》	・ ・ ・ 67
資料1 アンケート調査結果	・ ・ ・ 69
資料2 ヒアリング調査結果	・ ・ ・ 89
資料3 収支改善について	・ ・ ・ 93
資料4 一般会計への繰出金	・ ・ ・ 96
資料5 基金残高	・ ・ ・ 97
資料6 施設改修及び保全について	・ ・ ・ 99
資料7 立川競輪事業の将来像検討委員会委員名簿	・ ・ ・ 102
資料8 立川競輪事業の将来像検討委員会設置要綱	・ ・ ・ 103
資料9 検討の経過	・ ・ ・ 104

第1章 はじめに

競輪事業は、自転車競技法に基づき、自転車その他の機械の改良及び輸出の振興、機械工業の合理化並びに体育事業その他の公益の増進を目的とする事業の振興に寄与するほか、地方財政の健全化を図るために行われています。

立川競輪場は、昭和26年の開設以来、経済の活性化に寄与するとともに平成30年度までに約1,327億円を収益から一般会計に繰出し、教育施設、道路、下水道の整備等市財政に大きく貢献してきました。

しかしながらレジャーの多様化、お客様の高齢化や人口減少に伴う社会構造の変化など、競輪事業を取り巻く環境変化の影響により、車券発売金額は平成4年度の907億円をピークに年々減少し、平成30年度には151億円となりました。また、一般会計への繰出金も平成元年度の78億円をピークに減少し、平成17年度からは各年度1千万円としていましたが、平成27年度以降は各年度1億円を繰出しております。

この「立川競輪事業の将来像について」は、現状を的確に把握するとともに、安定的な収益を確保し、持続可能な競輪事業とするための経営分析であります。

前回策定しました「立川競輪事業の将来像について（2014年版）」（以下「将来像（2014年版）」）では、平成27年度から平成31年度までの5年間の収益見込みを予測するとともに、安定的な収益を確保するための施策を検討したところ、立川市営競輪においても収益は確保しているものの車券発売金額や入場者数の減少が続く状況から、さらなる経営の合理化と売上浮揚策を継続的に講じる必要があると結論づけました。

また、平成24年2月に策定した「立川競輪場施設改修基本計画」に基づき、施設改修工事（第1期）を施工し、平成28年12月にリニューアルオープンしましたが、残りの改修計画対象施設のほか、バックスタンドや選手宿舎等の施設の老朽化、投票機器やモニター等の投票に関する設備の更新も喫緊の課題となっております。

今回策定した「立川競輪事業の将来像について（2020年版）」（以下「将来像2020年版」）は、上述の「将来像（2014年版）」の検証作業・現状分析を行い、令和2年度から令和6年度までの5年間の収益見込みを予測するとともに、安定的な収益を確保するための施策を提言しています。

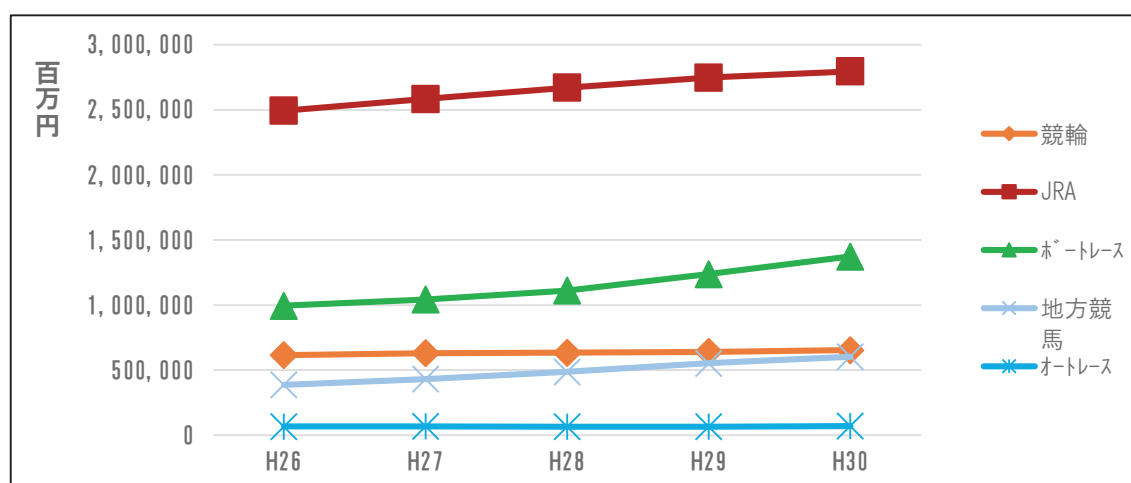
第2章 立川競輪を取り巻く現状

第1節 競輪事業の現状

1 公営競技全体の動向

(単位：円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30
競輪	615,881,029,300	630,805,270,900	634,598,214,600	640,006,209,000	654,117,125,300
JRA	2,493,627,729,400	2,583,391,869,800	2,670,880,261,600	2,747,662,484,800	2,795,008,304,000
ホートレース	995,288,192,100	1,042,282,409,300	1,111,151,064,600	1,237,880,607,300	1,372,792,640,700
地方競馬	387,906,395,590	431,027,383,030	487,001,199,590	552,539,256,190	603,387,372,180
オートレース	66,818,335,100	67,849,594,800	65,416,266,300	65,953,132,000	70,447,687,200



公営競技全体でみると平成30年度の売上は約5兆4,958億円（前年度比4.8%増）となり、7年連続の売上増となりました。

中央競馬1.7%増、地方競馬9.2%増、ボートレース10.9%増、オートレース6.8%増、競輪2.2%増であり、特に地方競馬とボートレースの売上増が目立っています。地方競馬の売上増加は、中央競馬との連携による施策の効果が定着した結果であり、ボートレースは、インターネットを含む電話投票の売上増加や外向場外発売所の売上増加もあり、広域的な発売の拡大による施策の成果が出た結果となっています。

2 娯楽産業全体の動向

公益財団法人日本生産性本部が発行する「レジャー白書 2019」によれば、2018 年の国内の余暇市場規模は 71 兆 9,140 億円で、その内、娯楽部門の市場規模は 49 兆 100 億円で、それぞれ前年からほぼ横ばいでした。

分野別では、ゲームセンター、公営競技、宝くじ、外食は前年比増となっていますが、パチンコ・パチスロ、スポーツ振興くじ toto は前年比減となっています。

「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」いわゆる IR 推進法が成立し、関連するギャンブル等依存症対策基本法等への対応もあり、パチンコ業界や公営競技では課題となっています。

第2節 立川競輪事業の将来像について（2014年版）に係る取組事項

「立川競輪事業の将来像について（2014年版）」では、収支改善策として施設改善と経費削減を大項目とし、施設改善では6つの施策を、経費削減では4つの施策を取り上げています。

今回更新にあたり、施策に係る検証作業を行い、以下のとおりまとめました。

立川競輪場施設改修基本計画に伴う3つのコンセプトに基づき、第1期工事を実施	
1 施設改善	①市民に愛される競輪場 ②安定的な事業収益を確保できる競輪場 ③防災機能を強化した競輪場

(1) 雨に濡れない施設				
現在、立川競輪場には十分な数の椅子・ベンチ等が設置されていますが、その大部分が屋外に位置し、雨天時には座席数不足が発生しているとの声が挙がっています。現在の半屋外部分への座席の設置もしくは屋外座席への屋根若しくはテントの設置が必要だと考えます。				
平成27年度	平成28年度 (GP)	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (GP)
実施中	完了	—	—	—
立川競輪場施設改修基本計画に基づき第1期工事を実施。	施設改修工事 第1期では、一般観覧席の内装及び空調設備の改修を行い、また45脚135名が座れる椅子もあわせて設置し、完全屋内化しました。			新たに20脚60名分の椅子を設置。

* 表中の「(GP)」は立川競輪場での KEIRIN グランプリ※1 開催年度を示す

(2)トイレ改善				
お客様アンケート結果より、トイレを改修して欲しいとの声が多数挙がっています。明るく清潔なトイレは、既存のお客様が快適に過ごして頂けるだけでなく、新規顧客に再来場して頂く為の最低限必要な設備だと考えます。				
平成 27 年度	平成 28 年度 (GP)	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (GP)
実施中	完了	—	—	—
立川競輪場施設改修基本計画に基づき第 1 期工事を実施。	施設改修工事第 1 期では、一般席及び特別観覧席のトイレ改修を行いました。 主な改修としては、トイレの洋式化と、清潔感のある内装改修を実施しました。			

(3)特別観覧席改修				
特別観覧席を普段ご愛用頂いているお客様より、観覧席の滞留環境改善の要望が挙がっています。特に、観覧席を拡張して欲しいとの声が多く挙がっていますので、席数を間引き、一席あたりの面積を拡張することも有効と考えます。				
平成 27 年度	平成 28 年度 (GP)	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (GP)
実施中	完了	—	—	—
立川競輪場施設改修基本計画に基づき第 1 期工事を実施。	施設改修工事第 1 期では、特別観覧席のトイレや内装並びに空調等設備の改修、グレード席とグループ席の設置や、ロイヤルルームの改装も行い、お客様の快適な環境作りのための施設改修を実施しました。			

(4)分煙・分酒化				
お客様アンケート結果より、場内に泥酔者が目立つ事や、歩行喫煙が目立つとの声が挙がっています。しかしながら、愛飲家や愛煙家のお客様の滞留環境も考慮し、現状以上に専用エリアを明確化する事により、それぞれのお客様が不満なく快適に過ごす事ができると考えます。				
平成 27 年度	平成 28 年度 (GP)	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (GP)
検討	完了	—	—	—
施設改修工事第 1 期に合わせ、一般席エリアの喫煙スペースや特別観覧席の喫煙室の整備により分煙化の実施を検討。	施設改修工事第 1 期では、一般席はエリアを限定し分煙化を行うとともに、特別観覧席では各フロアーに喫煙室を設置し、屋内は完全分煙化しました。		改正健康増進法び東京都受動喫煙防止条例の施行にあわせた受動喫煙防止対策を検討。	法令基準適合のためロイヤルルーム内に喫煙室を整備。 東京都受動喫煙防止条例の施行に向けて分煙の周知を徹底。

(5)湯茶器の入替				
お客様アンケート結果より、湯茶器によるお湯の提供の要望（薬を飲む為）が挙がっています。新施設への建て替え時においては、イニシャルコストはかかりますが、フードコート内に設置するような機器に入れ替えることで、給湯にも対応可能です。				
平成 27 年度	平成 28 年度 (GP)	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (GP)
実施中	完了	—	—	—
立川競輪場施設改修基本計画に基づき第 1 期工事を実施。	施設改修工事第 1 期では、一般席に無料の湯茶器を設置しました。			

(6) グループ席の設置				
お客様アンケート結果の考察より、女性は夫婦・カップル等のグループで来られることが多いと推測されます。そのためにもグループ席を設け、固まった場所でくつろげるスペースを提供することで女性ファンの拡大が図れるものと考えます。				
平成 27 年度	平成 28 年度 (GP)	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (GP)
実施中	完了	—	—	—
立川競輪場施設改修基本計画に基づき第 1 期工事を実施。	施設改修工事 第 1 期では、特別観覧席 2 階にプレミアムルームとして、グレード席 12 席とグループ席 2 部屋を設置しました。	利用率 グレード席(本場) : 72.7% グレード席(場外) : 72.0% グループ席(本場) : 19.8% グループ席(場外) : 4.3%	利用率 グレード席(本場) : 83.3% グレード席(場外) : 66.7% グループ席(本場) : 26.7% グループ席(場外) : 9.7%	利用率 (令和元年 10 月末現在) グレード席(本場) : 72.6% グレード席(場外) : 69.2% グループ席(本場) : 14.3% グループ席(場外) : 7.7%



プレミアムルームエントランス



グレード席



プレミアムルームエントランス



グループ席

2 経費削減 立川競輪事業の将来像について（2014 年版）に基づき経費削減策を実施

（1）電気費用

施設改修を行う際に、効率的な機器の構成および電力消費を抑えた機器の選定（LED 照明等）を行うことで、電気費用の削減が可能です。また、改修後に使用する施設を集約させ、コンパクトにすることで更なる電気費用の削減が可能となり、本場発売・場外発売時に開催業務を運用する施設をグレード毎に細分化して使用することで、更なる電気費用の削減が可能で、総額から 12.3% 程度の削減が可能です。

【費用削減効果見込】

・年間 約 7,000,000 円の削減（平成 25 年度費用総額 56,816,000 円）

平成 27 年度	平成 28 年度（GP）	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度（GP）
実施中	実施	—	—	—
立川競輪場施設改修基本計画に基づき第 1 期工事を実施。 平成 22 年 4 月より <u>特定規模電気事業者（新電力）</u> ^{※2} を導入し、電気料金の削減を図ってきました。	施設改修工事第 1 期では、メインスタンドの空調設備を高効率機器に改修するとともに、改修範囲内の照明設備に省エネ効果に優れた LED 照明を設置しました。			
決算額 49,061,000 円 ＊平成 25 年度比 削減額 ▲7,755,000 円 削減比率 ▲13.6%	決算額 38,806,000 円 ＊平成 25 年度比 削減額 ▲18,010,000 円 削減比率 ▲31.7%	決算額 38,815,000 円 ＊平成 25 年度比 削減額 ▲18,001,000 円 削減比率 ▲31.7%	決算額 42,403,000 円 ＊平成 25 年度比 削減額 ▲14,413,000 円 削減比率 ▲25.3%	予算額 55,080,000 円 ＊平成 25 年度比 削減額 ▲1,736,000 円 削減比率 ▲3.1%

(2) ホームページ				
現状の費用について、サーバーのレンタル費（年間レンタル代 5 万＋ドメイン 2 万程度）やデザイン・各種コンテンツの運用費を差し引いても高額になっています。今後は利用されていないコンテンツを選別し、コンパクトなホームページにすることで総額から 3 割程度の削減は可能と考えます。 【費用削減効果見込】 ・年間 約 3,190,000 円の削減（平成 25 年度費用総額 10,634,400 円）				
平成 27 年度	平成 28 年度（GP）	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度（GP）
検討	実施	—	—	—
インターネット投票の売上浮揚のため、現行ホームページから更新に向けた仕様書の内容を検討。	インターネット投票の売上浮揚のため、選手情報などレースデータの充実を図るための仕様の見直しを図りました。			
平成 27 年度費用 14,400,720 円 ＊平成 25 年度比 増減額 3,766,320 円 増減比率 35.4%	平成 28 年度費用 10,493,808 円 ＊平成 25 年度比 増減額 ▲140,592 円 増減比率 ▲1.3%	平成 29 年度費用 10,763,232 円 ＊平成 25 年度比 増減額 128,832 円 増減比率 1.2%	平成 30 年度費用 10,764,200 円 ＊平成 25 年度比 増減額 129,800 円 増減比率 1.2%	平成 31 年度費用 見込 12,677,200 円 ＊平成 25 年度比 増減額 2,042,800 円 増減比率 19.2%

(3) 車券発売機器・映像機器保守				
機器稼働時は統制室・車券売場・映像操作室等の機器設置場所において、保守員の配置が必要となりますが、近年では機器構成の縮小化により、集約化が可能です。機器設置場所を一つにまとめることで、経費の削減は可能となり、さらに統制室・車券売場・映像操作室を一つのフロアに集約することで、5%程度の削減も可能と考えます。 【費用削減効果見込】 ・年間 約 6,314,000 円の削減（平成 25 年度費用総額 126,298,513 円）				
平成 27 年度	平成 28 年度 (GP)	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (GP)
検討	実施	—	—	—
統制室と映像操作室を 1 つのフロアに集約することと、映像機器等の仕様書の見直しを検討。	統制室と映像操作室を統合し、映像機器等の仕様書の見直しを図りました。			
決算額 108,520,902 円 ＊平成 25 年度比 削減額 ▲17,777,611 円 削減比率 ▲14.1%	決算額 79,242,860 円 ＊平成 25 年度比 削減額 ▲47,055,653 円 削減比率 ▲37.3%	決算額 85,393,721 円 ＊平成 25 年度比 削減額 ▲40,904,792 円 削減比率 ▲32.4%	決算額 86,231,019 円 ＊平成 25 年度比 削減額 ▲40,067,494 円 削減比率 ▲31.7%	予算額 107,831,000 円 ＊平成 25 年度比 削減額 ▲18,467,513 円 削減比率 ▲14.6%

(4) 警備体制				
場内警備及び周辺警備における警備業務効率化案により、場内警備においては、現状から 50.0%の削減が可能であり、周辺警備においては、現状から約 17.5%の削減が可能です。 【費用削減効果見込】 ・年間 約 3,517,500 円の削減（平成 26 年度概算費用総額 27,216,000 円） ※上記総額は受託場外の実費が含まれているが、本場開催の決算ベース（平成 26 年度の本場開催の警備委託費用決算額 14,921,539 円）での比較とする。				
平成 27 年度	平成 28 年度 (GP)	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (GP)
—	—	—	—	—
場内警備 4 ポイント （記念開催※ ³ ではさらに 2 ポイント増）	場内警備 4 ポイント （記念開催ではさらに 2 ポイント増）	場内警備 6 ポイント （記念開催ではさらに 2 ポイント増）	場内警備 10 ポイント （記念開催ではさらに 2 ポイント増）	場内警備 10 ポイント （記念開催ではさらに 2 ポイント増）
場外警備 20 ポイント	場外警備 20 ポイント	場外警備 21 ポイント	場外警備 16 ポイント （最終日はさらに 2 ポイント増） （記念場外はさらに 4 ポイント増）	場外警備 15 ポイント （最終日、場外記念はさらに 2 ポイント増） （記念場外最終日はさらに 4 ポイント増）
決算額 11,852,782 円 ＊平成 26 年度比 増減額 ▲3,068,757 円 増減率 ▲20.6%	決算額 12,170,126 円 ＊平成 26 年度比 増減額 ▲2,751,413 円 増減率 ▲18.4%	決算額 12,135,878 円 ＊平成 26 年度比 増減額 ▲2,785,661 円 増減率 ▲18.7%	決算額 14,068,866 円 ＊平成 26 年度比 増減額 ▲852,673 円 増減率 ▲5.7%	予算額 17,720,000 円 ＊平成 26 年度比 増減額 2,798,461 円 増減率 18.8%

第3節 立川競輪の現状と課題

1 車券売上の推移と過去の予測との比較

前回調査報告における車券売上額の検証として、決算額と比較しました。

< 前回調査報告 >

(単位：百万円)

開催年度	合計	本場	電話	場外	内訳
平成26年度 (2014)	16,910	3,129	2,908	10,873	普通開催※9 17節(51日) 88億1000万円 記念開催1節(4日) 81億円
平成27年度 (2015)	16,975	2,026	3,271	11,678	普通開催16節(48日) 85億8000万円 記念開催1節(4日) 84億円
平成28年度 (2016)	16,290	1,925	3,271	11,094	普通開催16節(48日) 83億1000万円 記念開催1節(4日) 79億8000万円
平成29年度 (2017)	15,735	1,925	3,271	10,539	普通開催16節(48日) 80億4000万円 記念開催1節(4日) 77億円
平成30年度 (2018)	15,208	1,925	3,271	10,012	普通開催16節(48日) 77億8000万円 記念開催1節(4日) 74億3000万円
平成31年度 (2019)	14,708	1,925	3,271	9,512	普通開催16節(48日) 75億4000万円 記念開催1節(4日) 71億7000万円

< 決算額 >

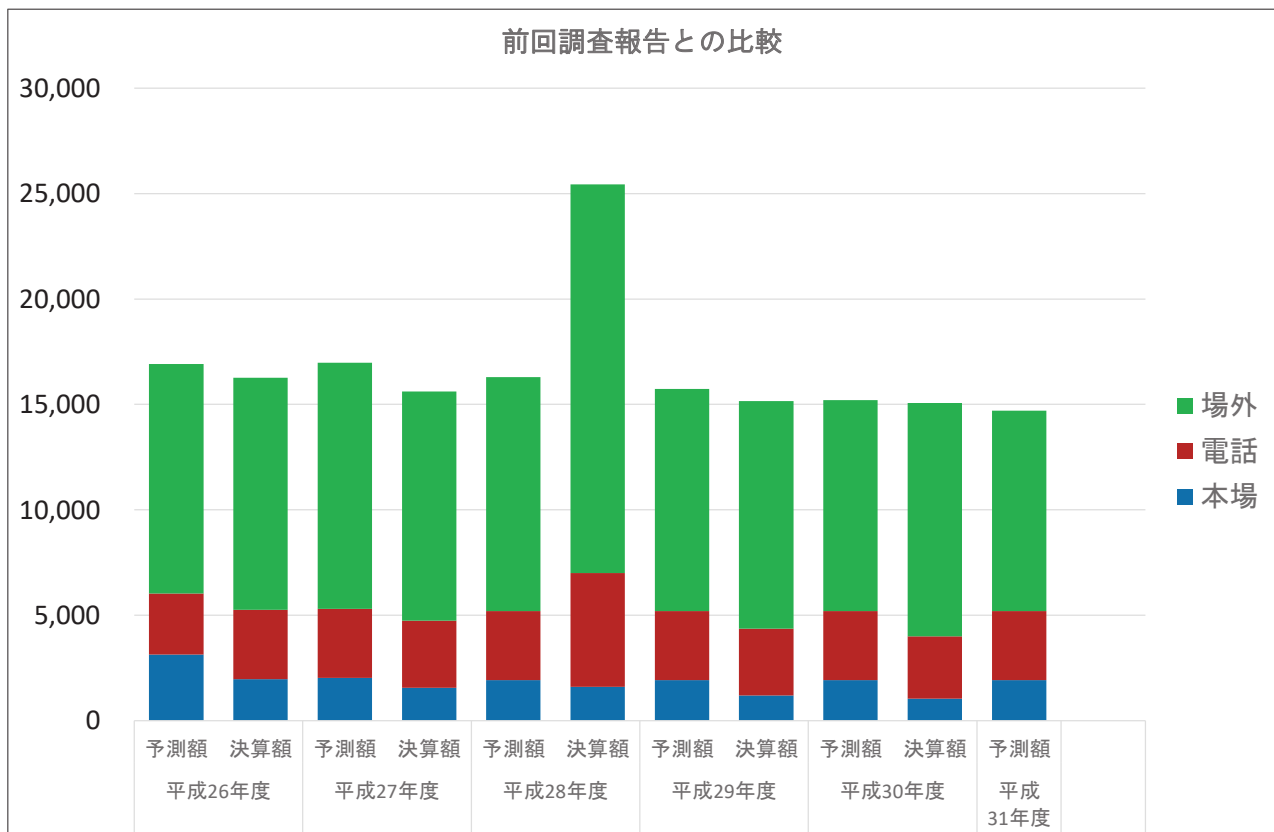
(単位：百万円)

開催年度	合計	本場	電話	場外	内訳
平成26年度 (2014)	16,269 (96.2%)	1,975 (63.1%)	3,285 (113.0%)	11,009 (101.3%)	普通開催17節(51日) 85億7000万円 記念開催1節(4日) 77億円
平成27年度 (2015)	15,620 (92.0%)	1,554 (76.7%)	3,185 (97.4%)	10,881 (93.2%)	普通開催15節(45日) 78億4000万円 記念開催1節(4日) 77億8000万円
平成28年度 (2016)	25,432 (156.1%)	1,602 (83.2%)	5,406 (165.3%)	18,424 (166.1%)	普通開催14節(42日) 67億1000万円 記念開催1節(4日) 74億6000万円 KEIRINグランプリ1節(3日) 112億6000万円
平成29年度 (2017)	15,161 (96.4%)	1,188 (61.7%)	3,172 (97.0%)	10,801 (102.5%)	普通開催15節(45日) 79億1000万円 記念開催1節(4日) 72億5000万円
平成30年度 (2018)	15,062 (99.0%)	1,037 (53.9%)	2,970 (90.8%)	11,055 (110.4%)	普通開催15節(45日) 82億6000万円 記念開催1節(4日) 68億円

* (カッコ) 内の数字は、決算額と前回調査報告との比率です。

* 電話売上には重勝式売上 (Dokanto! を除く) とインターネット投票 (CTC※9のみ) が含まれています。

* 表中の数値は返還金を含みます。



(前回調査報告書と決算額との差異要因)

平成26年度 記念開催の売上が、81億円の予測に対して決算額77億円と4億円の減額になりました。

平成27年度 実績 記念開催1節4日、普通開催15節45日

前回調査報告の予測より、普通開催が1節(3日)減少しました。

記念開催の売上が、84億円の予測に対して決算額77.8億円と6.2億円の減額になりました。

平成28年度 実績 KEIRINグランプリシリーズ1節3日 記念開催1節4日、普通開催14節42日

(ミッドナイト競輪2節を含む)

KEIRINグランプリの開催があったことに加え、ミッドナイト競輪※4を借上げ開催したことが要因で売上が大きく上昇しました。

前回調査報告の予測より、普通開催が1節(3日)減少しました。

平成29年度 実績 記念開催1節4日、普通開催15節45日(ミッドナイト競輪2節を含む)

前回調査報告の予測より、普通開催が1節(3日)減少しました。

ミッドナイト競輪を借上げ開催しました。

記念開催の売上が、77億円の予測に対して決算額72.5億円と4.5億円の減額になりました。

平成30年度 実績 記念開催1節4日、普通開催15節45日(ミッドナイト競輪2節を含む)

前回調査報告の予測より、普通開催が1節(3日)減少しました。

ミッドナイト競輪を借上げ開催しました。

記念開催の売上が、74.3億円の予測に対して決算額68億円と6.3億円の減額になりました。

(課題等)

- ▶ 本場車券売上の決算額は前回調査報告書の予測を下回っており、平成26(2014)年度から平成30(2018)年度までの間にほぼ半減しています。
- ▶ 平成28(2016)年度のKEIRINグランプリ開催、および同年度以降の借上げによるミッドナイト競輪開催により、場外車券売上の決算額は平成27(2015)年度を除き前回調査報告書の予測を上回っています。

2 その他売上の推移と過去の予測との比較

＜前回調査報告＞

(単位：百万円)

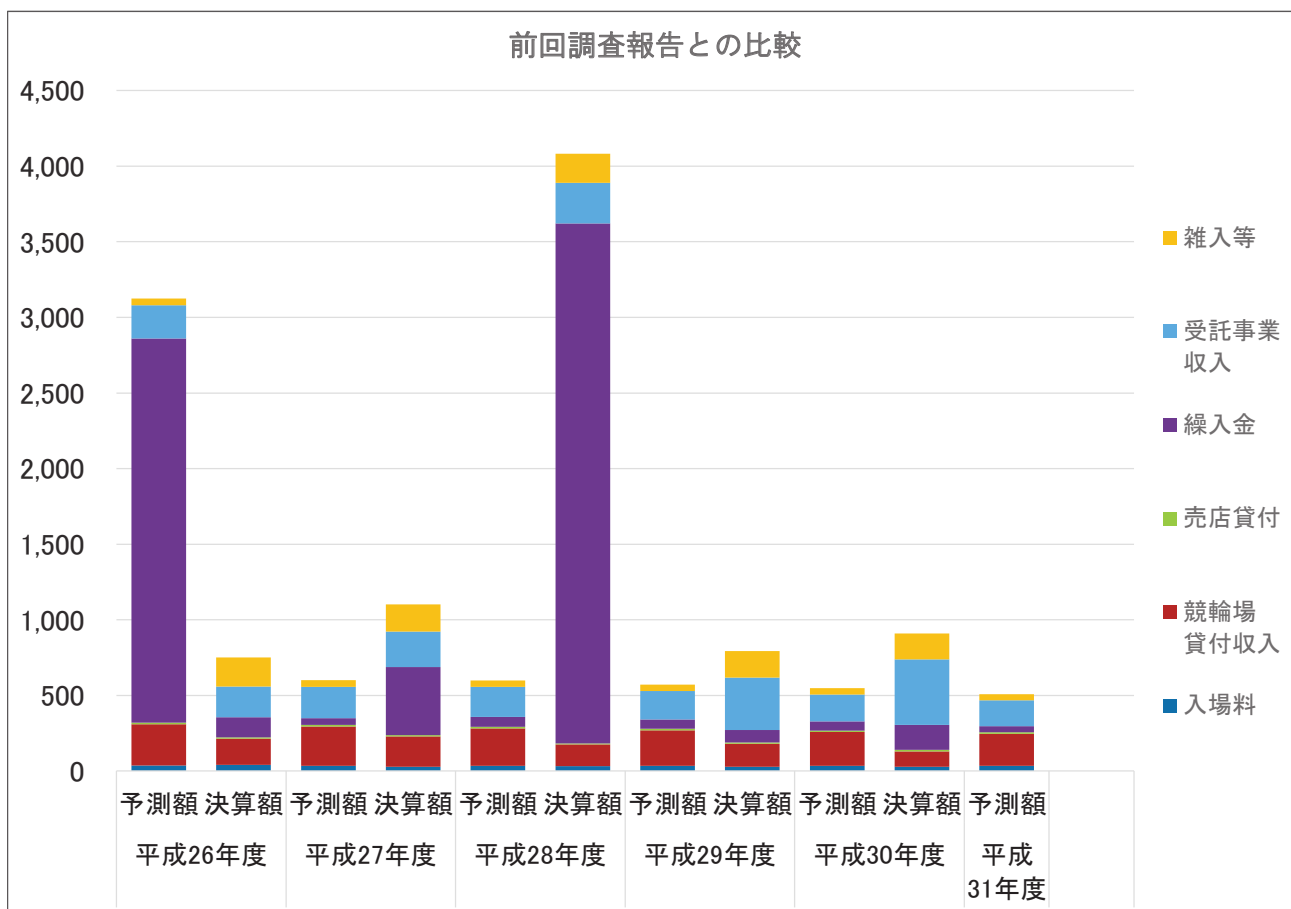
開催年度	合計	入場料	競輪場貸付 収入※5	売店貸付	繰入金	受託事業 収入※5	雑入等
平成26年度 (2014)	3,125	35	274	10	2,541	220	45
平成27年度 (2015)	601	34	260	10	44	209	44
平成28年度 (2016)	599	34	247	10	66	199	43
平成29年度 (2017)	571	34	235	10	61	189	42
平成30年度 (2018)	548	34	223	10	60	179	42
平成31年度 (2019)	508	34	212	10	41	170	41

＜決算額＞

(単位：百万円)

開催年度	合計	入場料	競輪場貸付 収入	売店貸付	繰入金	受託事業 収入	雑入等
平成26年度 (2014)	750 (24.0%)	40 (114.3%)	174 (63.5%)	8 (80.0%)	134 (5.3%)	203 (92.3%)	191 (424.4%)
平成27年度 (2015)	1,101 (183.2%)	27 (79.4%)	202 (77.7%)	7 (70.0%)	452 (1027.3%)	234 (112.0%)	179 (406.8%)
平成28年度 (2016)	4,082 (681.5%)	31 (91.2%)	144 (58.3%)	7 (70.0%)	3,439 (5210.6%)	268 (134.7%)	193 (448.8%)
平成29年度 (2017)	792 (138.7%)	28 (82.4%)	152 (64.7%)	9 (90.0%)	81 (132.8%)	348 (184.1%)	174 (414.3%)
平成30年度 (2018)	910 (166.1%)	27 (79.4%)	103 (46.2%)	9 (90.0%)	166 (276.7%)	432 (241.3%)	173 (411.9%)

＊（カッコ）内の数字は、決算額と前回調査報告との比率です。



(前回調査報告書と決算額との差異要因)

・繰入金について

平成26年度 施設改修工事の入札が不調となり、改修工事を延期したため大幅な減少となりました。

平成28年度 施設改修工事のための財源として大幅な増額となりました。

平成30年度 無停電電源装置のバッテリー交換等のための財源として増額となりました。

・雑入等について

雑入等とは、利子、繰越金、サテライト※6貸付金、雑入です。

前年度繰越金及び時効金があったため増額となりました。

(課題等)

- ▶ 入場者数の減少により、平成26(2014)年度を除き入場料の決算額は前回調査報告書の予測を下回っています。
また、競輪場貸付収入も前回調査報告書の予測を下回っています。
- ▶ 受託事業収入の伸びにより、その他売上の決算額は平成26(2014)年度を除き前回調査報告書の予測を上回っています。

3 開催経費の推移と過去の予測との比較

＜前回調査報告＞

(単位：百万円)

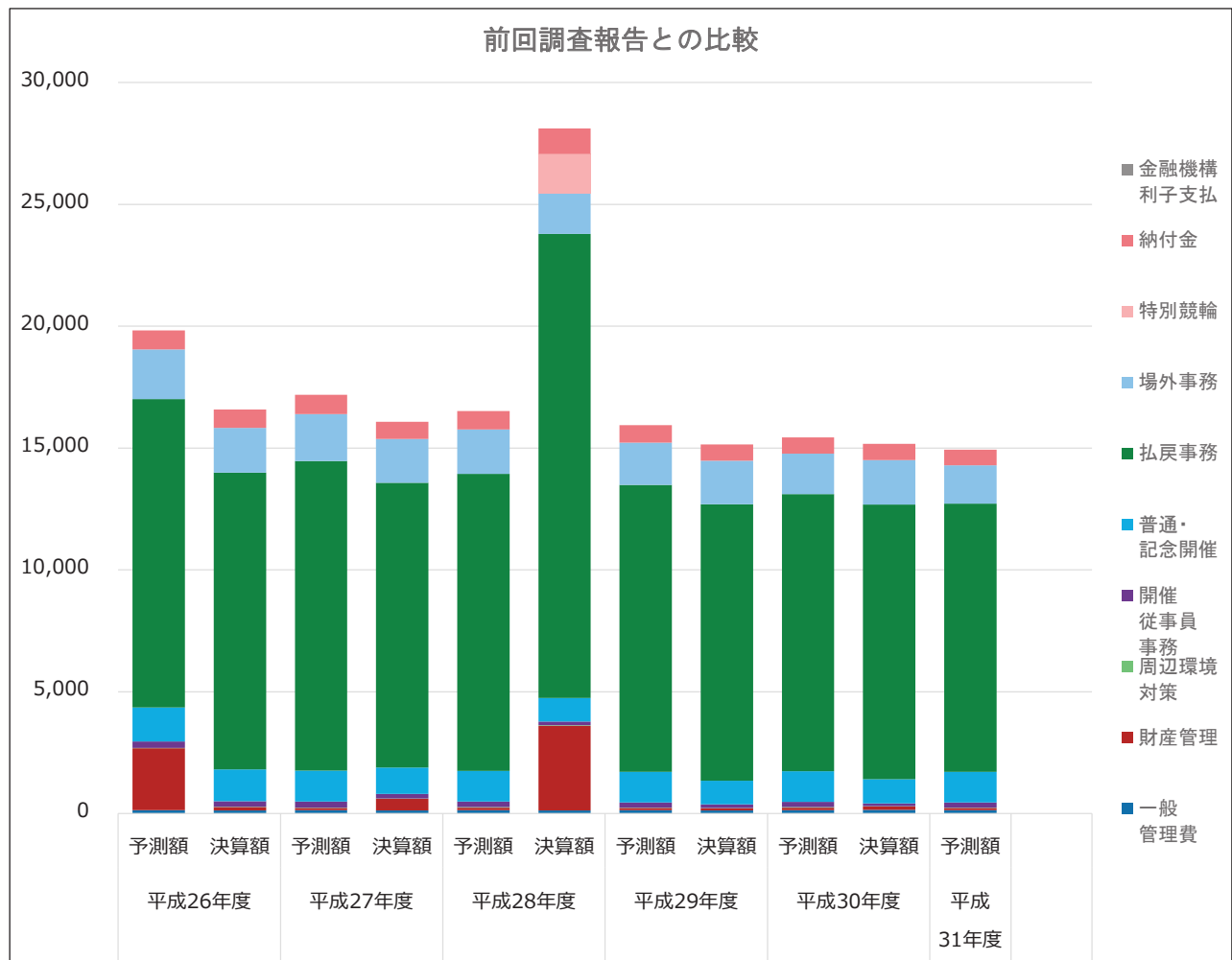
開催年度	合計	一般 管理費	財産管理	周辺環境 対策	開催従事 員事務	普通・記念 開催	払戻事務	場外事務	特別競輪	納付金	金融機構 利子支払等
平成26年度 (2014)	19,832	139	2,539	17	261	1,396	12,656	2,037	0	787	0
平成27年度 (2015)	17,181	139	89	17	245	1,277	12,702	1,927	0	785	0
平成28年度 (2016)	16,518	139	109	17	231	1,255	12,190	1,831	0	746	0
平成29年度 (2017)	15,939	139	89	17	217	1,255	11,775	1,739	0	708	0
平成30年度 (2018)	15,442	139	109	17	217	1,255	11,380	1,652	0	673	0
平成31年度 (2019)	14,931	139	89	17	217	1,255	11,006	1,569	0	639	0

＜決算額＞

(単位：百万円)

開催年度	合計	一般 管理費	財産管理	周辺環境 対策	開催従事 員事務	普通・記念 開催	払戻事務	場外事務	特別競輪	納付金	金融機構 利子支払等
平成26年度 (2014)	16,578 (83.6%)	134 (96.4%)	135 (5.3%)	16 (94.1%)	229 (87.7%)	1,304 (93.4%)	12,173 (96.2%)	1,842 (90.4%)	0	745 (94.7%)	0
平成27年度 (2015)	16,086 (93.6%)	131 (94.2%)	482 (541.6%)	13 (76.5%)	185 (75.5%)	1,076 (84.3%)	11,686 (92.0%)	1,805 (93.7%)	0	708 (90.2%)	0
平成28年度 (2016)	28,119 (170.2%)	135 (97.1%)	3,473 (3186.2%)	17 (100.0%)	148 (64.1%)	972 (77.5%)	19,040 (156.2%)	1,668 (91.1%)	1,624	1,042 (139.7%)	0
平成29年度 (2017)	15,148 (95.0%)	127 (91.4%)	87 (97.8%)	16 (94.1%)	151 (69.6%)	972 (77.5%)	11,344 (96.3%)	1,790 (102.9%)	0	661 (93.4%)	0
平成30年度 (2018)	15,170 (98.2%)	151 (108.6%)	141 (129.4%)	17 (100.0%)	115 (53.0%)	986 (78.6%)	11,269 (99.0%)	1,823 (110.4%)	0	668 (99.3%)	0

* (カッコ) 内の数字は、決算額と前回調査報告との比率です。



(前回調査報告書と決算額との差異要因)

・財産管理について

- 平成26年度 施設改修工事の入札が不調となり、改修工事を延期したため大幅な減少となりました。
- 平成27年度 施設改修工事の前払い金及び出来高払い金の支出があったため大幅な増額となりました。
- 平成28年度 施設改修工事の支出があったため大幅な増額となりました。
借用していたバックスタンドの土地及び投票機器の購入があったため大幅な増額となりました。
- 平成30年度 無停電電源装置のバッテリー交換等の支出があったため増額となりました。

・開催従事員事務について

開催日数及び開催従事員数の減少に伴い、支出額が減少しています。

・払戻事務、納付金について

平成28年度 KEIRINグランプリを開催したため増額となりました。

(課題等)

- ▶ 経費の削減を徹底的に行い、開催経費合計の決算額はKEIRINグランプリが開催された平成28(2016)年度を除き前回調査報告書の予測より圧縮されています。

4 収支の推移と過去の予測との比較

< 前回調査報告 >

(単位：百万円)

開催年度	収入			支出合計 (B)	収益 (A) - (B)	特別競輪
	車券売上	その他収入	収入合計 (A)			
平成26年度 (2014)	16,910	3,125	20,035	19,832	203	
平成27年度 (2015)	16,975	601	17,576	17,181	395	
平成28年度 (2016)	16,290	599	16,889	16,518	371	KEIRIN グランプリ開催
平成29年度 (2017)	15,735	571	16,306	15,939	367	
平成30年度 (2018)	15,208	548	15,756	15,442	314	
平成31年度 (2019)	14,708	508	15,216	14,931	285	

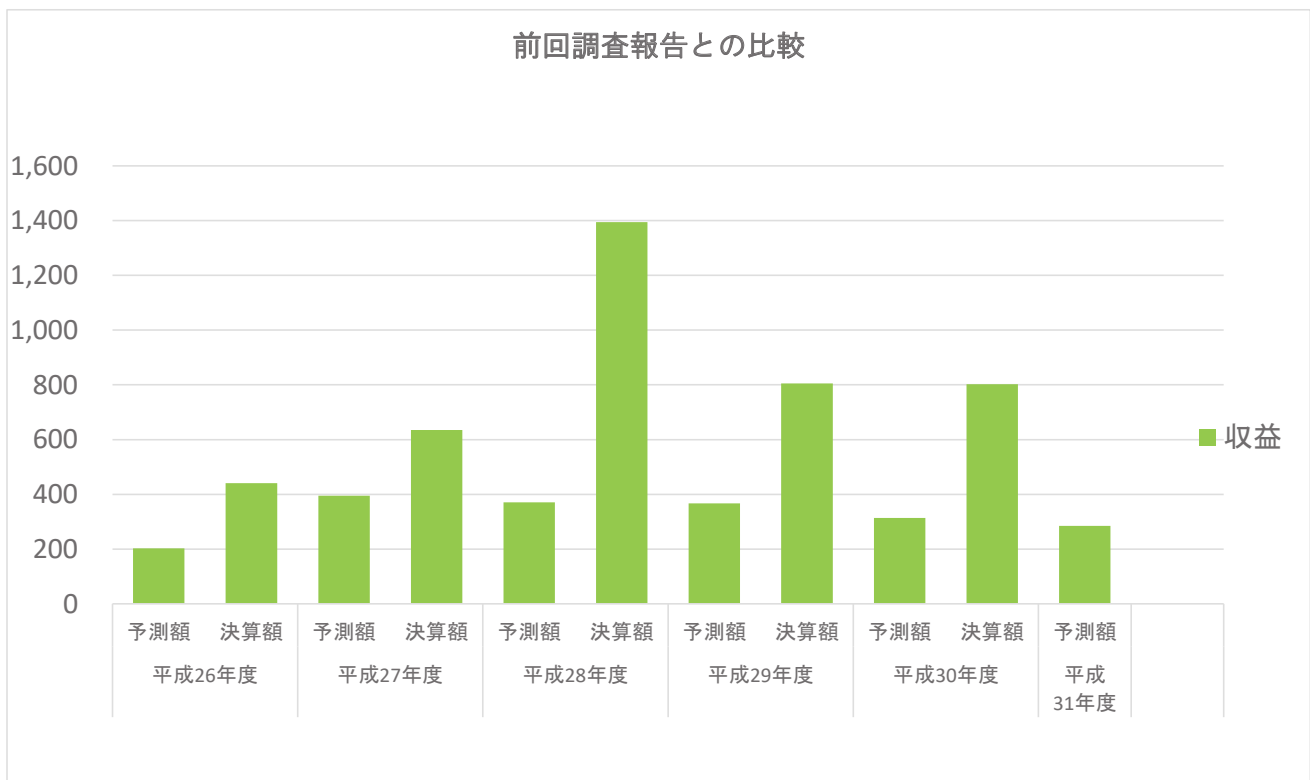
< 決算額 >

(単位：百万円)

開催年度	収入			支出合計 (B)	収益 (A) - (B)	特別競輪
	車券売上	その他収入	収入合計 (A)			
平成26年度 (2014)	16,269 (96.2%)	750 (24.0%)	17,019 (84.9%)	16,578 (83.6%)	441 (217.2%)	
平成27年度 (2015)	15,620 (92.0%)	1,101 (183.2%)	16,721 (95.1%)	16,086 (93.6%)	635 (160.8%)	
平成28年度 (2016)	25,432 (156.1%)	4,082 (681.5%)	29,514 (174.8%)	28,119 (170.2%)	1,395 (376.0%)	KEIRIN グランプリ開催
平成29年度 (2017)	15,161 (96.4%)	792 (138.7%)	15,953 (97.8%)	15,148 (95.0%)	805 (219.3%)	
平成30年度 (2018)	15,062 (99.0%)	910 (166.1%)	15,972 (101.4%)	15,170 (98.2%)	802 (255.4%)	

* (カッコ) 内の数字は、決算額と前回調査報告との比率です。

* 表中の数値は返還金を含みます。



第4節 開催経費の推移

平成26年度から平成30年度までの開催経費決算額を細分化し、経費の増減をまとめました。

<開催経費決算額>

(単位：百万円)

開催年度	合計	一般管理費(人事管理・一般事務・負担金・補助金)	財産管理	周辺環境対策	開催従事員事務	普通・記念開催	払戻事務	場外事務	特別競輪	納付金	金融機構 利子支払等
平成26年度 (2014)	16,578	134	135	16	229	1,304	12,173	1,842	0	745	0
平成27年度 (2015)	16,086	131	482	13	185	1,076	11,686	1,805	0	708	0
平成28年度 (2016)	28,119	135	3,473	17	148	972	19,040	1,668	1,624	1,042	0
平成29年度 (2017)	15,148	127	87	16	151	972	11,344	1,790	0	661	0
平成30年度 (2018)	15,170	151	141	17	115	986	11,269	1,823	0	668	0

表①<財産管理>

(単位：千円)

開催年度	合計	シルバー人材センター委託料	委託料	財産購入費	使用料及び賃借料	負担金	維持補修工事費	建設委託料	原材料費・維持補修費	施設の管理委託料	修繕料	土地借上料	補償補填
平成26年度 (2014)	134,860	669	2,210	0	2,148	0	15,768	26,492	0	44,876	12,281	30,416	0
平成27年度 (2015)	481,735	851	307	73	1,006	35	318,464	80,409	0	36,014	14,160	30,416	0
平成28年度 (2016)	3,472,807	850	1,874	1,138,574	440	0	2,123,302	136,785	10	35,043	20,370	15,208	351
平成29年度 (2017)	86,505	1,423	249	809	332	0	23,987	0	0	38,723	20,982	0	0
平成30年度 (2018)	140,627	1,440	78	330	332	0	76,669	0	0	41,496	20,282	0	0

平成27年度の維持補修工事費については、施設改修工事の前払い金及び出来高払い金の支出があったため大幅な増額となりました。

平成28年度の財産購入費については、借用していたバックスタンドの土地及び投票機器の購入があったため大幅な増額となりました。

平成28年度の維持補修工事費及び建設委託料については、施設改修工事関連の支出があったため大幅な増額となりました。

借地の購入に伴い、平成29年度以降の土地借上料は発生していません。

表②<開催従事員事務>

(単位：千円)

開催年度	合計	賃金	交付金	健康保険料	雇用保険	使用料および賃借料	委託料	労災保険料
平成26年度 (2014)	228,958	174,996	46,626	2,497	0	3,110	345	1,384
平成27年度 (2015)	184,826	135,873	42,942	1,833	0	3,110	301	767
平成28年度 (2016)	147,946	106,303	35,784	1,057	0	3,704	360	738
平成29年度 (2017)	150,990	143,381	0	1,899	0	4,536	329	845
平成30年度 (2018)	114,818	108,619	0	983	205	4,536	292	183

平成29年度以降の賃金及び交付金については、開催従事員慰労金の支出が交付金から賃金へ変更となりました。

表③-1＜普通・記念開催1/2＞

(単位：千円)

開催年度	合計	委託料	シルバー 人材センター 委託料	使用料およ び賃貸借料	負担金	テレビ 受信料	印刷 製本費	ガス代	上下水道料	電気料	広告料	手数料
平成26年度 (2014)	1,303,580	297,006	20,101	98,866	6,000	3,177	3,911	21,011	35,651	57,555	69,832	396
平成27年度 (2015)	1,075,882	265,783	16,113	47,604	6,000	3,177	6,148	16,226	37,684	49,061	68,736	401
平成28年度 (2016)	972,494	227,992	9,245	51,759	6,000	3,177	7,565	11,736	23,664	38,806	66,919	408
平成29年度 (2017)	971,704	219,258	9,245	64,381	6,000	3,177	7,936	12,005	20,512	38,815	64,033	397
平成30年度 (2018)	986,199	224,894	9,204	64,238	6,000	3,274	5,903	13,939	17,174	42,403	67,079	425

表③-2＜普通・記念開催2/2＞

(単位：千円)

開催年度	消耗品	食糧費	通信運搬費	燃料費	報奨金	有料道路 通行料
平成26年度 (2014)	24,631	168	7,837	311	657,019	108
平成27年度 (2015)	24,144	196	7,707	157	526,550	195
平成28年度 (2016)	18,577	220	7,705	119	498,472	130
平成29年度 (2017)	20,707	220	8,358	182	496,428	50
平成30年度 (2018)	22,411	220	8,663	181	500,134	57

平成28年度以降の委託料については、立川競輪事業の将来像について（2014年版）の施策の経費削減策の実施により、映像・放送管理等業務委託料の経費が少なくなりました。

平成28年度以降のシルバー人材センター委託料については、開催日数の減少及び施設改修後の清掃範囲の変更により経費が少なくなりました。

平成28年度以降の光熱水費（ガス代・上下水道料・電気料）については施設改修効果により、施設改修前の平成27年度以前に比べ経費が少なくなりました。

第5節 今後の収支予測

1 車券売上の推移予測

- ・平成31年度の車券売上は予算額（立川競輪場でKEIRINグランプリを開催）で記載し、令和2年度から売上を予測しました。
- ・令和2年度以降は平成30年度決算額を基準として、前年度比本場15%減、電話5%減、場外・重勝式は横ばいで推移すると予測します。

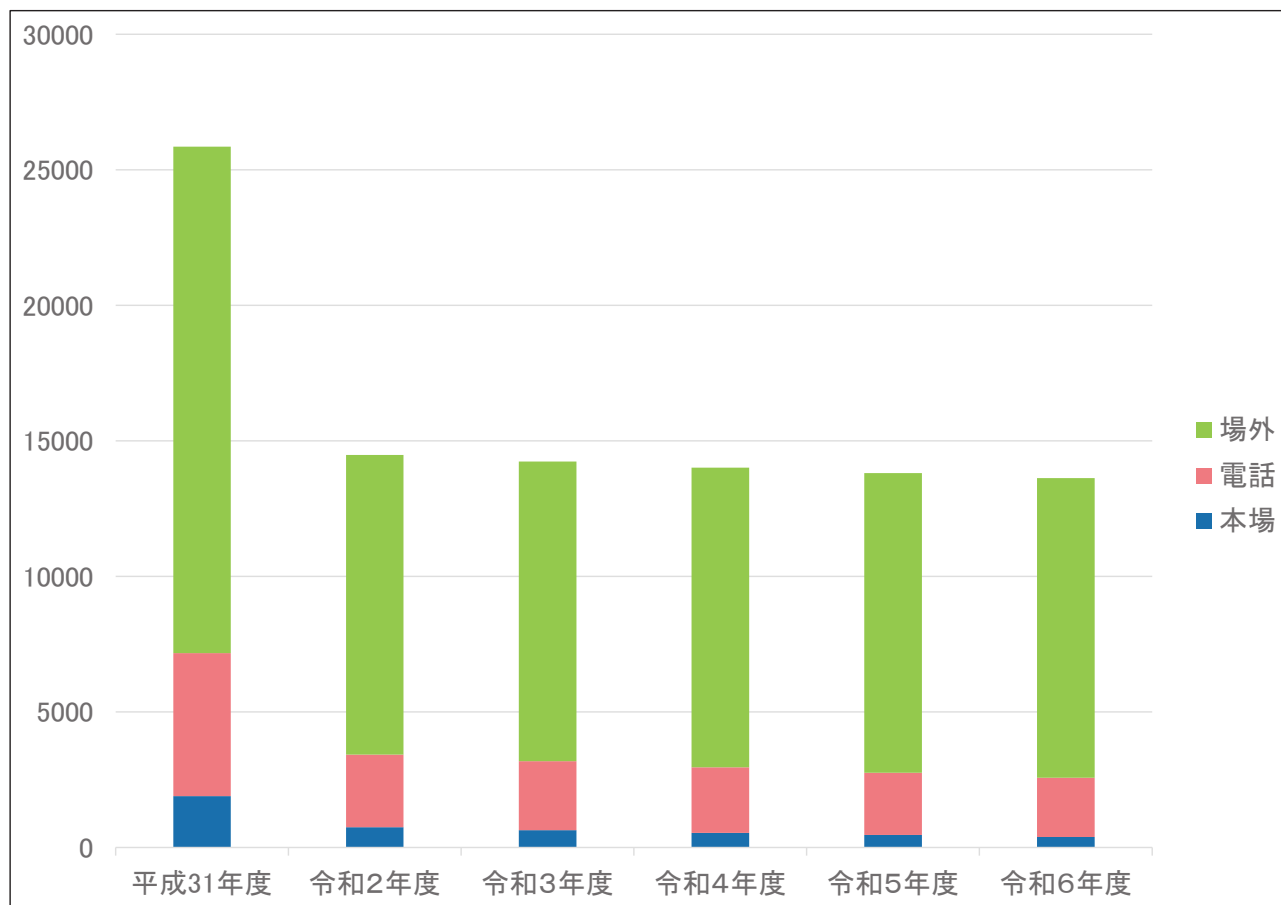
<今回調査報告>

（単位：百万円）

開催年度	合計	本場	電話	重勝式統一発売	場外
平成31年度 (2019)	26,875	1,892	5,279	1,024	18,680
令和2年度 (2020)	15,670	749	2,680	1,186	11,055
令和3年度 (2021)	15,424	637	2,546	1,186	11,055
令和4年度 (2022)	15,201	541	2,419	1,186	11,055
令和5年度 (2023)	14,999	460	2,298	1,186	11,055
令和6年度 (2024)	14,815	391	2,183	1,186	11,055

* 電話売上には重勝式売上（Dokanto!を除く）とインターネット投票（CTCのみ）が含まれています。

* 表中の数値は返還金を含みます。



- ▶ 今後も落ち込みが予測される本場の車券売上と、売上の比重が高い電話・インターネット投票の売上の向上を図る必要があります。

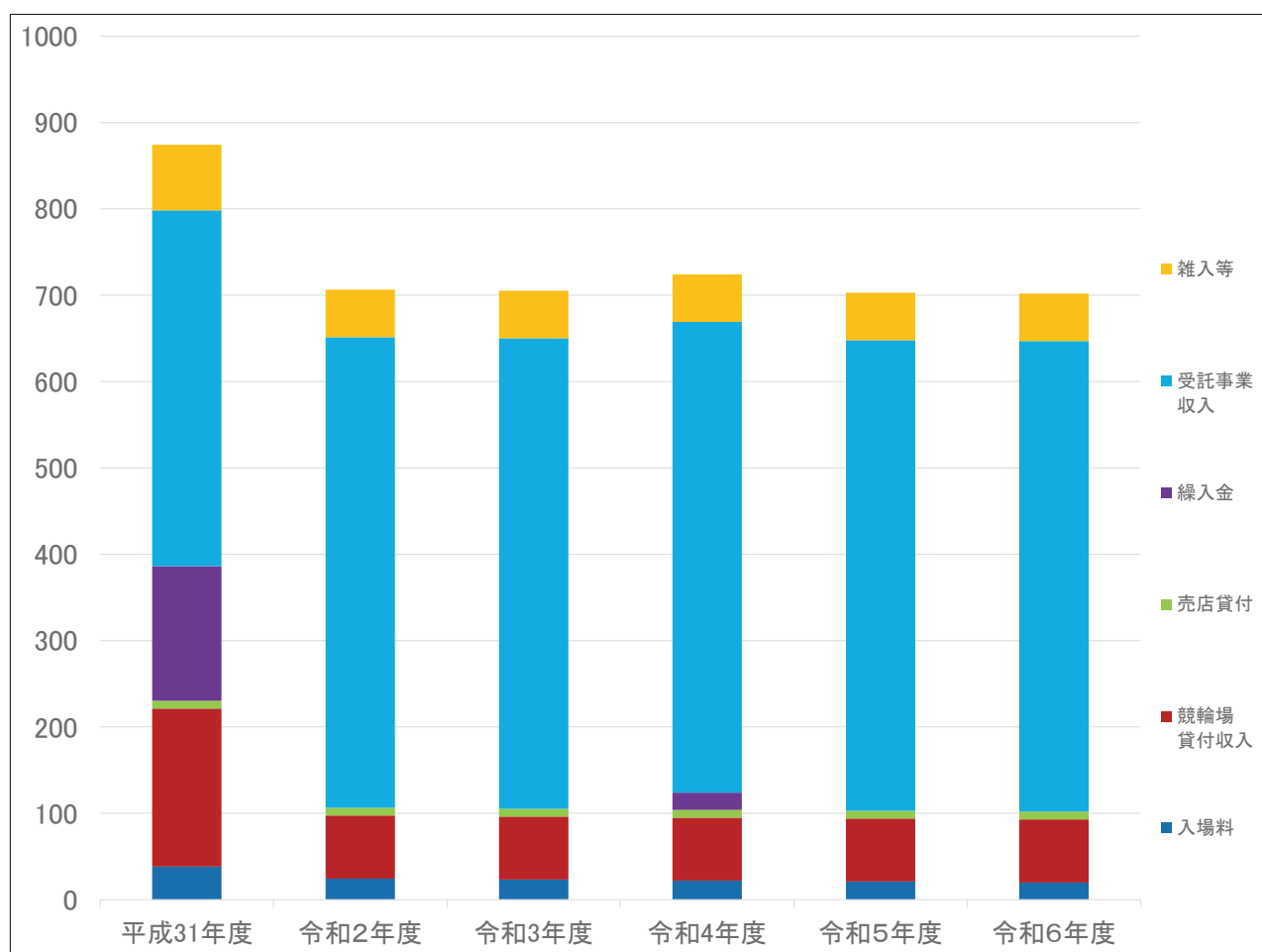
2 その他収入の推移予測

- ・平成31年度は予算額（立川競輪場でKEIRINグランプリを開催）で記載し、令和2年度から各収入を予測しました。
- ・入場料については、令和2年度以降は平成30年度決算額を基準として、前年度比5%減で推移すると予測します。
- ・競輪場貸付収入については、令和2年度は平成30年度決算額の30%減となり、その後は横ばいで推移すると予測します。
- ・繰入金については、令和4年度は走路塗布工事により20百万円発生すると予測します。
- ・受託事業収入については、令和2年度は平成30年度決算額の25%増となり、その後は横ばいで推移すると予測します。

<今回調査報告>

（単位：百万円）

開催年度	合計	入場料	競輪場貸付収入	売店貸付	繰入金	受託事業収入	雑入等
平成31年度 (2019)	874	38	183	9	156	412	76
令和2年度 (2020)	706	24	73	9	0	545	55
令和3年度 (2021)	705	23	73	9	0	545	55
令和4年度 (2022)	724	22	73	9	20	545	55
令和5年度 (2023)	703	21	73	9	0	545	55
令和6年度 (2024)	702	20	73	9	0	545	55



- ▶ その他収入の柱である受託事業収入を今後も確保する必要があります。

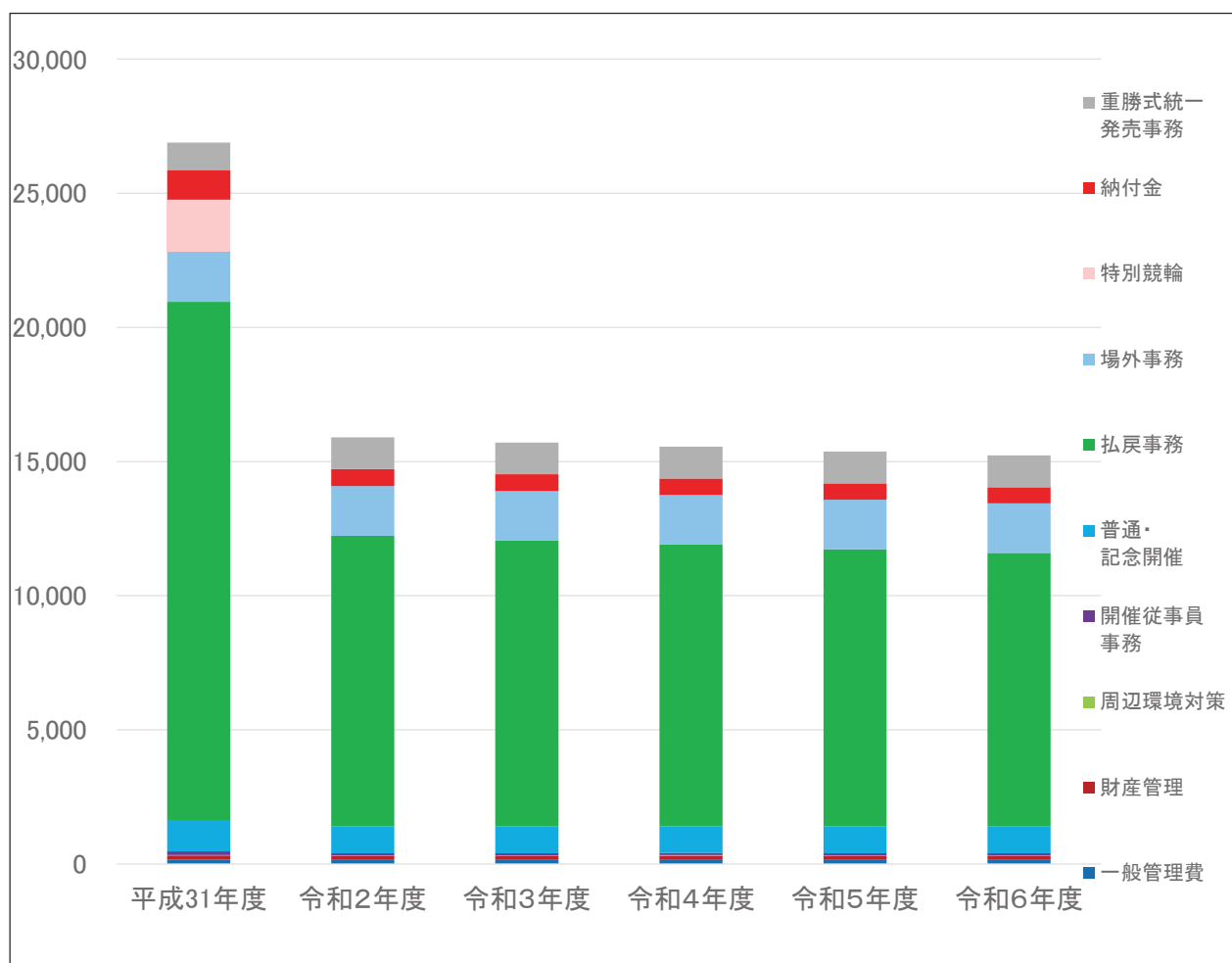
3 支出の推移予測

- ・平成31年度は予算額（立川競輪場でKEIRINグランプリを開催）で記載しました。
- ・財産管理については、令和4年度は走路塗布工事で20百万円発生すると予測します。
- ・開催従事員事務については、令和2年度以降は離職慰労金がなくなるとともに、最小限の開催従事員での運営となるため横ばいで推移すると予測します。
- ・払戻事務、納付金については、売上予測に基づき算出しました。

<今回調査報告>

（単位：百万円）

開催年度	合計	一般管理費	財産管理	周辺環境対策	開催従事員事務	普通・記念開催	払戻事務	場外事務	特別競輪	納付金	重勝式統一発売事務
平成31年度 (2019)	26,887	158	159	17	136	1,138	19,348	1,863	1,942	1,103	1,023
令和2年度 (2020)	15,902	151	143	17	85	999	10,840	1,847	0	637	1,183
令和3年度 (2021)	15,707	151	143	17	85	999	10,656	1,847	0	626	1,183
令和4年度 (2022)	15,551	151	163	17	85	999	10,489	1,847	0	617	1,183
令和5年度 (2023)	15,371	151	143	17	85	999	10,338	1,847	0	608	1,183
令和6年度 (2024)	15,225	151	143	17	85	999	10,200	1,847	0	600	1,183



- ▶ 今後も車券売上の落ち込みが予測されることから、引き続き経費削減に努めていく必要があります。

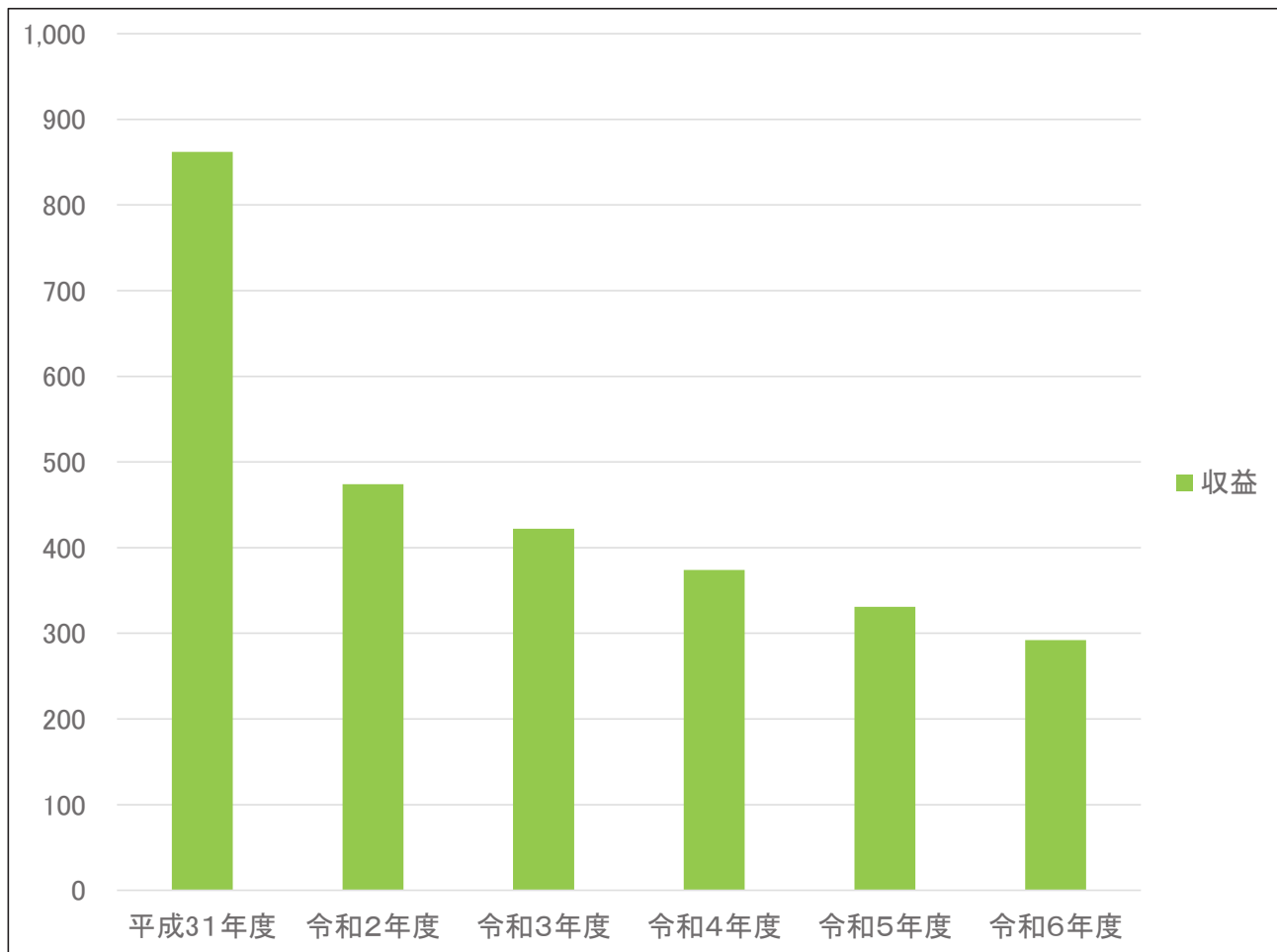
4 収支の推移予測

＜今回調査報告＞

(単位：百万円)

開催年度	収入			支出合計 (B)	収益 (A) - (B)	特別競輪
	車券売上	その他収入	収入合計 (A)			
平成31年度 (2019)	26,875	874	27,749	26,887	862	KEIRIN グランプリ開催
令和2年度 (2020)	15,670	706	16,376	15,902	474	
令和3年度 (2021)	15,424	705	16,129	15,707	422	
令和4年度 (2022)	15,201	724	15,925	15,551	374	
令和5年度 (2023)	14,999	703	15,702	15,371	331	
令和6年度 (2024)	14,815	702	15,517	15,225	292	

* 表中の数値は返還金を含みます。



- ▶ 支出合計の減少を上回るペースで収入合計の減少が進み、令和6(2024)年度には収益が3億円を下回ることが予測されます。
- ▶ 将来にわたり収益を確保し経営の安定化を図るためには、これからも収支改善、売上浮揚に向けた施策を進めていく必要があります。

第6節 顧客ニーズ分析

1 立川競輪来場者アンケート調査

平成31年9月6日から8日の3日間にかけて、立川競輪場内で314名のお客様を対象にアンケート調査を実施しました。

【アンケート調査概要】

1日目

調査日 : 2019年9月6日(金)
発売場 : 立川競輪 FⅡ ガールズ 1日目
調査人数 : 156名
入場者数 : 2,020名

2日目

調査日 : 2019年9月7日(土)
発売場 : 立川競輪 FⅡ ガールズ 2日目
調査人数 : 118名
入場者数 : 2,214名

3日目

調査日 : 2019年9月8日(日)
発売場 : 立川競輪 FⅡ ガールズ 3日目
調査人数 : 40名
入場者数 : 2,521名

【アンケート調査実施時の状況】

アンケートの設問数が多かったにも関わらず協力的なお客様が多く、貴重なご意見をいただくことが出来ました。

特に平日である9月6日(金)は年配の男性のお客様に多く回答して頂きました。土日である9月7日(土)および9月8日(日)には40代のお客様を中心に、女性のお客様にも多く回答して頂きました。

2 アンケート結果のまとめ

全体集計のほか、お客様の属性別や平日と土日の別など、一部クロス集計を行った結果を含め、主なアンケート結果をとりまとめました。

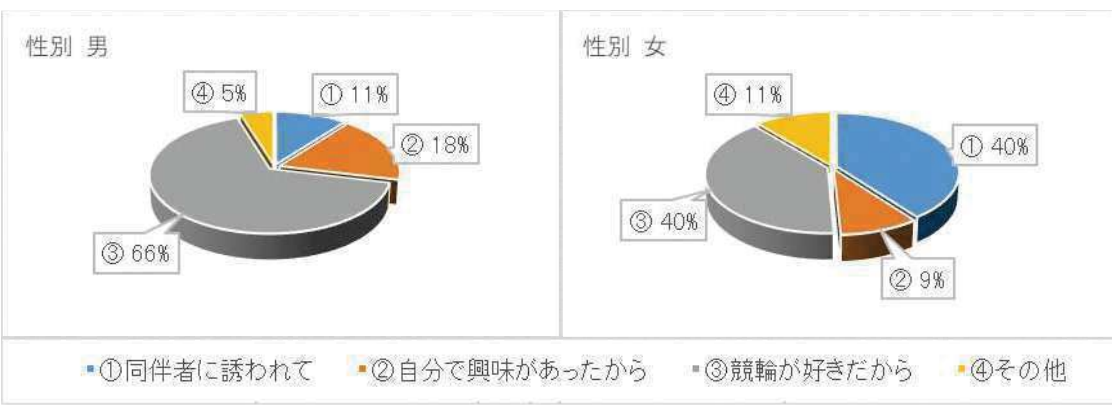
【お客様の属性】（問1～問8）

ご来場された動機はなんですか？との設問では、男性では「競輪が好き」との回答が最も多く約70%、女性では「誘われて」、「競輪が好き」との回答がそれぞれ40%でした。

今回のアンケートではお客様の主な年齢層は「70代」となっており、競輪歴も「40年以上」が30%となっています。2014年に実施した同様のアンケート調査では、主な年齢層は「60代」で、若い頃に競輪を始めたお客様の層が、そのまま移行していると考えられます。

お住まいはどちらですか、との設問では、約半数が多摩地区からの来場で、交通手段に関する設問では、回答の多い順に「電車（JR）」、「自動車」、「無料バス」となっています。

問3. ご来場された動機はなんですか？



【他公営競技施設訪問状況】（問9）

ほとんどのお客様は他の公営競技場への訪問歴がありますが、特に「京王閣競輪場」、「西武園競輪場」、「川崎競輪場」の訪問歴が多く、近隣の競輪場を回遊している状況がうかがわれます。

【来場頻度の変化とその理由】（問10・問11）

1ヶ月のうち立川競輪場に来場される頻度はどれくらいですか？との設問では、平日では「ほぼ毎日」が約40%で、「8日～11日」を含めると約50%です。一方、土日では「1日～3日」が約40%、「はじめて」が約20%、「ほぼ毎日」は約10%でした。

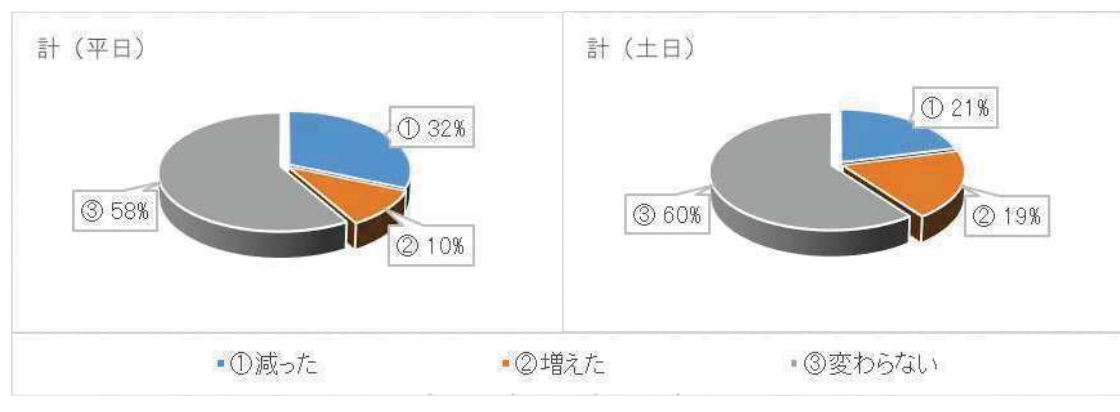
2～3年前と比べて1か月間に競輪場に来る回数は変わりましたか？との設問では、平日では「変わらない」が約60%、「減った」が約30%でした。土日でも「変わらない」が約60%、「減った」が約20%で、このお客様の減少分が車券売上額に影響していると思われます。

「減った」と回答されたお客様に向けた、来場回数が減った理由は何ですか？との設問では、平日では「本場開催の日数が減ったから」が最も多く、場外と比べて本場の誘因力が大きいことがうかがえます。土日では「インターネット・電話投票で投票するから」と「本場開催の日数が減ったから」が多く、インターネット投票等への移行が進んでいるものと考えられます。

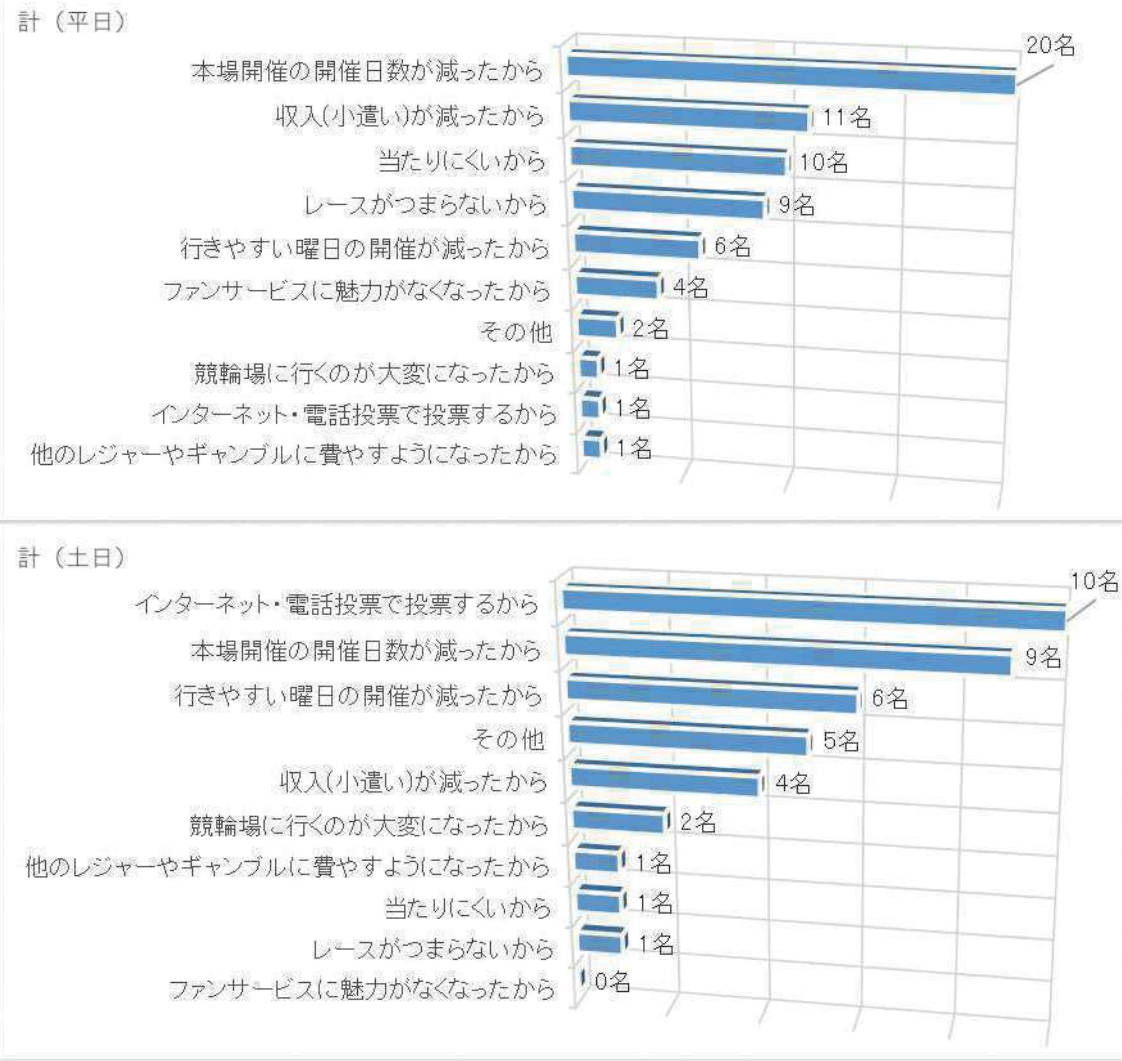
問10. 1ヶ月のうち立川競輪場に来場される頻度はどれくらいですか？



問11-1. 2～3年前と比べて1か月間に競輪場に来る回数は変わりましたか？



問11-2. 問11-1で「減った」とお答えの方にお尋ねします。来場回数が減った理由は何ですか？（複数回答可・3つまで）



有効回答数：平日 48／土日 30

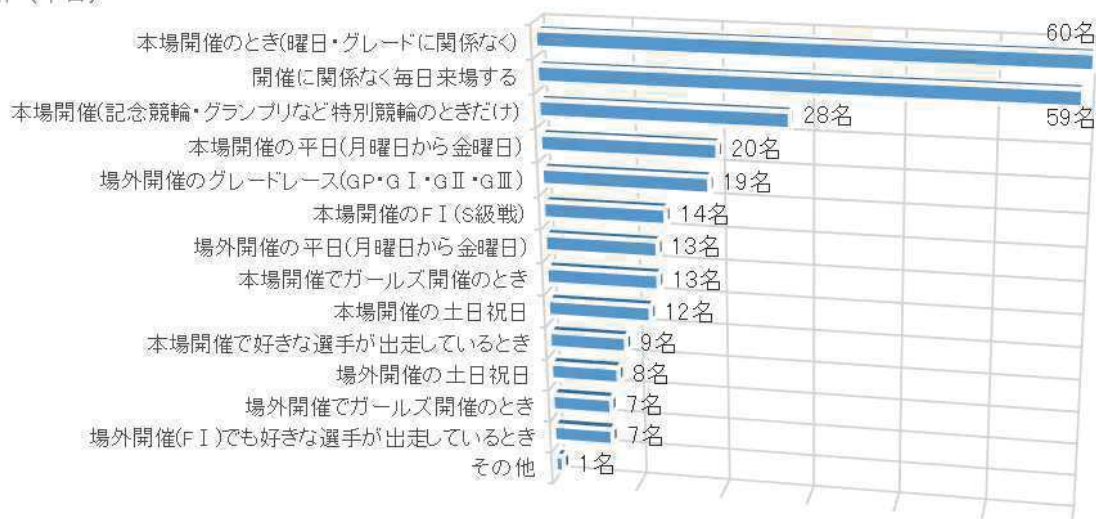
【立川競輪場に来場する（したくなる）開催について】（問 12）

平日も土日も「本場開催のとき（曜日・グレードに関係なく）」が最も多い回答でした。

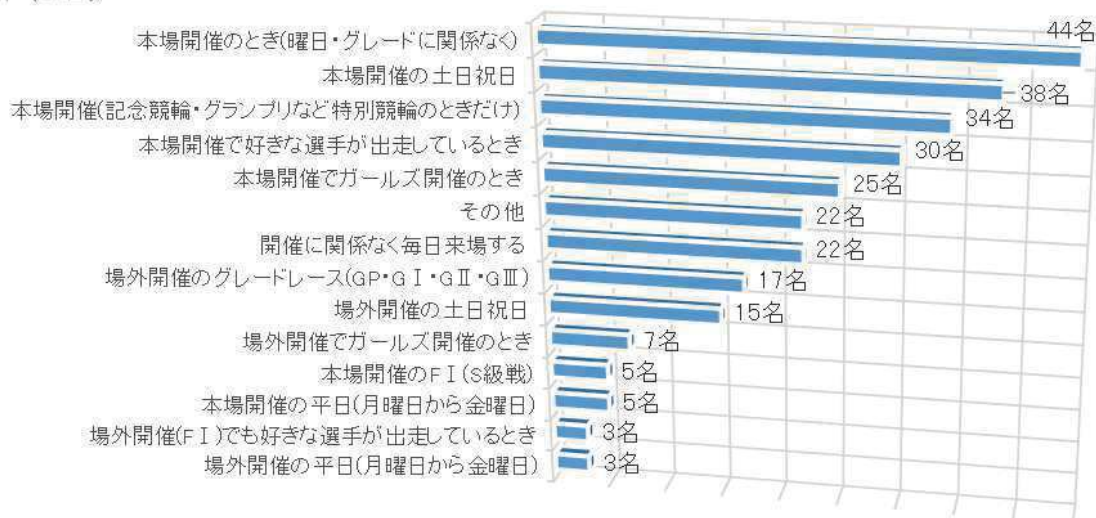
特に土日では、「本場開催の土日祝日」が約 25%、「本場開催で好きな選手が出走しているとき」も約 20%で、一定数の本場ファン、選手ファンの存在を示唆しているものと考えられます。

問 12. 立川競輪場に来場する（来場したくなる）ときはどのような開催ですか？（複数回答可・3つまで）

計（平日）



計（土日）



有効回答数：平日 156／土日 152

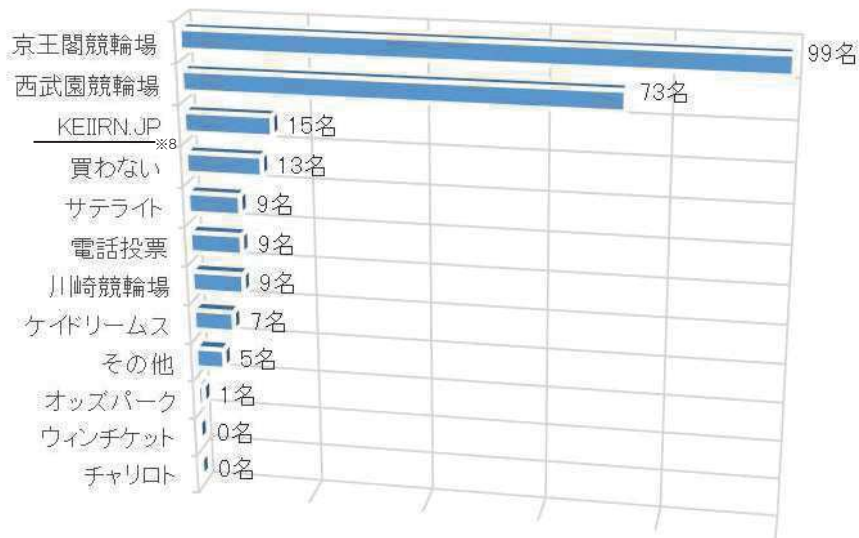
【立川競輪場以外での車券購入先について】（問 13）

立川競輪場で車券発売のない時、車券はどこで購入しますか？との設問では、平日は「京王閣競輪場」、「西武園競輪場」の回答が多くなっています。平日で京王閣競輪場・西武園競輪場・川崎競輪場の各近隣競輪場で車券を購入されるお客様の割合は、土日のお客様の割合の倍以上となっています。

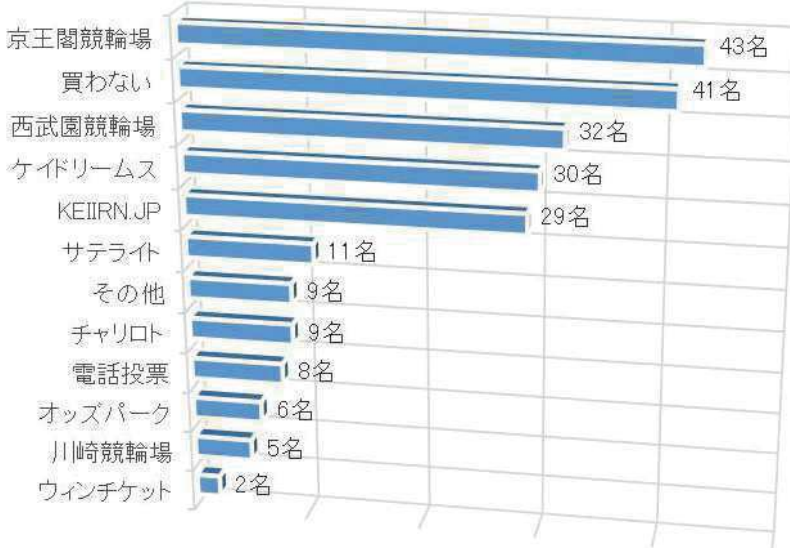
土日でインターネット投票関係（電話投票・民間ポータルサイト※7含む）から車券を購入すると回答したお客様の割合は、平日の約3倍となっており、平日と土日で大きな違いがでています。

問 13. 立川競輪場で車券発売のない時、車券はどこで購入しますか？（複数回答可）

計（平日）



計（土日）



有効回答数：平日 156／土日 156

【複数の競輪場で開催されているレースの購入状況】（問 14・問 16）

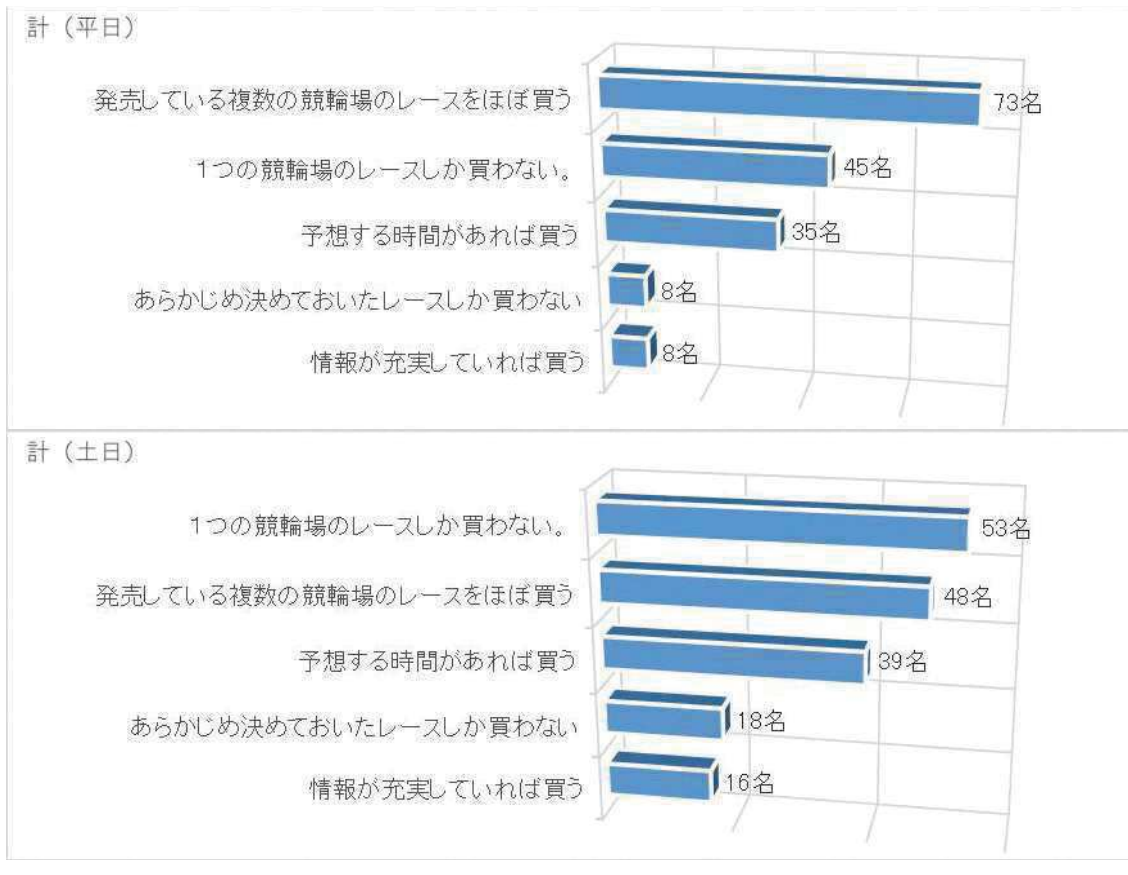
平日では「ほぼすべてのレースを買う」が約 50%で、一定数のお客様は発売レース数に応じて車券購入が増加するものと考えられます。

「あらかじめ決めておいたレースしか買わない」と回答したお客様に、買うレースを決めた理由を尋ねたところ、「知っている選手が出場するレース」の回答が最も多く、知っている選手を増やすことは、売上の面でも有効な施策であると考えられます。

多場併売の際に何場まで同時に買いますか、との設問では、平日土日に問わず「3 場」との回答は少ないものの、「2 場」との回答が約 70%で、多場併売については一定の需要があると考えられます。

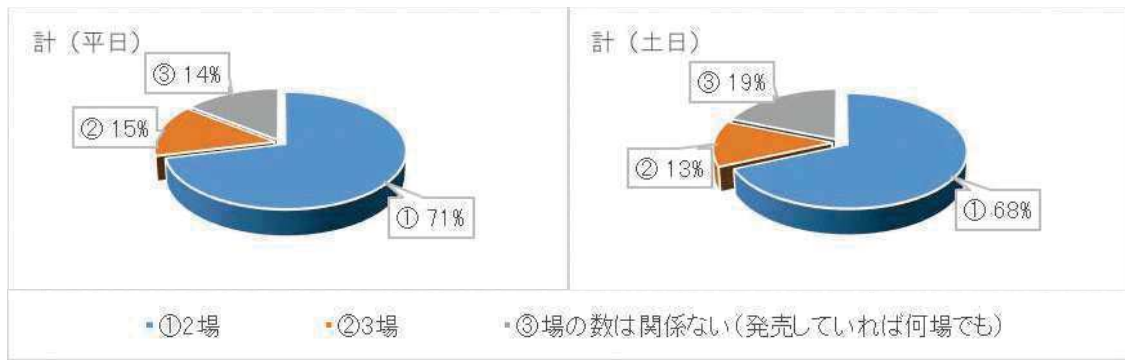
予想に費やす平均時間は何分ぐらいですか、との設問では、15 分未満の各選択肢の合計が、平日、土日とも約 80%でした。

問 14-1. 複数の競輪場で開催されているレースを同時に発売していたら、それぞれの競輪場のレースを買いますか？（複数回答可・2 つまで）

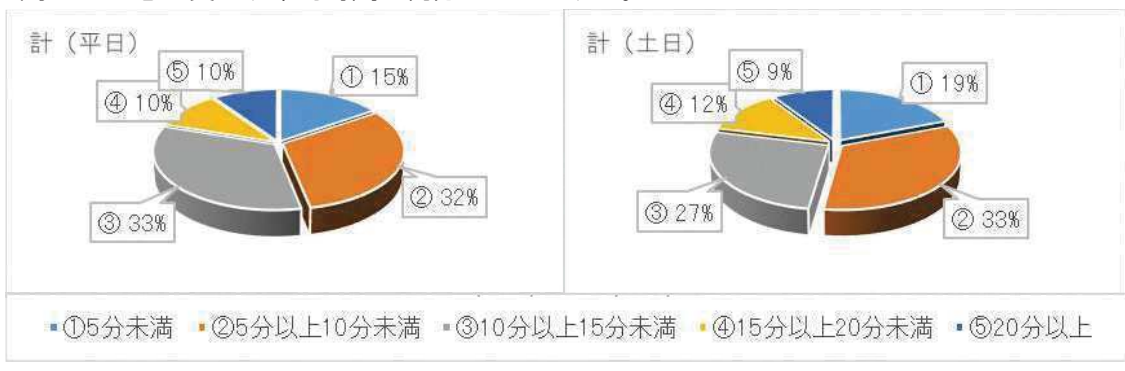


有効回答数：平日 156／土日 152

問14-2. 問14-1. で、2～5にお答えした方にお尋ねします。何場まで同時に買いますか？



問16. 予想に費やす平均時間は何分ぐらいですか。

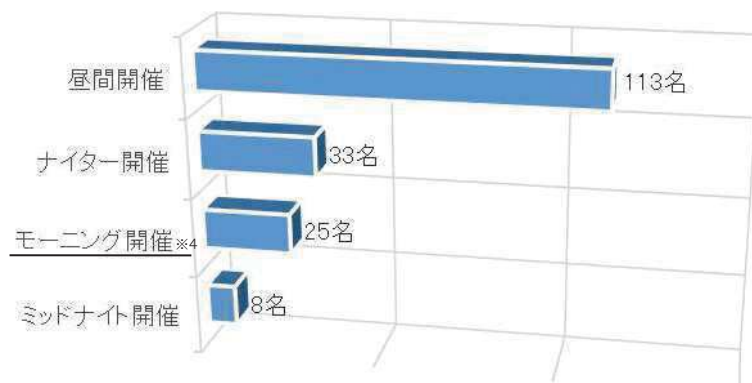


【利用してみたい開催形態】（問 15）

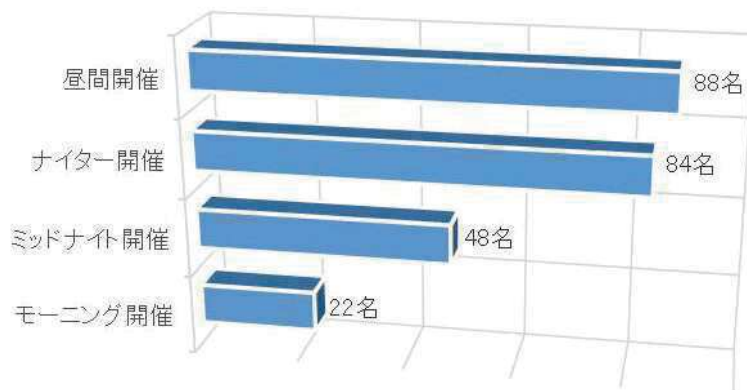
土日では「ナイター開催※4」が 50%超、「ミッドナイト開催」も約 30%で、現在立川競輪場では開催していないこれらの開催形態についても、特にナイター開催については一定の需要があると考えられます。

問 15. 開催形態の多様化についてお聞きます。現在、競輪は次のような形態での開催が行われていますが、利用してみたいと思う開催形態はどれですか？（あてはまるもの全て選択して下さい。）

計（平日）



計（土日）

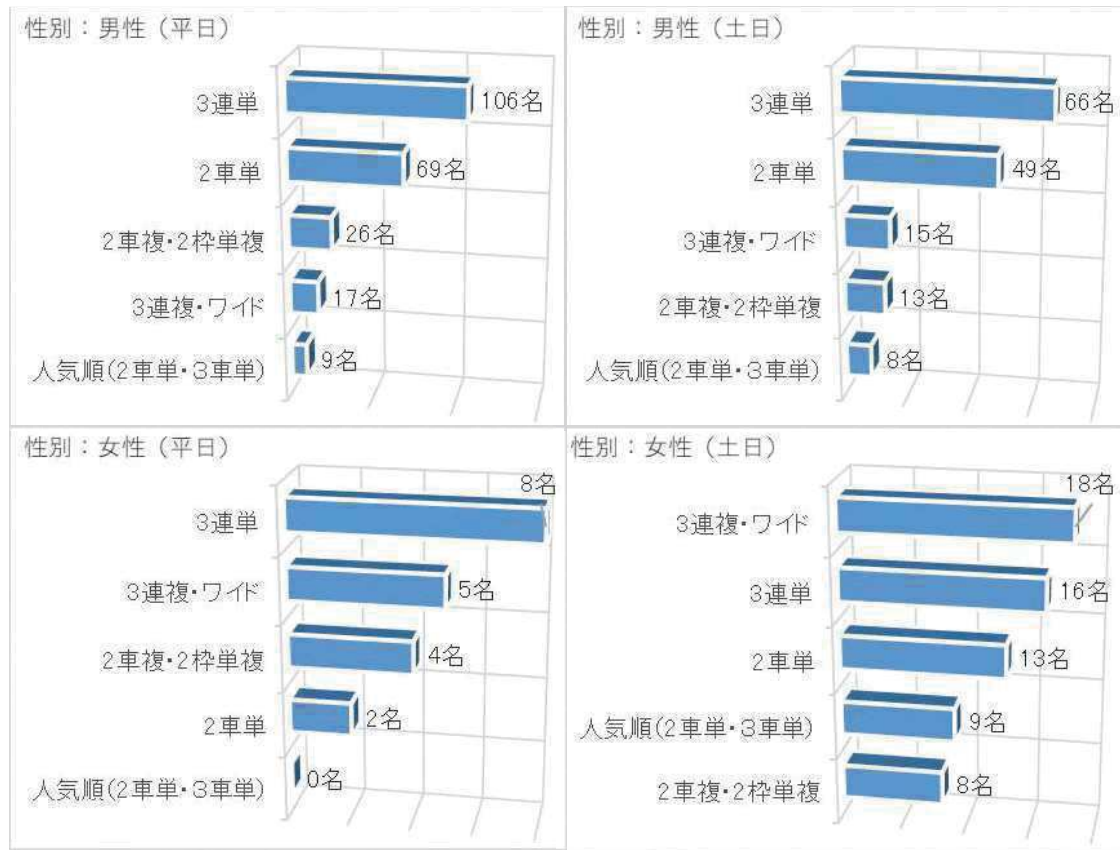


有効回答数：平日 152／土日 155

【オッズモニターの利用状況】（問17）

2車単・3連単のオッズモニターがよく見られています。平日土日に関わらず女性では、「3連複・ワイド」の回答が多くなっています。

問 17. 車券購入の際によく見る（参考にする）モニターのオッズはなんですか？（複数回答可・2つまで）



有効回答数：平日 156(男性 144 女性 12)／土日 148(男性 100 女性 48)

【車券を買うときに見る情報源】（問 18～問 20）

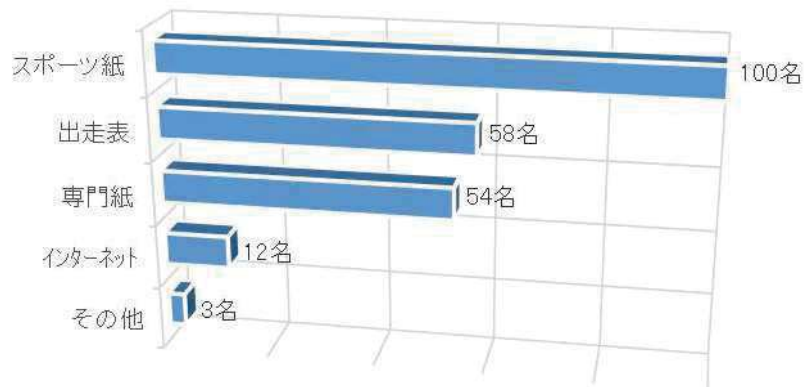
平日では「スポーツ紙」が60%を超えており、スポーツ紙が情報源として重要な媒体であると考えられます。

土日では「出走表」および「スポーツ紙」が多いながらも、「インターネット」が約30%にのぼり、一定のお客様の層に対しては競輪場内のインターネット環境の向上が有効な施策になると考えられます。

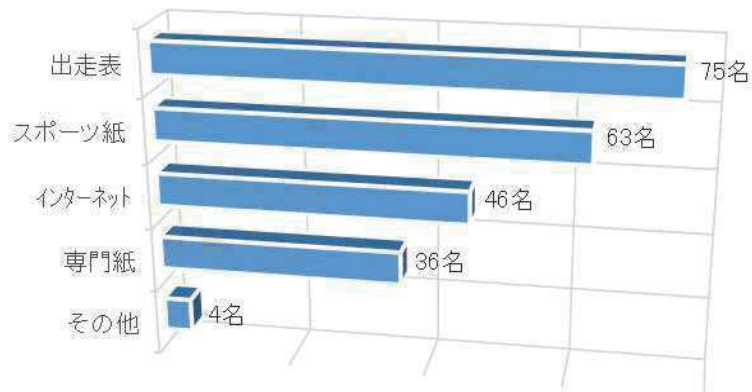
主にどのような情報を参考に車券を購入しますか、との設問では、回答の多い順に「並び」、「オッズ」、「競走得点」となっています。「買い目・フォーカス」よりも「選手コメント」や「前走の走り評」が好まれているようです。また「選手インタビューやレポート」も一定の人気があります。

問 18. 車券を買うときは、何を見て買いますか？（複数回答可・3つまで）

計（平日）



計（土日）



有効回答数：平日 155／土日 152

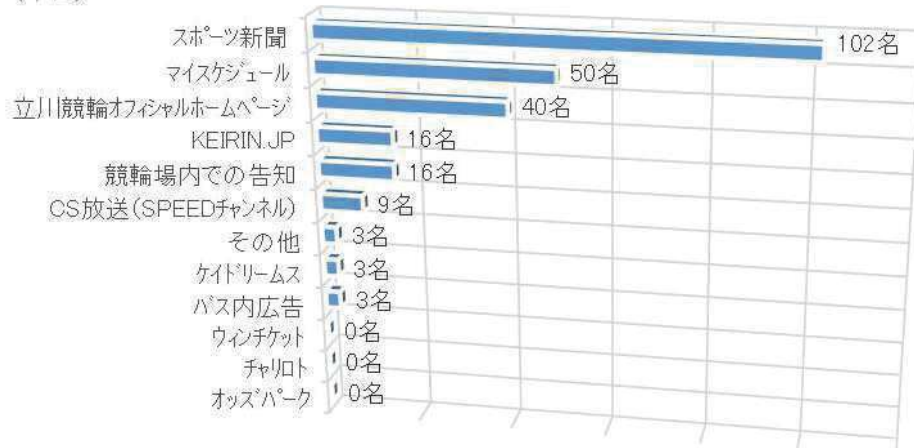
【立川競輪の開催情報の取得源】（問 21）

立川競輪の開催情報は、どこで取得していますか？との設問では、平日土日の合計では「スポーツ新聞」が最も多く、スポーツ紙が情報源として重要な媒体であると考えられます。

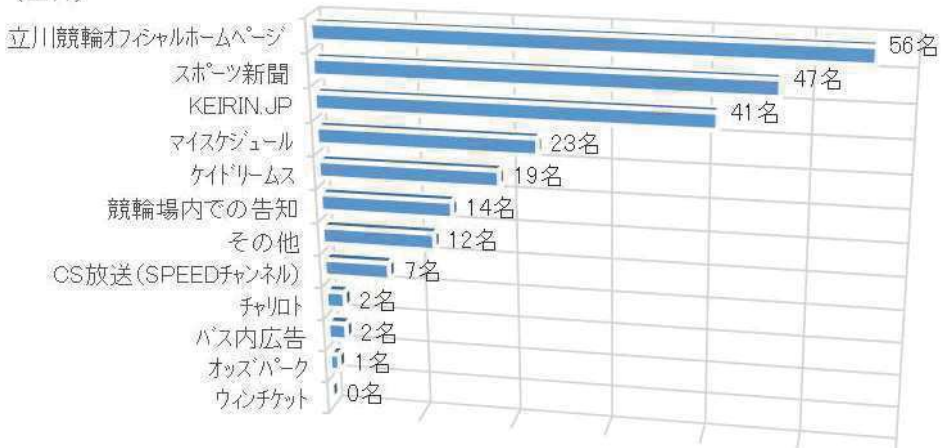
「スポーツ新聞」以外では、平日では「マイスケジュール」が多く、土日では「立川競輪オフィシャルホームページ」が多く、平日では「マイスケジュール」が多く、土日では「立川競輪オフィシャルホームページ」や各インターネット投票サイトの回答が多くなっています。

問 21. 立川競輪の開催情報は、どこで取得していますか？（複数可・3つまで）

計（平日）



計（土日）



有効回答数：平日 154／土日 155

【立川競輪場ホームページの利用状況】（問 22）

平日は「見たことがない」が過半数を超えているのに対し、土日では「見たことがある」が約 65%に達しており、有効な情報提供のコンテンツであると考えられます。主に利用されているコンテンツは「開催スケジュール」と「ニュース&イベント情報」でした。

ホームページで普段利用しているコンテンツをお答えください、との設問では、回答の多い順に「開催スケジュール」、「ニュース&イベント情報」、「出場予定選手」となっています。

問 22-1. 立川競輪のホームページはみたことはありますか？



【特別観覧席の利用状況】（問 23）

特別観覧席を利用しますか？との設問では、平日では「必ず利用する」が約 50%、「時々利用する」の回答と合わせると約 80%に達します。一方土日では「利用しない」が約 50%となっています。

特別観覧席を利用するお客様に向けた、特別観覧席で改善したらよいと思うところはどこですか、との設問では、回答の多い順に「座席（1人がけの座席への改修など）」、「机（奥行が狭いなど）」、「売店などの充実」となっており、一人でもゆっくりレース観戦できるような環境整備の必要があると考えられます。

特別観覧席を利用しないお客様向けの、どのようなサービスがあれば特別観覧席を利用しますか？、との設問では、「利用するつもりはない」の回答を除くと、回答の多い順に「抽選会やトークショーなどのイベントを実施している」、「仲間と一緒にレースが楽しめる部屋がある」となっています。

問 23-1. 特別観覧席を利用しますか？



【食堂・売店の利用について】（問 24）

食堂、売店を「利用する」と回答したお客様は平日では約 70%、土日では約 80%でした。

また「利用する」と回答したお客様に、利用される主な理由を尋ねたところ、平日では「競輪場から出るのが面倒」との回答が最も多く約 50%で、土日では「競輪場から出るのが面倒」、「価格が安い」以外にも、「おいしい」からとの回答が約 30%でした。

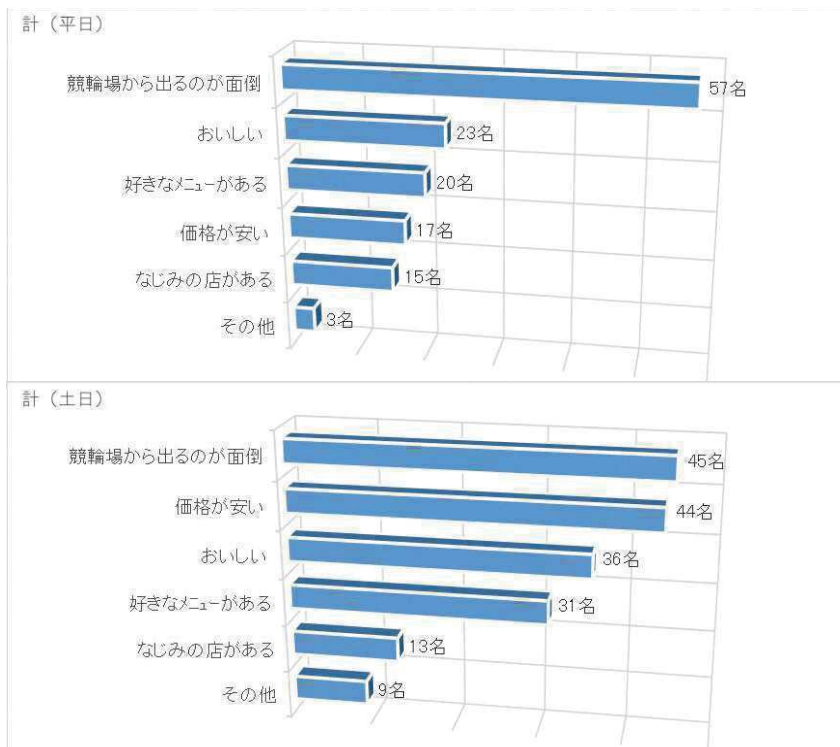
一方で「利用しない」と回答したお客様に、利用しない主な理由を尋ねたところ、「おいしくない」からと回答したお客様は、平日では約 50%でした。特に土日で「利用しない」と回答したお客様からは「（競輪場内で）食事をとらない」「競輪場の滞在時間が短い」などの理由も一定数見受けられました。

問 23 の結果とあわせ、今後は売店を含めた食の充実の必要性があると考えられます。

問 24-1. ご来場した際に場内の食堂・売店をご利用になりますか？

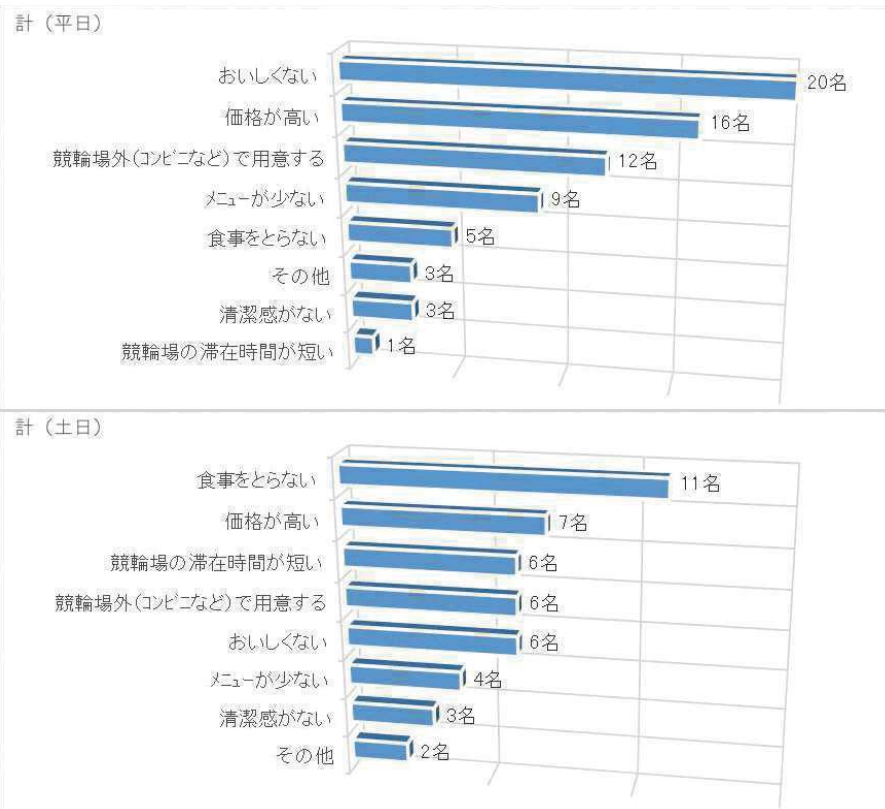


問 24-2. 問 24-1. で「利用する」と回答した方にお尋ねします。利用される主な理由をお答えください（複数回答可・2 つまで）



有効回答数：平日 110 / 土日 121

問 24－3. 問 24－1. で「利用しない」と回答した方にお尋ねします。利用しない主な理由をお答えください。（複数回答可・2つまで）



有効回答数：平日 42／土日 35

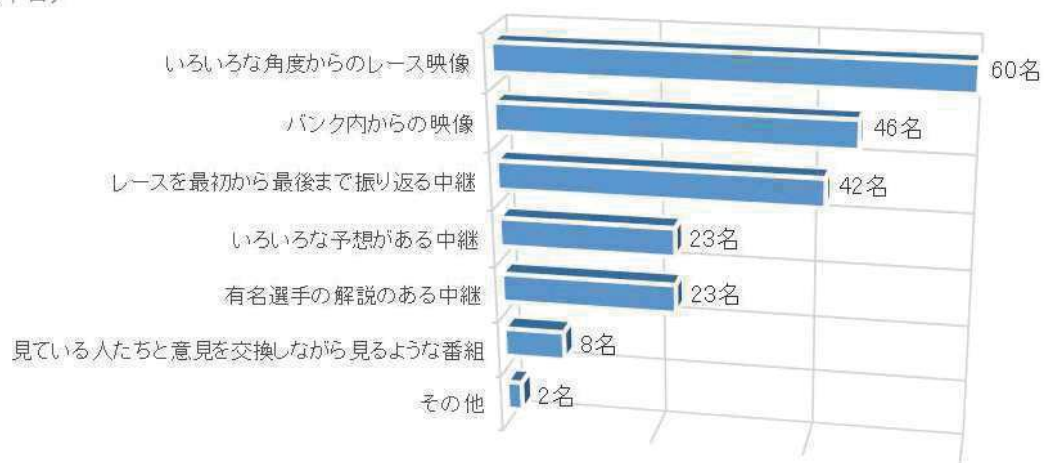
【レース映像・レース中継で見たいもの】（問 25）

「いろいろな角度からのレース映像」と回答が平日では約 40%、土日では約 30%でした。
「バンク内からの映像」を見たいとの回答は、平日では約 30%、土日では約 35%でした。

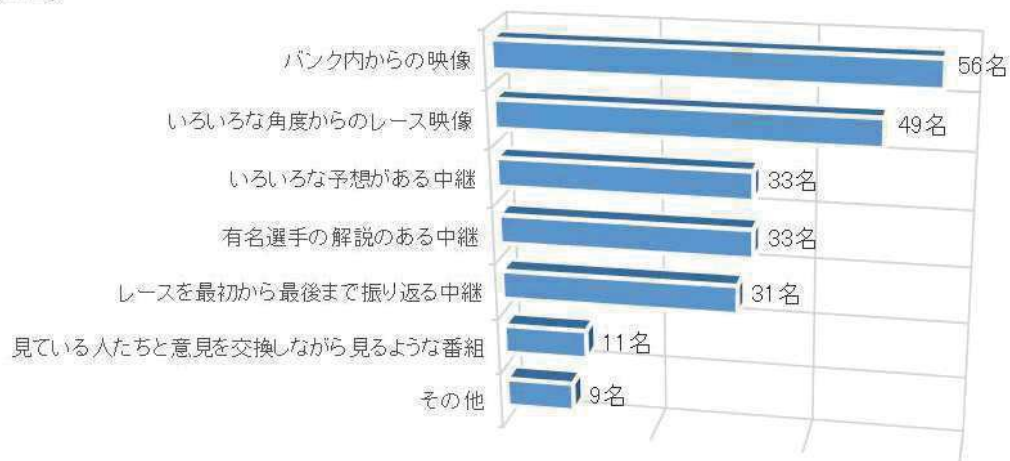
お客様からは既存のレース中継以外にも、幅広く新しい映像手法の提供が求められていると考えられます。

問 25. レース映像・レース中継（CS 放送・インターネットライブ含む）で見たいものを教えてください。（複数回答可・2 つまで）

計（平日）



計（土日）



有効回答数：平日 145／土日 152

【ファンサービスおよびイベントについて】（問 26～問 29）

場内で実施されるイベントやファンサービスの好みの順位に関する設問では、「選手・元選手によるトークショー」を1位とするお客様が土日では約40%にのびります。

どのような抽選会がよいと思いますか、との設問では、「高額ではないがたくさんの人に当たる抽選会」との回答が平日では約60%、土日でも50%で最も多くなっています。

どのようなイベントがよいと思いますか、との設問では、平日も土日も「競輪選手と交流できるイベント」「競輪選手のトークショー」の順に回答が多くなっています。特に土日では「バックヤードツアーなど普段見ることができないことが見ることができたり体験できるイベント」がこれらに次いで多い回答となっています。

問 26. 場内で実施されるイベントやファンサービスについて好みの順位を1位～4位まで順位をつけてください。

計（平日）

①	1位 41名	2位 26名	3位 46名	4位 40名	平均2.556位
②	1位 23名	2位 27名	3位 47名	4位 54名	平均2.874位
③	1位 42名	2位 48名	3位 27名	4位 34名	平均2.351位
④	1位 46名	2位 48名	3位 29名	4位 28名	平均2.258位

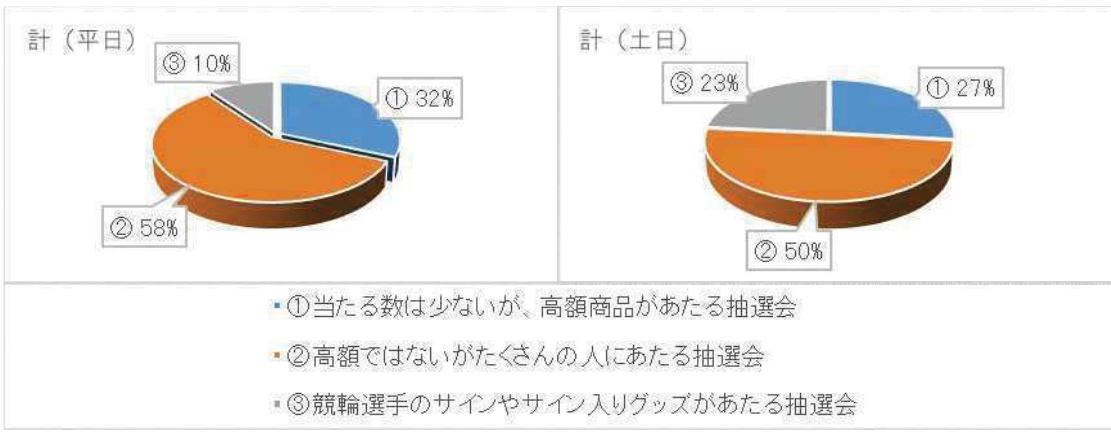
計（土日）

①	1位 60名	2位 23名	3位 36名	4位 27名	平均2.205位
②	1位 18名	2位 22名	3位 46名	4位 57名	平均2.993位
③	1位 30名	2位 44名	3位 41名	4位 28名	平均2.469位
④	1位 41名	2位 55名	3位 21名	4位 28名	平均2.248位

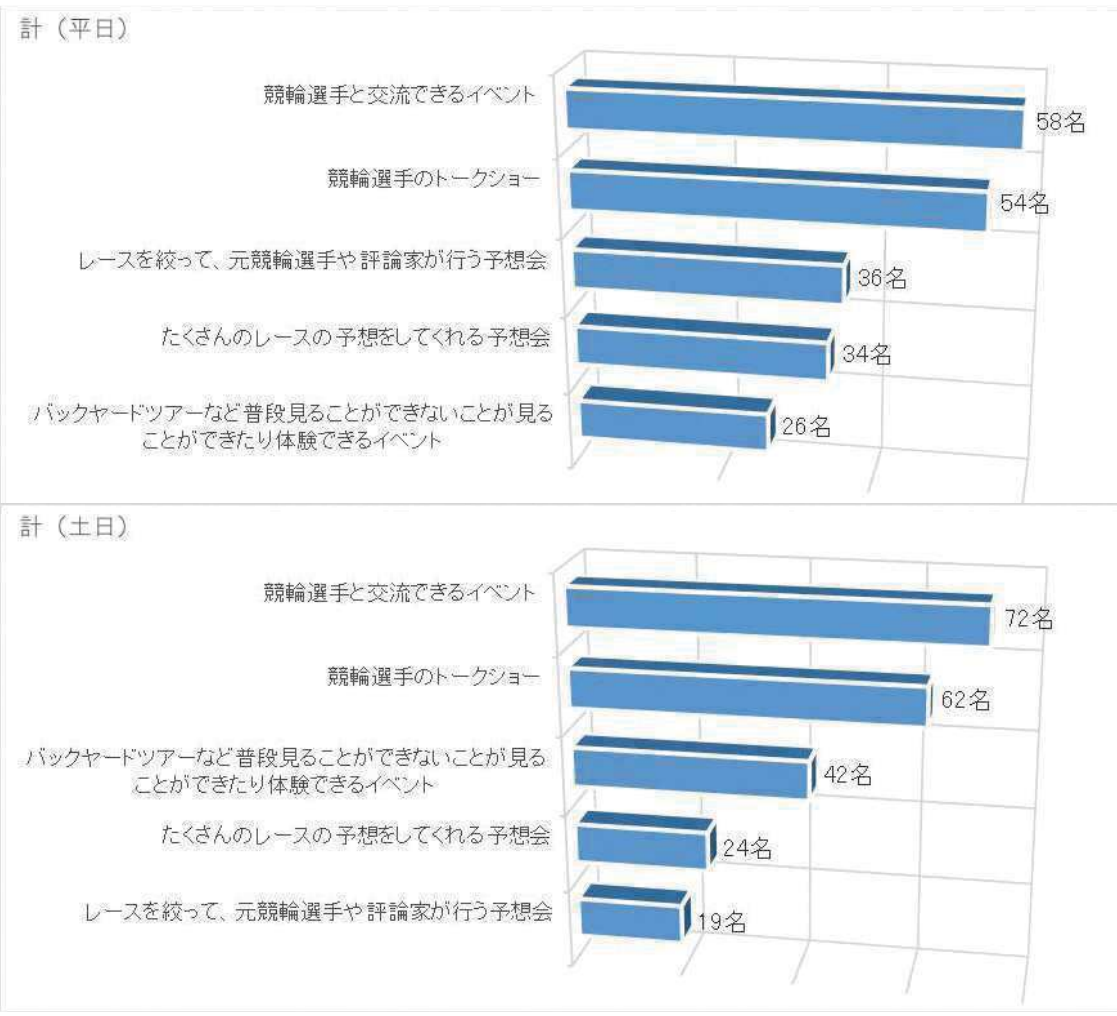
- ①選手・元選手によるトークショー
- ②新聞記者・専門解説員による予想会
- ③ガラボン抽選会
- ④ファンサービス品の無料配布

有効回答数：平日 153／土日 147

問 27. 抽選会についてお尋ねします。どのような抽選会がよいと思いますか？ 下記より回答を1つお選びください。



問 29. イベントについてお尋ねします。どのようなイベントがよいと思いますか？（複数回答可・2つまで）

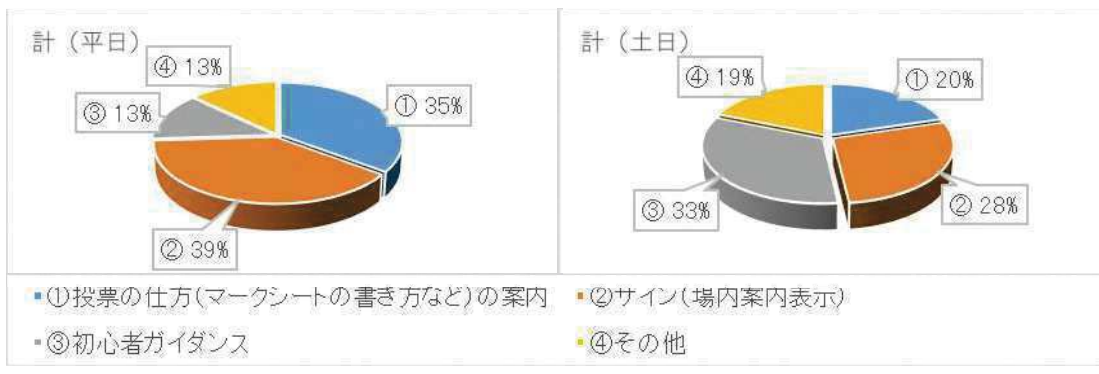


有効回答数：平日 153／土日 151

【場内設備について】（問 30）

場内設備・サービスで足りないものは何ですか？との設問では、平日土日の合計では「サイン（場内案内表示）」が約 30%でした。特に土日では、「初心者ガイダンス」が約 30%でした。

問 30. 場内施設・サービスについてお尋ねします。場内施設・サービスで足りないものは何ですか？ 下記より回答を1つお選びください。



第3章 収支改善策

第1節 売上浮揚策

＜今後の方針＞

本場の活性化と広域（全国）的な発売をするため、インターネット発売の売上浮揚に取り組み、合わせて受託場外発売を拡大することで収益金を確保します。

1 本場売上の向上

競輪の認知度向上とともに、来場することで得られる体験を提供する等、来場のきっかけを創出することで本場へ誘導し、本場を活性化させることで車券購入につながります。

（１） 現在の取組

- ・ 主要スポーツ紙への本場開催前日広告の掲載と記事枠の確保
- ・ 選手や芸能人等トークショー、専門家による予想会等イベントの実施
- ・ 入場者先着プレゼント等抽選会や記念競輪ジャンパー等オリジナルグッズの作成
- ・ 施設改修による快適に過ごせる空間の確保

（２） 今後の施策

①多様な商品の提供と多様な発売形態の検討

本場開催と場外開催の併売や、お客様の来場しやすい開催日程やあっせんメンバーの確保等、お客様の買いたいレースを提供します。

また、モーニング競輪、ナイター競輪、ミッドナイト競輪に参入する競輪場が増加しており、お客様ニーズや業界の動向に対応するために、多様な商品を提供するための課題や調整事項を検討します。

②効果的な広報宣伝と情報提供

業界と連携し効果的な媒体やSNS等のツールを活用し競輪を認知してもらうとともに、立川競輪場でしか得られないファンサービスやイベント情報を提供することで、お客様の来場を促進し、車券の購入につながります。

③ファンの拡大と育成

競輪場に来場する機会を創出するとともに、立川競輪場のバンクの特徴を踏まえた初心者向けのイベント等を開催することで、来場促進を図ります。

（３） 指標

令和2年度以降対前年度比本場車券売上（収支改善前）	15%減
令和3年度以降対前年度比本場車券売上（収支改善後）	14%減に改善

2 電話・インターネット投票の売上の向上

C T C※⁹や民間ポータルサイトと連携して、広域（全国）的にインターネット投票の会員数を増やし、多くのお客様が購入することで売上の向上を図ります。

（１） 現在の取組

- ・インターネット投票キャンペーンの実施
- ・KEIRIN. JP やたちかわ競輪ホームページでのインターネット放映や、競輪専門チャンネル（C S放送）の放映
- ・立川競輪場のホームページの充実と、専門紙を活用した情報提供の充実
- ・民間ポータルサイトとの連携したファンサービス品の提供やキャンペーン等の実施

（２） 今後の施策

①業界の公式サイトである KEIRIN. JP との連携

業界と連携し KEIRIN. JP でのキャンペーンを実施することで、会員数の増加を図り売上を確保します。

②民間ポータルサイトの活性化

各民間ポータルサイトが特徴を生かして会員獲得と定着化を進め、立川競輪場のオリジナルグッズやファンのニーズに合った売上促進グッズを民間ポータルサイトに提供する等、立川競輪が開催する車券購入につなげます。

③ネットとリアル融合

普段、電話・インターネットで購入しているお客様を立川競輪場に招待する等、生のレースを観覧することで、バンク特徴を踏まえたレースの予想や本場でしか得られない情報提供を行うことにより、本場への来場誘導することで売上浮揚につなげます。

④魅力的な映像配信

インターネット投票が増加している中で、バンク内からの映像や様々な角度からの映像を提供することで、競輪場で観覧しているのと同様の臨場感を体験することができ、立川競輪場ならではのサービスを提供することで売上浮揚につなげます。

（３） 指標

令和２年度以降対前年度比電話投票売上（収支改善前）	5%減
令和３年度以降対前年度比電話投票売上（収支改善後）	4%減に改善
令和２年度以降対前年度比場外売上（収支改善前）	横ばい
令和３年度以降対前年度比場外売上（収支改善後）	0.5%増

3 受託事業収入の確保

立川競輪場における受託場外発売を拡大するとともに、管理サテライト※10等の設置者と連携し売上を確保することで、受託事業収入を確保します。

(1) 現在の取組

- ・ 近隣の競輪場と調整し、最適な場外日程を確保
- ・ 受託場外発売日における複数の場外発売の実施
- ・ 管理サテライト等における売上向上に向けた設置者と連携したファンサービスの提供や立川競輪場のイベント映像を配信するサテライトネット等の実施

(2) 今後の施策

①受託場外発売延べ日数の確保

昼間の受託場外発売日数は近隣競輪場と商圈が重なり、これまで以上に増やすことは難しいですが、可能な限り調整を行い受託場外発売延べ日数を確保します。

②多様な時間帯における場外発売の実施

競輪はほぼ毎日モーニング競輪からナイター競輪まで実施しており、モーニング競輪やナイター競輪の場外発売の当回売りを検討し、多様な時間帯における場外発売を実施することで、発売延べ日数と受託場外開催数を増やします。

③管理サテライト等における売上向上

管理サテライト設置者等と情報交換を行うとともに、立川競輪場のオリジナルグッズやファンのニーズに合った売上促進グッズを管理サテライト等に提供する等、サテライトに来場しなければ得られない体験や情報を提供します。

(3) 指標

平成 30 年度	立川競輪場が受託する場外開催数	延べ 49 開催
令和 6 年度	立川競輪場が受託する場外開催数	延べ 65 開催

4 その他

KEIRIN グランプリを誘致するとともに、記念競輪の日程を固定することで、収益を確保します。

(1) 現在の取組

- ・ 記念競輪の毎年 1 月 4 日から 7 日までの開催
- ・ KEIRIN グランプリの誘致

(2) 今後の施策

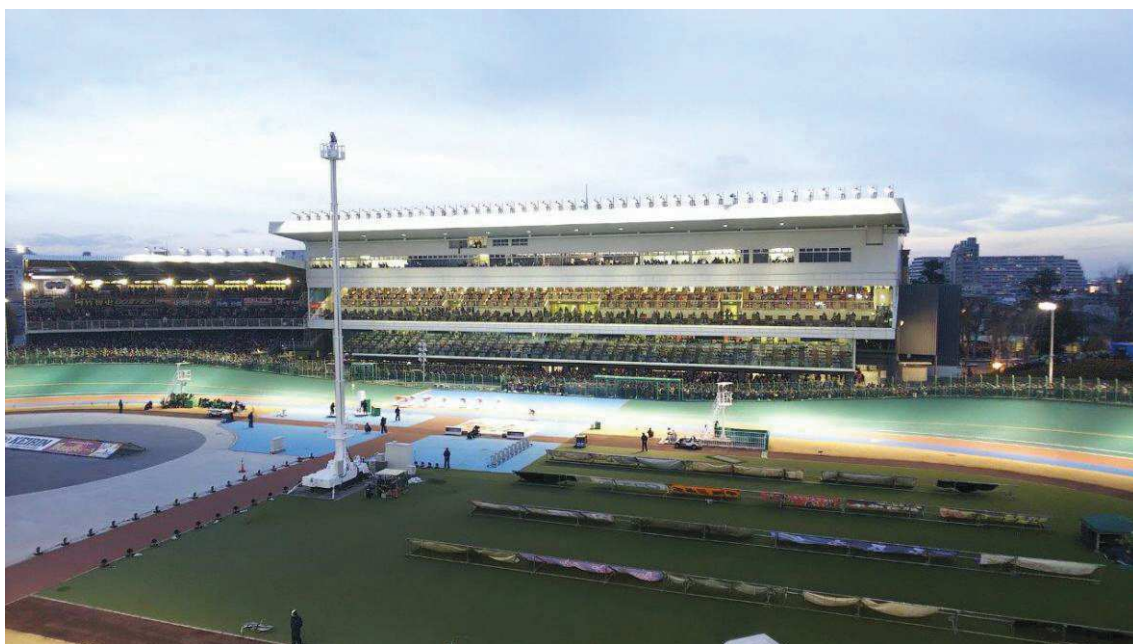
①記念競輪の日程の固定化

立川競輪場開設記念競輪（鳳凰賞典レース）は、全国の記念競輪の中で一番

の売上であり、お客様には年始の記念競輪は立川競輪場であることが定着しています。今後もさらにこの認知度を向上させ、売上を確保します。

②KEIRIN グランプリの誘致

最近では3年に1度の間隔で KEIRIN グランプリを開催しています。KEIRIN グランプリ発祥の競輪場として、積極的に誘致します。



立川競輪場で開催された KEIRIN グランプリ 2019

第2節 経費削減策

＜今後の方針＞

入場数に合わせた発売エリアの見直しや無駄な経費等を洗い出し、安定的な経営を維持し収益金を確保します。

1 効率的な発売体制及び開催運営体制の確立

入場者数に連動した発売体制と効率的な運営体制を確立し経費の削減に努めます。

（１） 現在の取組

- ・ 入場者数に応じた計画的な窓口配置計画
- ・ 従事員の退職者不補充
- ・ 建屋の人員配置見直しと一部建屋委託

（２） 今後の施策

①発売エリアの見直し

入場者数に合わせた発売エリアを見直すことで開催経費を抑えます。

②開催運営体制の確立

従事員の減少に伴い、安定的な開催を行うための窓口配置や人員配置について関係者と協議を重ね、安定的な開催運営体制を確立します。

（３） 指標

平成 30 年度	普通開催・記念開催支出額	986 百万円
令和 6 年度	普通開催・記念開催支出額	985 百万円
平成 30 年度	場外事務支出額	1, 823 百万円
令和 6 年度	場外事務支出額	1, 875 百万円(売上増加に係る経費のみ)

2 開催経費の点検及び見直し

令和 2 年度以降に事務委託方式^{※11}へ移行することで、受託場外開催については開催場から委託を受けて開催することになるため、全ての開催経費を点検し、仕様を見直す等、無駄な経費を抑えます。

（１） 現在の取組

- ・ 予算編成時における仕様の見直しと見積額の精査
- ・ 消耗品等、在庫の適正管理と計画的な発注
- ・ 光熱水費の削減

(2) 今後の施策

①開催運営体制に合わせた仕様の見直し

発売エリアの変更や、安定的な開催運営体制の確立を見据え、実態に即した仕様書を作成し、経費を抑えます。

②徹底した在庫管理と光熱水費の削減

在庫管理を徹底することで経費を削減するとともに、光熱水費の支出を抑えます。

(3) 指標

「1 効率的な発売体制及び開催運営体制の確立」の指標と同じ。

第3節 その他取組事項

＜今後の方針＞

施設改修工事（第2期）への対応や、施設改修計画にない建物への安全対策と老朽化した設備の更新等を計画的に実施することで、安定的な経営につなげます。

また、市民に愛される競輪場を目指すため、競輪場のイメージアップや地域密着の取組を継続して実施してまいります。

1 施設改修工事（第2期）に係る内容の再検討と計画的な施設保全及び設備更新計画の検討

競輪事業を取り巻く環境変化と建築需要の動向を見据えた、施設改修工事（第2期）の改修計画の内容を再検討するとともに、競輪場内の建築物や設備に係る保全及び更新計画の検討を行います。

（1） 現在の取組

- ・施設改修工事（第2期）に向けた課題の洗い出し
- ・施設改修計画にない競輪場内の建築物の保全に向けた検討
- ・設備機器に係るメーカーや保守点検事業者からの情報収集

（2） 今後の施策

①施設改修工事（第2期）の改修計画内容の再検討

施設改修工事（第2期）の施工に向け、課題について部内での検討結果を整理します。

②施設改修計画対象外の建築物に係る保全計画の検討

施設改修計画対象外の建築物の安全対策と保全に係る情報収集を行い部内での検討結果を整理します。

③多様な発売形態における設備投資の検討

競輪事業を取り巻く環境変化を見据え、安定的な経営に向けた設備投資について情報収集を行い検討します。

2 市民に愛される競輪場

施設改修計画のコンセプトの一つである市民に愛される競輪場を目指し、地域活性化に資する取組や競輪場の地域開放を進めることで、競輪場に対するイメージを向上させ、ファン拡大につなげます。

（1） 現在の取組

- ・立川よいと祭り、立川子育て教育フェア等にブースを出展

- ・ たちかわ競輪感謝祭や立川競輪場 de 運動会の開催
- ・ 市民の丘の設置や集合棟等の貸出
- ・ ホームバンクを立川競輪場とする新人選手の育成

(2) 今後の施策

①立川プロスポーツ連絡会^{※12}を通じた地域活性化につながる

イベント等への協力

日本競輪選手会^{※13} 立川地区が立川プロスポーツ連絡会に所属しており、プロスポーツを通じた地域活性化につながるイベント等に協力することでファン拡大につなげます。

②施設の地域開放や感謝祭等のイベントの定着化

競輪場施設の地域への開放と感謝祭等を継続的に開催することで、競輪場に来場するきっかけをつくり、立川競輪場の認知度を向上させます。

③ホームバンクを立川競輪場とする新人選手の露出拡大

ホームバンクを立川競輪場とする新人選手が順次デビューすることを見据え、報道機関や業界とも連携し、露出を多くすることで新たなファンの獲得を目指します。

3 中期基本方針への対応

競輪事業を持続的に発展させるために、(公財) J K A^{※14}、(公社) 全国競輪施行者協議会^{※15} 及び (一社) 日本競輪選手会で 2020 年度の売上等目標や取組等を定めた「中期基本方針」に対応する取組に主体的に参画します。

(1) 現在の取組

- ・ 産業構造審議会製造産業分科会車両競技小委員会^{※16} での議論を部内で情報共有
- ・ 施行者の取組スキームについての情報収集
- ・ 経産省や関係団体及び他の施行者との情報交換

(2) 今後の施策

①新たなモデル事業の提案

施行者から効果の見込まれる新たなモデル事業の提案を求めており、主体的に提案してまいります。

②業界で決定した新たなモデル事業における場間場外発売の協力

業界が決定した他の競輪場が取り組むモデル事業について、可能な限り場間場外発売に協力します。

4 東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした新たなファン層の獲得

2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会でのメダル獲得は、新たな競輪ファンを競輪場に誘導するきっかけになると期待されるため、事前の周知と大会期間中の広報を強化し、競輪の認知度向上につなげます。

(1) 現在の取組

- ・ 特別観覧席入口付近のスペースにオリンピック関連の展示
- ・ 市内商業施設での自転車競技に係るVRを活用したイベントの実施
- ・ 自転車競技を周知するためのイベントの実施（平成31年度実施予定）

(2) 今後の施策

①機会を捉えた自転車競技の周知・啓発

JKAが作成したオリンピック競技に係るポスターやプロモーションビデオを活用し、市内でのイベントや商業施設で活用し周知・啓発を図ります。

②パブリックビューイングの実施

大会期間中に自転車競技に係るパブリックビューイングを立川競輪場で実施します。

「中期基本方針」の概要

- 2020年度（令和2年度）に達成する数値目標は、
 - ✓ 売上： 7,000億円以上
 - ✓ 施行者収益： 160億円以上
 - ✓ 競輪場： 43場体制の維持
 - ✓ 競輪選手数： 2,400名程度の維持

- 競輪界は、お客様第一主義の下、

- ①顧客満足度の向上による既存顧客のつなぎ止め
- ②機会損失の解消による売上増加
- ③新規顧客獲得

を共通認識とし、①不採算レースの改善、②ビジネスモデル構築、③情報共有の仕組み構築、④民間企業の積極的活用と環境整備、⑤新規顧客獲得策の実施と継続、⑥既存商品の売上最大化、⑦選手が実力を発揮できる環境整備といった取組を実施。

第4章 今後の収支予測（改善後）

第3章での収支改善策実施後の予測を記載しました。

第1節 車券売上の推移予測（改善後）

- ・令和3年度から本場の売上が1%改善すると予測しました。
- ・令和3年度から電話の売上が1%改善すると予測しました。
- ・令和3年度から場外の売上が0.5%改善すると予測しました。
- ・令和3年度以降のKEIRINグランプリの開催は考慮していません。

<今回調査報告>

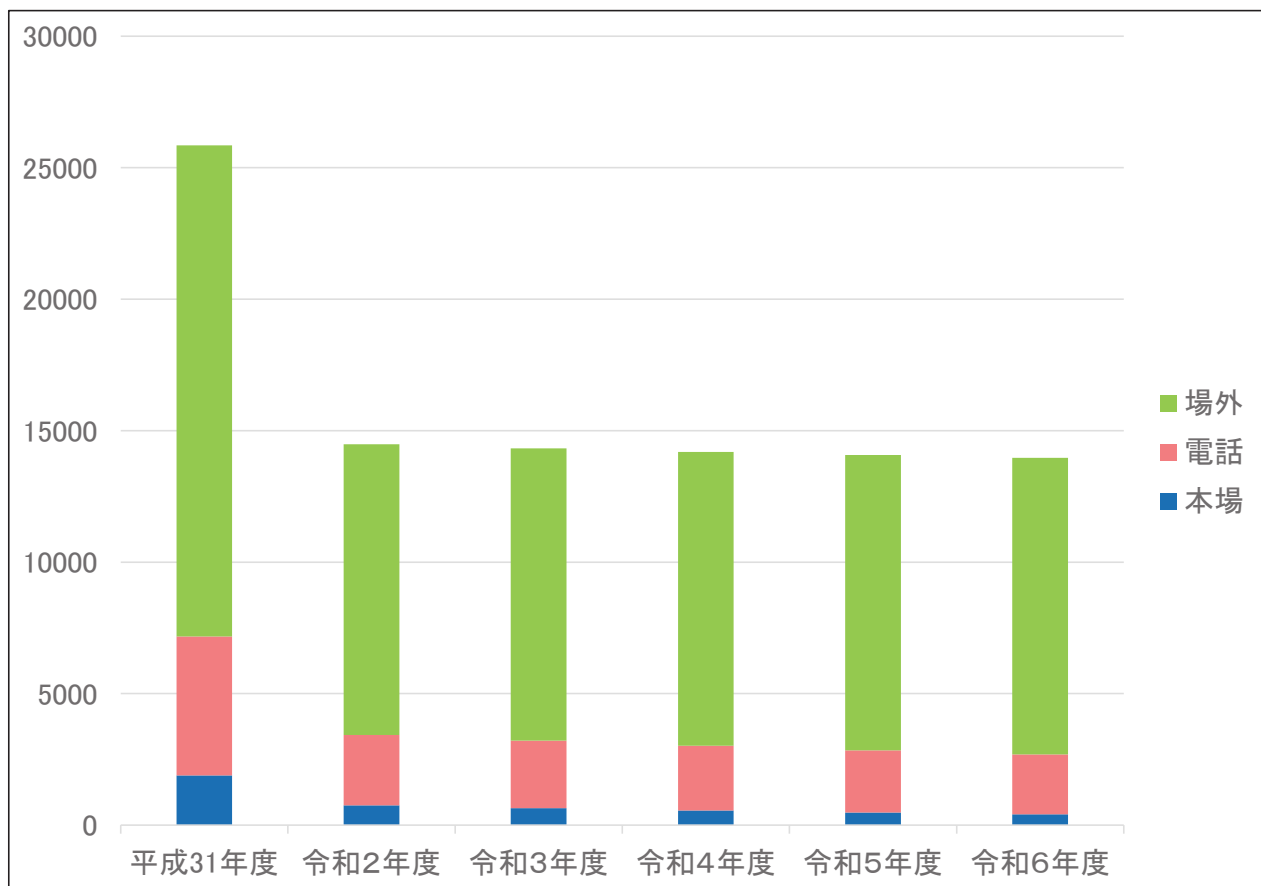
（単位：百万円）

開催年度	合計	本場	電話	重勝式統一発売	場外
平成31年度 (2019)	26,875	1,892	5,279	1,024	18,680
令和2年度 (2020)	15,670	749	2,680	1,186	11,055
令和3年度 (2021)	15,513	644	2,573	1,186	11,110
令和4年度 (2022)	15,376	554	2,470	1,186	11,166
令和5年度 (2023)	15,255	476	2,371	1,186	11,222
令和6年度 (2024)	15,149	409	2,276	1,186	11,278

*平成31年度は予算額（立川競輪場でKEIRINグランプリを開催）

*電話売上には重勝式売上（Dokanto!を除く）とインターネット投票（CTCのみ）が含まれています。

*表中の数値は返還金を含みます。



第2節 その他収入の推移予測（改善後）

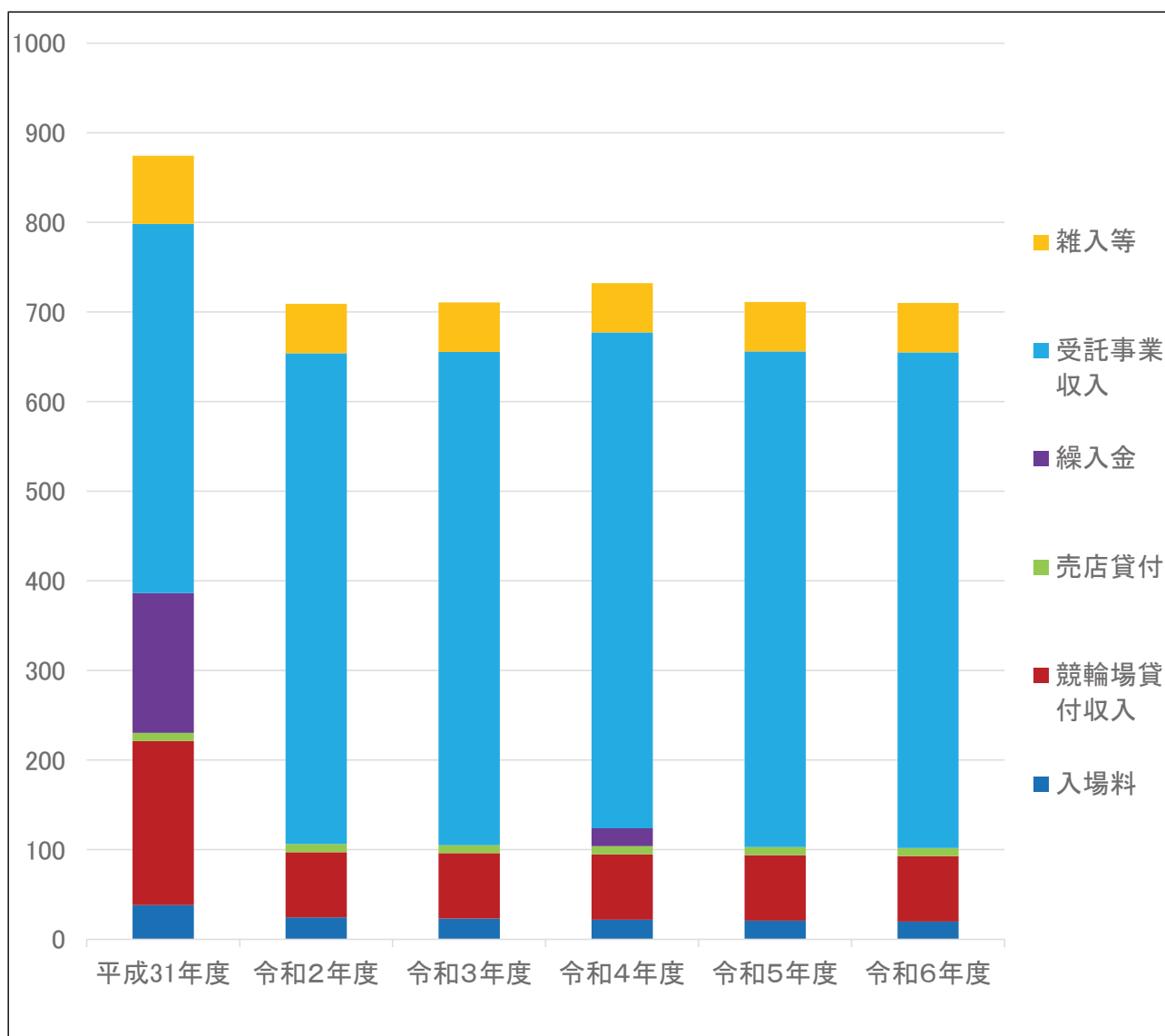
- ・令和2年度から令和4年度に受託事業収入の推移が0.5%改善し、令和5年度以降は横ばいに推移すると予測しました。

<今回調査報告>

（単位：百万円）

開催年度	合計	入場料	競輪場貸付収入	売店貸付	繰入金	受託事業収入	雑入等
平成31年度 (2019)	874	38	183	9	156	412	76
令和2年度 (2020)	709	24	73	9	0	548	55
令和3年度 (2021)	710	23	73	9	0	550	55
令和4年度 (2022)	732	22	73	9	20	553	55
令和5年度 (2023)	711	21	73	9	0	553	55
令和6年度 (2024)	710	20	73	9	0	553	55

* 平成31年度は予算額（立川競輪場でKEIRINグランプリを開催）



第3節 支出の推移予測（改善後）

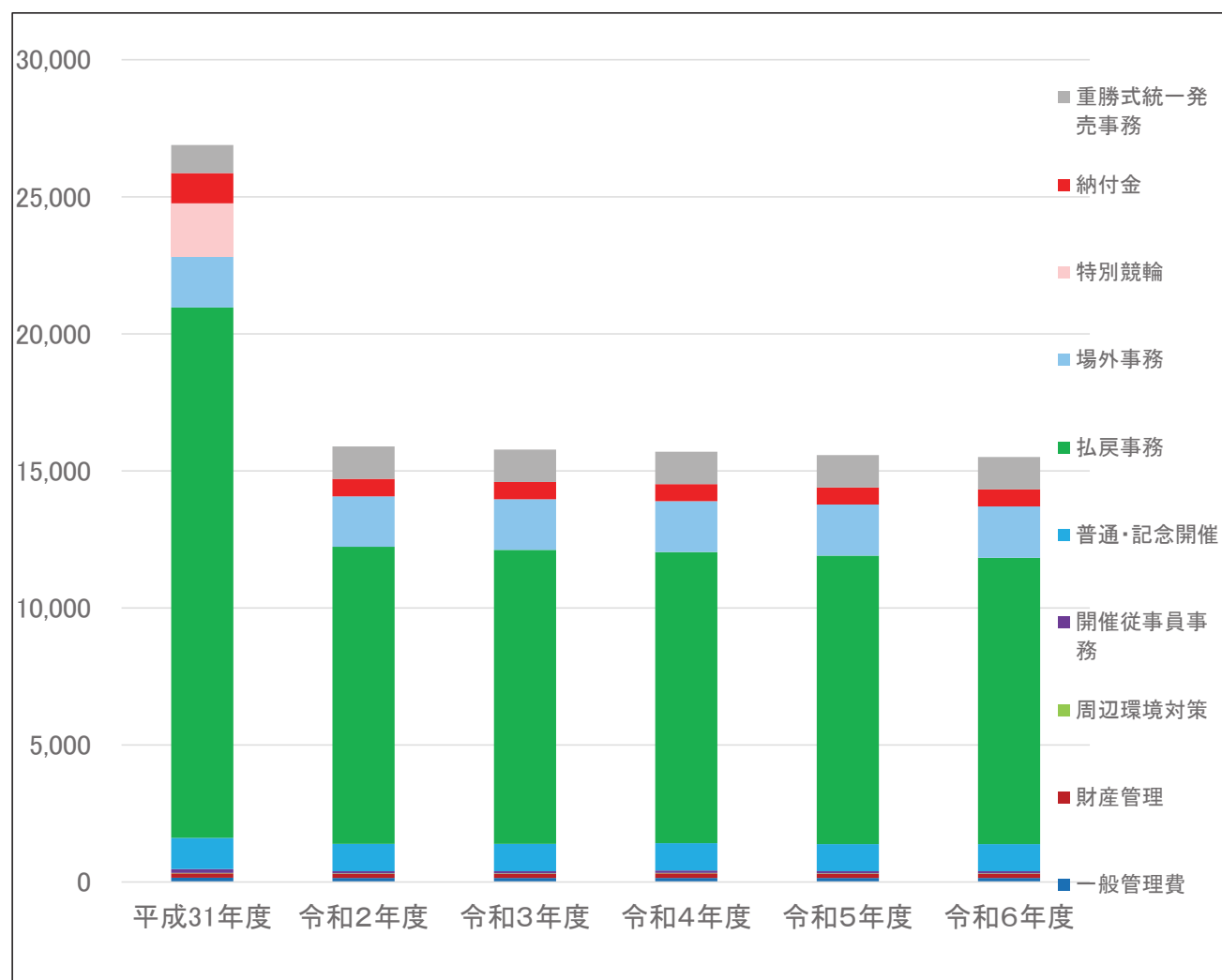
- ・令和2年度は収支改善策実施前との比較で、場外事務で10百万円の経費削減効果が発生すると予測します。
- ・令和5年度から普通開催・記念開催で14百万円の経費削減効果が発生すると予測します。
- ・令和3年度以降のKEIRINグランプリの開催は考慮していません。

<今回調査報告>

（単位：百万円）

開催年度	合計	一般管理費	財産管理	周辺環境対策	開催従事員事務	普通・記念開催	払戻事務	場外事務	特別競輪	納付金	重勝式統一発売事務
平成31年度(2019)	26,887	158	159	17	136	1,138	19,348	1,863	1,942	1,103	1,023
令和2年度(2020)	15,892	151	143	17	85	999	10,840	1,837	0	637	1,183
令和3年度(2021)	15,777	151	143	17	85	999	10,722	1,847	0	630	1,183
令和4年度(2022)	15,698	151	163	17	85	999	10,620	1,856	0	624	1,183
令和5年度(2023)	15,578	151	143	17	85	985	10,530	1,865	0	619	1,183
令和6年度(2024)	15,503	151	143	17	85	985	10,450	1,875	0	614	1,183

* 平成31年度は予算額（立川競輪場でKEIRINグランプリを開催）



第4節 収支の推移予測（改善後）

- ・収支改善策を実施することにより、令和6年度まで3億円以上の収益見込みとなります。
- ・令和3年度以降のKEIRINグランプリの開催は考慮していません。

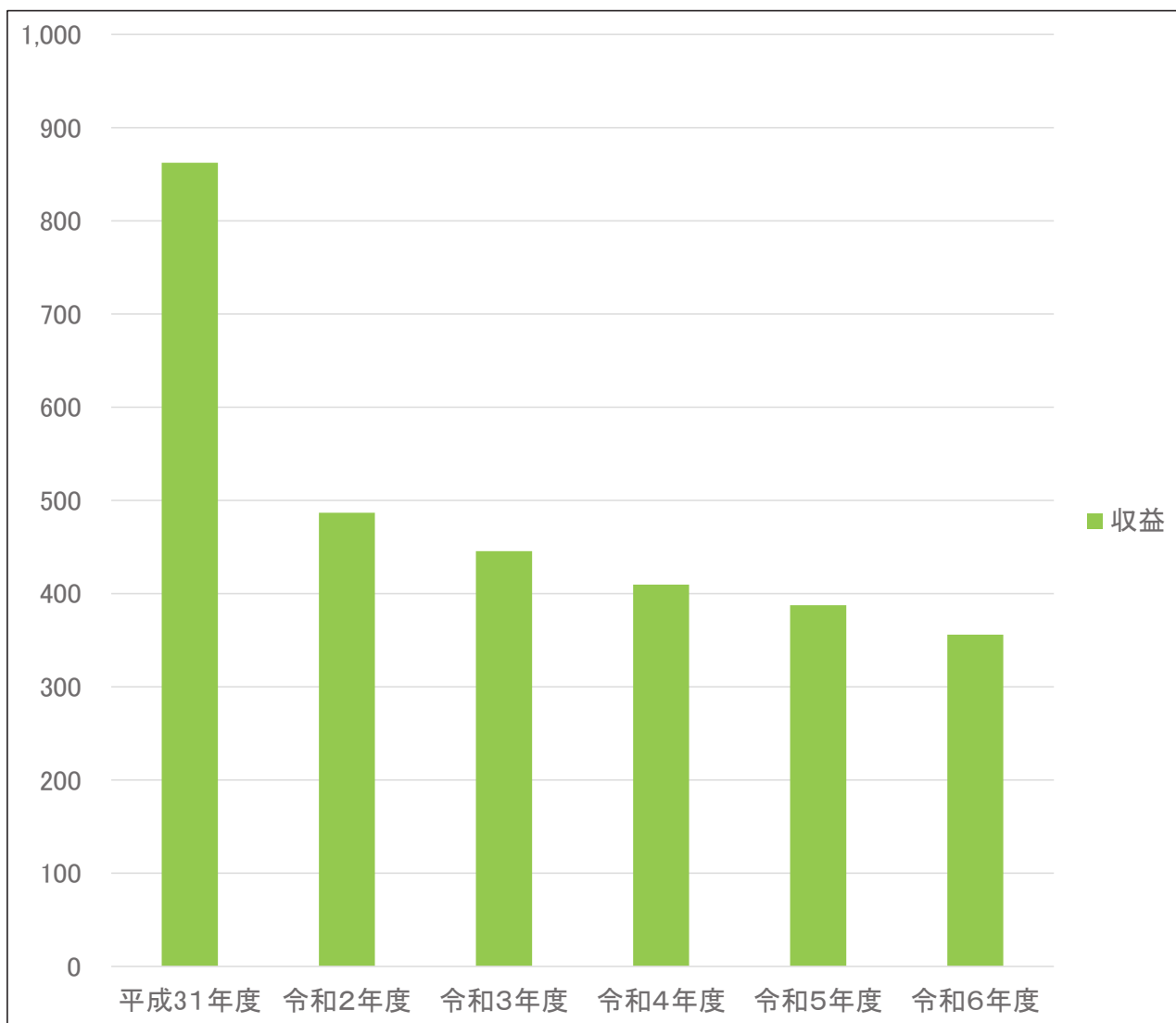
＜今回調査報告＞

（単位：百万円）

開催年度	収入			支出合計 (B)	収益 (A) - (B)	特別競輪
	車券売上	その他収入	収入合計 (A)			
平成31年度 (2019)	26,875	874	27,749	26,887	862	KEIRIN グランプリ開催
令和2年度 (2020)	15,670	709	16,379	15,892	487	
令和3年度 (2021)	15,513	710	16,223	15,777	446	
令和4年度 (2022)	15,376	732	16,108	15,698	410	
令和5年度 (2023)	15,255	711	15,966	15,578	388	
令和6年度 (2024)	15,149	710	15,859	15,503	356	

* 平成31年度は予算額（立川競輪場でKEIRINグランプリを開催）

* 表中の数値は返還金を含みます。



第5章 まとめ

全国の競輪事業の売上は、平成3年度の約1兆9,300億円をピークに減少し、平成25年度の6,063億円で底を打ちましたが、平成26年度以降は転じて5年連続で前年度を上回り、平成30年度の売上は6,541億円で、対前年度比で102.2%となっています。

ミッドナイト競輪やインターネット発売の増加が主な要因ですが、一方で競輪場での車券発売は減少傾向にあり、経済産業省においても審議会で「競輪事業の持続的発展のための課題解決に向けて」を議題とし、継続的に売上浮揚策が議論されています。

立川競輪においても競輪事業を取り巻く環境が変化する中で、売上浮揚に向けた取組を行ってまいりました。平成23年度には「立川競輪事業の将来像について」を作成し、平成26年度には「立川競輪事業の将来像について（2014年版）」を更新する中で、検討した施策を実施することで、これまで安定的に収益を確保してまいりました。

しかしながら、車券発売金額の減少は今後も続くことが想定され、さらなる売上向上策や経営改善を継続することで、安定的な収益を確保して持続可能な競輪事業としていく必要があります。

これまで立川競輪は、競輪ファンの皆様の視点から「KEIRIN グランプリ」の実施や「3連単」などの新投票方式を導入し評価を得てきました。

また、施設改修工事（第1期）を行い、来場されるお客様に安全で快適な環境を提供しつつ、市民に愛される競輪場を目指し、地域への開放も進めてまいりました。

今後も競輪業界全体で取り組む売上向上策に柔軟に対応していくとともに、立川競輪がファンに支持され評価される施策を継続して実施していくことが必要であると考えます。

この報告書で示したとおり令和2年度から令和6年度までの5年間は少なくとも各年度3億円程度の収益を確保できる予測となっています。

この報告書に記載した各種施策については、進捗管理と検証を行うとともに、常に売上向上策や仕様の見直し等による経費削減策を検討しながら今回の予測以上の成果を挙げる努力を続け、令和7年度以降も持続可能な競輪運営で安定的に収益を確保することで市財政に寄与していきます。

※1 KEIRIN グランプリ

毎年12月30日に行われ、その年の4日制以上のGⅠ優勝者と賞金獲得額上位者等の9名が出場できる、1年の総決算となる競輪界最高峰のレース。優勝賞金は1億円。グレードはGP。

※2 特定規模電気事業者（新電力）

特定規模の大口電気需要者に対して電気の供給を行う、既存の電力会社以外の新規電気事業者のこと。法令および制度の改正を経て、現在は「新電力」と呼ばれる。

※3 普通開催・記念開催

競輪のレースはKEIRIN グランプリであるGPを頂点にGⅠ、GⅡ、GⅢ、FⅠ、FⅡと6つのグレードに分かれている。GⅠ、GⅡは特別競輪と呼ばれ、年に十数回しか開催されない。

記念開催（記念競輪）とは年に1回各競輪場で行われるオールS級戦でグレードはGⅢであり、4日制以上のGⅠまたはGⅡを開催している場合は同年度に開催しない。その他のFⅠ、FⅡの開催を普通開催と呼ぶ。

※4 モーニング競輪（開催）・ナイター競輪（開催）・ミッドナイト競輪（開催）

日中の競輪開催時間は、概ね10時半頃から16時半頃であるが、モーニング競輪は9時から14時頃まで、ナイター競輪は14時頃から20時半頃まで、ミッドナイト競輪は21時から23時半頃まで開催している。

なお、ミッドナイト競輪は無観客で、車券の発売はインターネット販売と一部サテライトの前売発売のみで開催を行う。

※5 競輪場貸付収入・受託事業収入

他の競輪場で開催しているレースを立川競輪場で場外発売するとき、売上額の一定率の収入を得ることを競輪場貸付収入と言い、人件費や光熱水費等発売に掛かる経費相当分の収入を受託事業収入と言う。

※6 サテライト

場外車券売場のこと。レース映像を場内で流し、その場で車券の購入と払戻を受けることができる施設。全国でサテライトは71箇所ある（2020年1月1日現在）。

※7 民間ポータルサイト

インターネット投票は公式サイトであるKEIRIN.JPの他、民間事業者が運営するインターネットサイトからも車券の購入が可能となっている。現在、ケイドリームス、チャリ・ロト、オッズパーク、WinTicket（ウィンチケット）がある。

※8 KEIRIN. JP

競輪の開催情報や、各競輪場やサテライトからお知らせ等、競輪に関わるあらゆる情報を集約した公式インターネットサイト。このサイトから車券の購入をすることができる。

※9 CTC

サイクルテレホンセンター。在宅投票（電話投票・インターネット投票）などの事務を取り扱う団体のこと。略称はCTC。

※10 管理サテライト

車券を発売することができるのは施行者（都道府県及び指定された市町村）のみであり、民間事業者が設置した施設で車券を発売する場合は、その運営等を管理する施行者が必要となる。

立川市が管理するサテライトは、六郷（秋田県）、中越（新潟県）、妙高（新潟県）、双葉（山梨県）、水戸（茨城県）がある。

※11 事務委託方式

他の競輪場で開催しているレースを立川競輪場で場外発売するとき、開催場が立川競輪場の施設を借上げ、立川市職員も開催場の身分を有し車券の発売等を行っていた。

一方、事務委託方式は、開催場が場外発売事務を委託し、立川競輪場は他の競輪場の車券を直接発売する。開催場から一定率の委託料を受け、貸付料や人件費、光熱水費等発売に掛かる経費に充てる。

※12 立川プロスポーツ連絡会

立川を拠点として活動するプロスポーツチームが競技の枠を超え、相互に協力連携することでスポーツによる地域活性化や地域社会の発展、それを通じた地域コミュニティとの関係性強化を目指すことを目的として、平成30年3月12日、5つのプロスポーツチームで「立川プロスポーツ連絡会」を発足。

令和元年1月現在、TACHIKAWA DICE（3人制プロバスケットボールチーム）、アルバルク東京（プロバスケットボールチーム）、東京ヴェルディ（プロサッカークラブ）、東京ヴェントス（サイクルレーシングチーム）、立川・府中アスレティックFC（フットサルチーム）、石川ボクシングジム立川（ボクシング）、日本競輪選手会立川地区（競輪）が参加している。

※13（一社）日本競輪選手会

選手全体を代表する社団法人。選手の適正な出場条件の確保、競技技術及び資質の向上を図り、競技の公正・円滑な運営に寄与する事を目的としている。

※14（公財）J K A

競輪とオートレースの振興法人。選手・審判や自転車・小型自動車の登録、競輪とオートレースの実施方法の制定、選手の出場あっせん、養成・訓練を行うほか、自転車・小型自動車等機械工業の振興、体育事業その他の公益の増進を目的とする事業に対する補助等を行っている。また、競輪の実施に関わる審判・番組・管理等を開催現場で行う。

※15（公社）全国競輪施行者協議会

全国の競輪施行者を会員とし、競輪の円滑な運営に寄与する事を目的とした社団法人。

※16 産業構造審議会製造産業分科会車両競技小委員会

経済産業省所管の審議会。競輪、オートレースに係る諸課題を審議する。

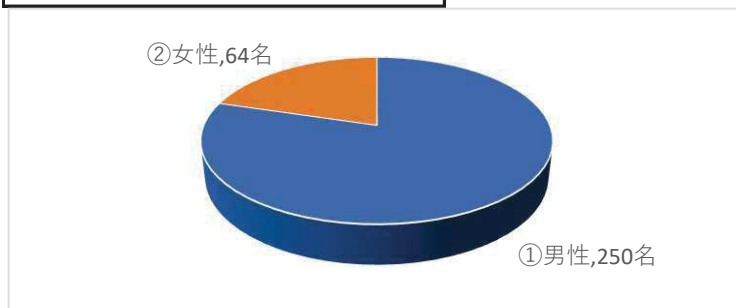
資料

アンケート調査結果

【9/6～9/8アンケート内容および調査結果詳細】

問1. あなたの性別は。

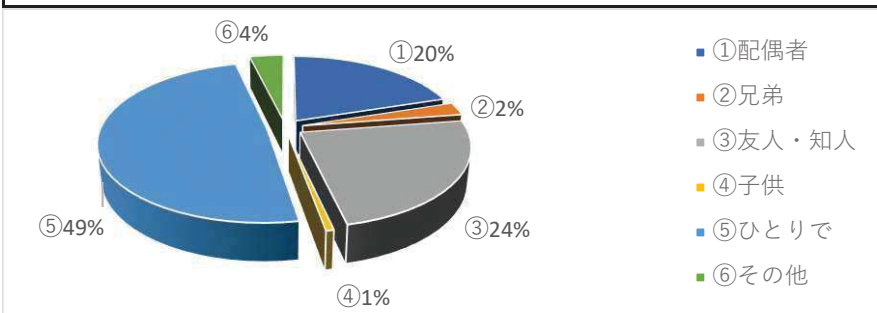
①男性 ②女性



有効回答数：314

問2. 本日は、どなたとご来場されましたか？

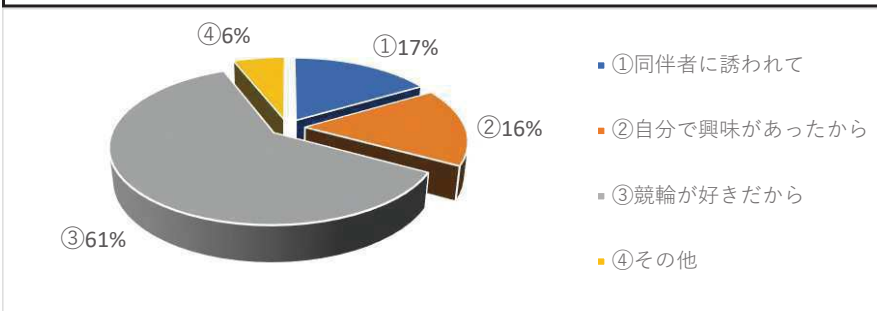
①配偶者 ②兄弟 ③友人・知人 ④子供 ⑤ひとりで ⑥その他



有効回答数：314

問3. ご来場された動機はなんですか？

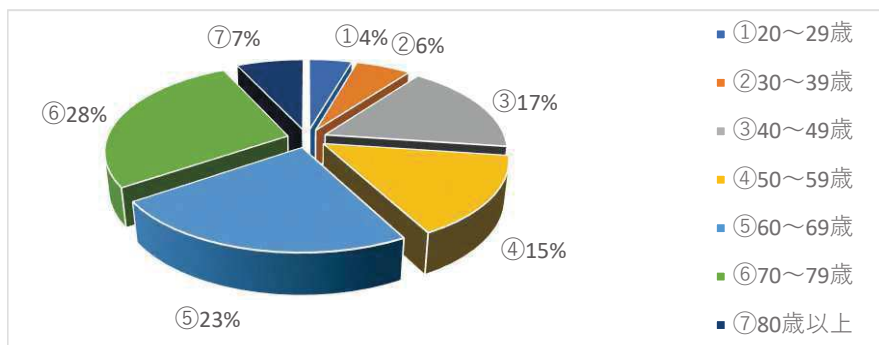
①同伴者に誘われて ②自分で興味があったから ③競輪が好きだから ④その他



有効回答数：313

問 4. 年齢はおいくつですか。

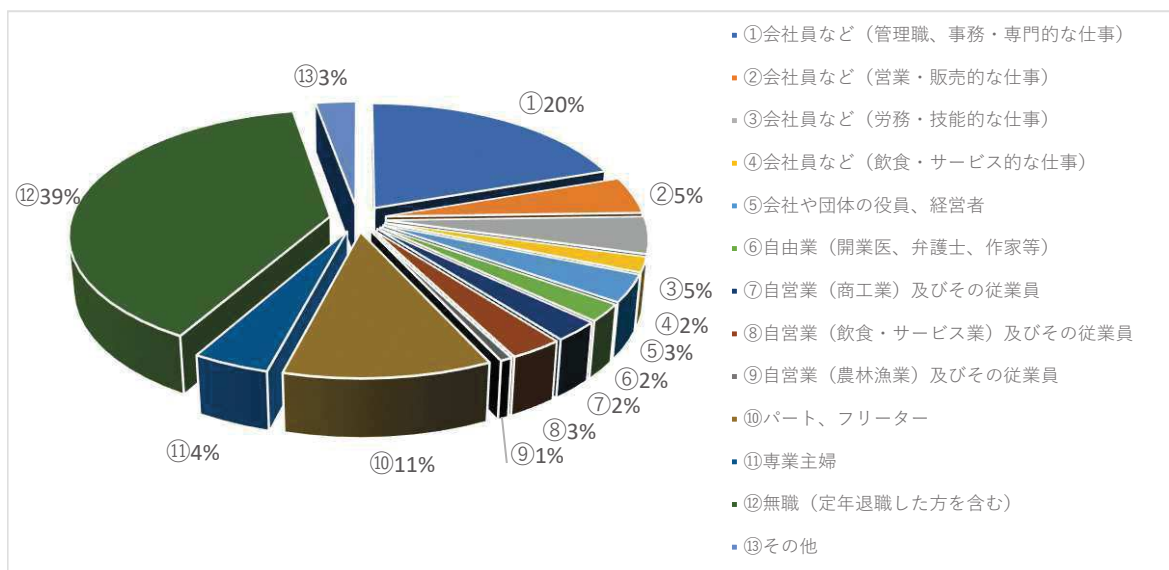
①20～29歳 ②30～39歳 ③40～49歳 ④50～59歳 ⑤60～69歳 ⑥70～79歳 ⑦80歳以上



有効回答数：313

問 5. ご職業は何ですか。（複数の職業をお持ちの方は主なものの1つ）

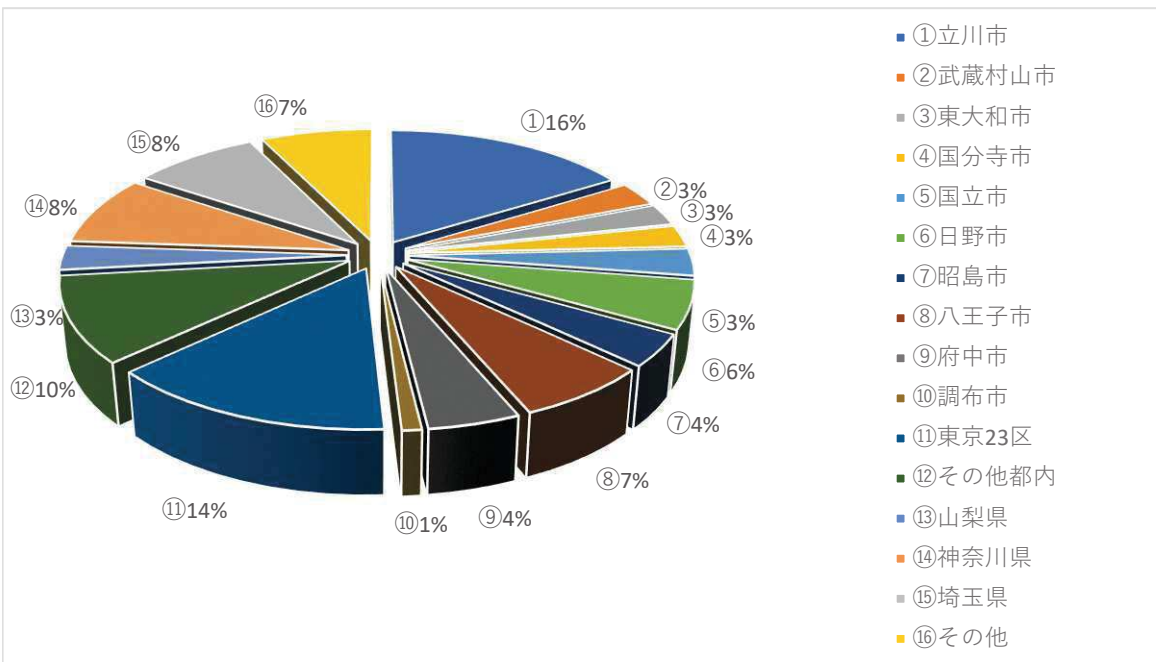
①会社員など（管理職、事務・専門的な仕事） ②会社員など（営業・販売的な仕事） ③会社員など（労務・技能的な仕事） ④会社員など（飲食・サービスの仕事） ⑤会社や団体の役員、経営者 ⑥自由業（開業医、弁護士、作家等） ⑦自営業（商工業）及びその従業員 ⑧自営業（飲食・サービス業）及びその従業員 ⑨自営業（農林漁業）及びその従業員 ⑩パート、フリーター ⑪専業主婦 ⑫無職（定年退職した方を含む） ⑬その他



有効回答数：314

問 6. お住まいはどちらですか。

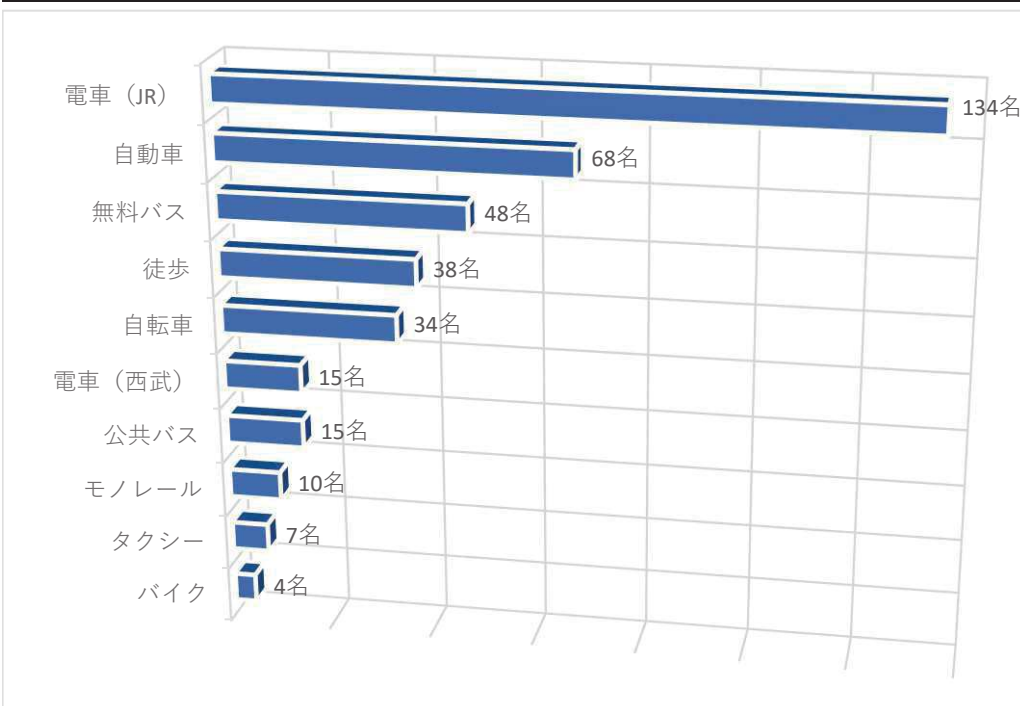
①立川市 ②武蔵村山市 ③東大和市 ④国分寺市 ⑤国立市 ⑥日野市 ⑦昭島市 ⑧八王子市
⑨府中市 ⑩調布市 ⑪東京23区 ⑫その他都内 ⑬山梨県 ⑭神奈川県 ⑮埼玉県 ⑯その他



有効回答数：314

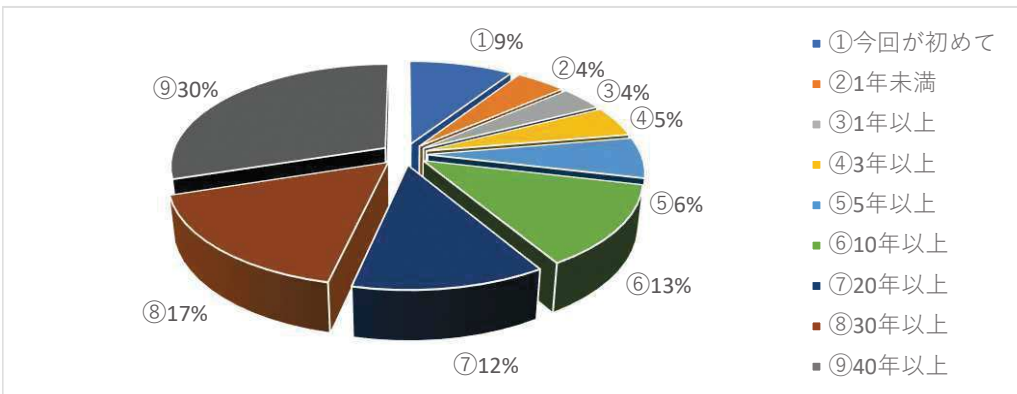
問 7. 本日、立川競輪場までの交通手段について教えてください。（複数回答可）

①徒歩 ②自転車 ③自動車 ④バイク ⑤無料バス ⑥公共バス ⑦タクシー
⑧モノレール ⑨電車（JR） ⑩電車（西武）



問 8. 競輪歴を教えてください。

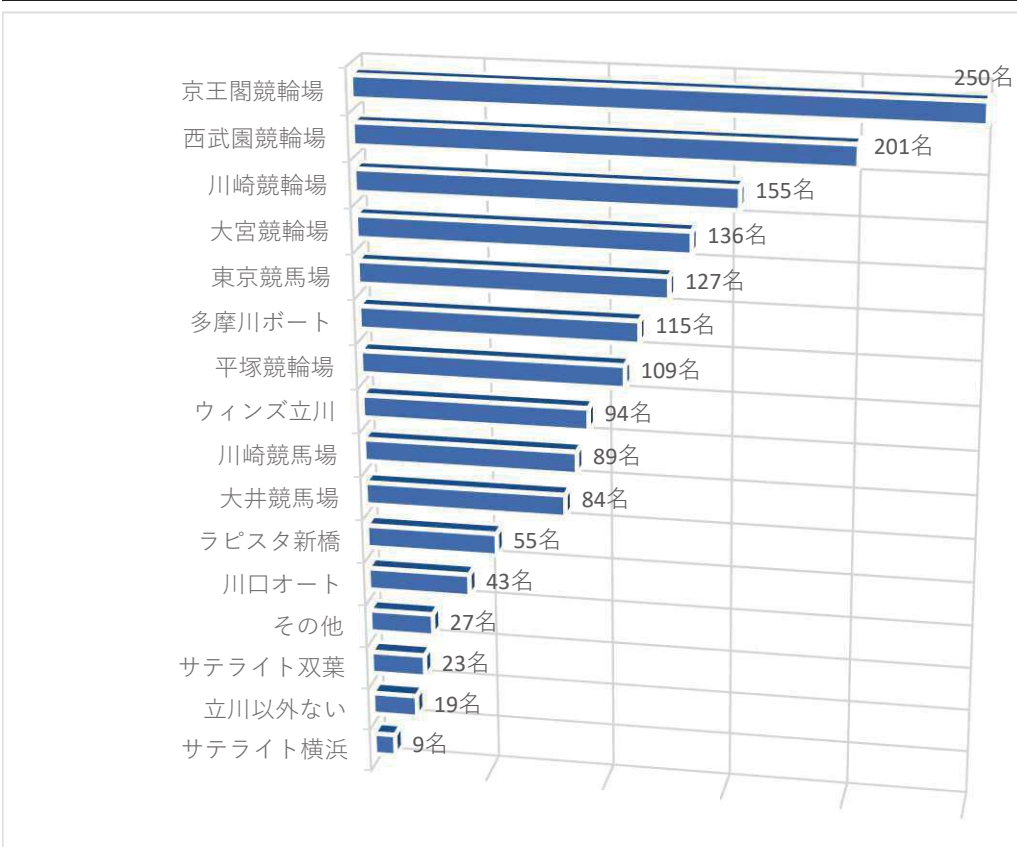
- ①今回が初めて ②1年未満 ③1年以上 ④3年以上 ⑤5年以上 ⑥10年以上
⑦20年以上 ⑧30年以上 ⑨40年以上



有効回答数：314

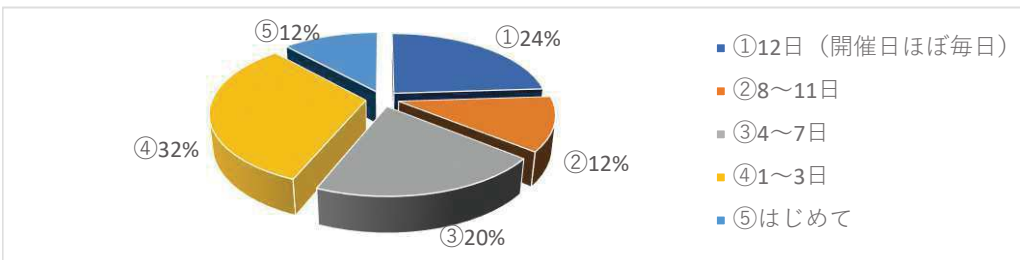
問9-1. 他の公営競技場に行ったことがありますか？（複数回答可）

- ①京王閣競輪場 ②川崎競輪場 ③平塚競輪場 ④西武園競輪場 ⑤大宮競輪場
⑥サテライト双葉 ⑦サテライト横浜 ⑧ラピスタ新橋 ⑨多摩川ボートレース
⑩東京競馬場 ⑪ウィンズ立川 ⑫川口オートレース ⑬川崎競馬場 ⑭大井競馬場
⑮その他 ⑯立川以外行ったことがない



問10. 1ヶ月のうち立川競輪場に来場される頻度はどれくらいですか？

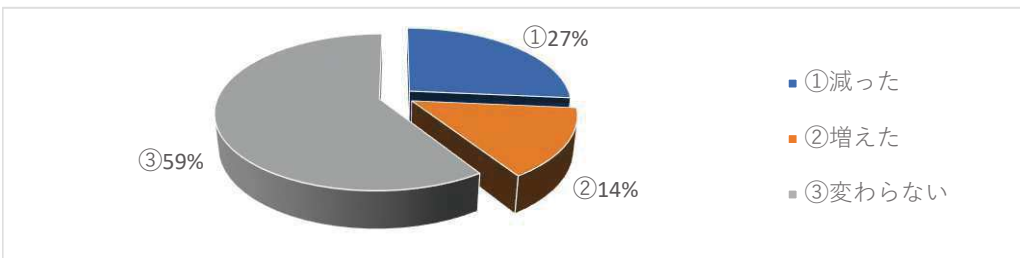
①12日（開催日ほぼ毎日） ②8～11日 ③4～7日 ④1～3日 ⑤はじめて



有効回答数：313

問11-1. 2～3年前と比べて1か月間に競輪場に来る回数が変わりましたか？

①減った ②増えた ③変わらない

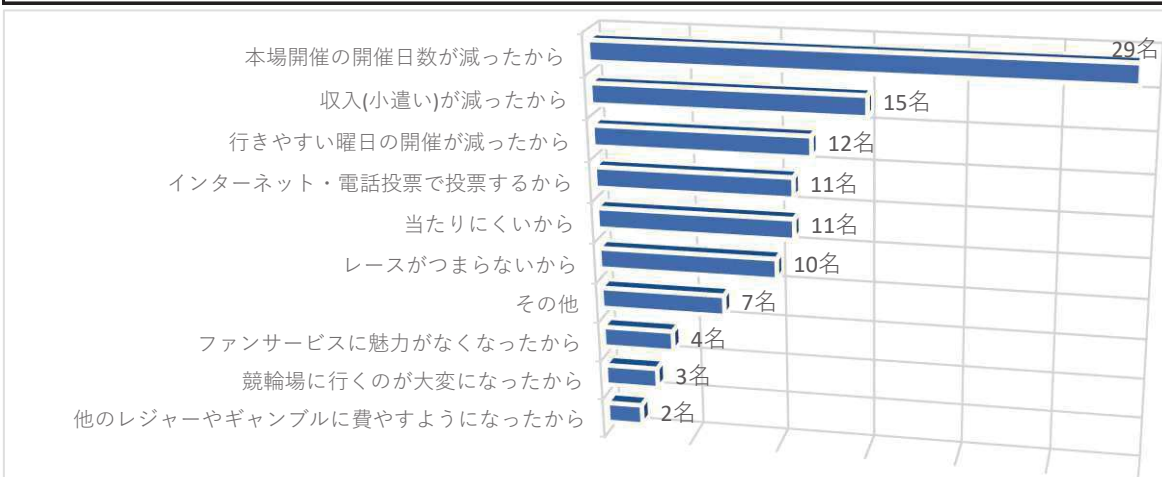


有効回答数：299

問11-2. 問11-1で「減った」とお答えの方にお尋ねします。

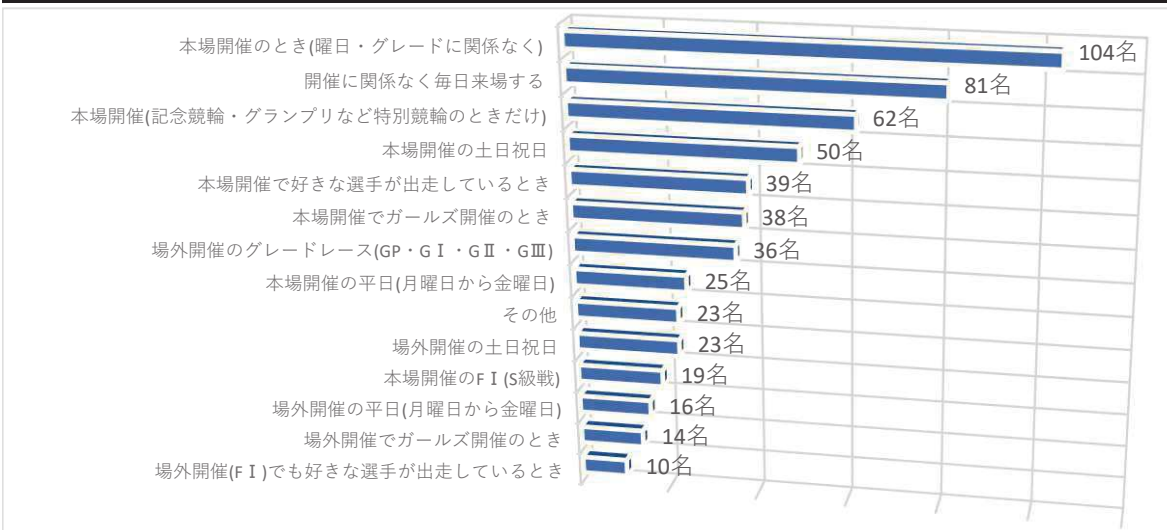
来場回数が減った理由は何ですか？（複数回答可）

①本場開催の開催日数が減ったから ②行きやすい曜日の開催が減ったから ③レースがつまらないから ④当たりにくいから ⑤収入(小遣い)が減ったから ⑥他のレジャーやギャンブルに費やすようになったから ⑦ファンサービスに魅力がなくなったから ⑧インターネット・電話投票で投票するから ⑨競輪場に行くのが大変になったから ⑩その他



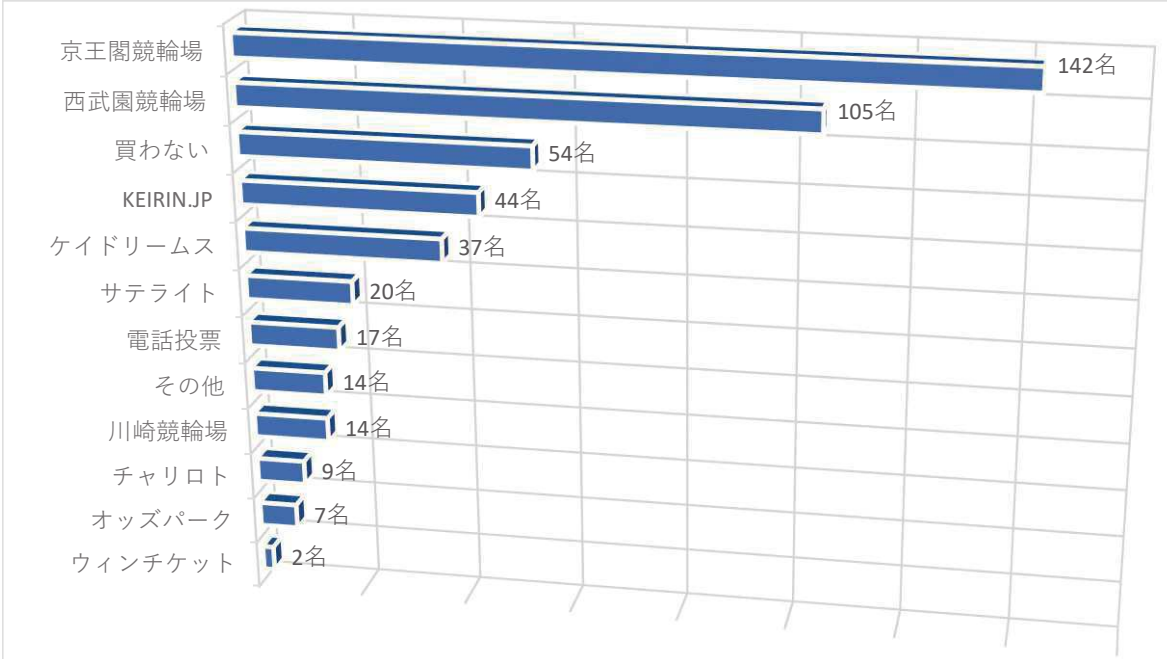
問12. 立川競輪場に来場する(したくなる)ときはどのような開催ですか (複数回答可)

- ①開催に関係なく毎日来場する ②本場開催のとき(曜日・グレードに関係なく) ③本場開催(記念競輪・グランプリなど特別競輪のときだけ) ④本場開催の平日(月曜日から金曜日)
⑤本場開催の土日祝日 ⑥本場開催のF I (S級戦) ⑦本場開催で好きな選手が出走しているとき ⑧本場開催でガールズ開催のとき ⑨場外開催のグレードレース(GP・G I・G II・G III) ⑩場外開催の平日(月曜日から金曜日) ⑪場外開催の土日祝日 ⑫場外開催(F I)でも好きな選手が出走しているとき ⑬場外開催でガールズ開催のとき ⑭その他



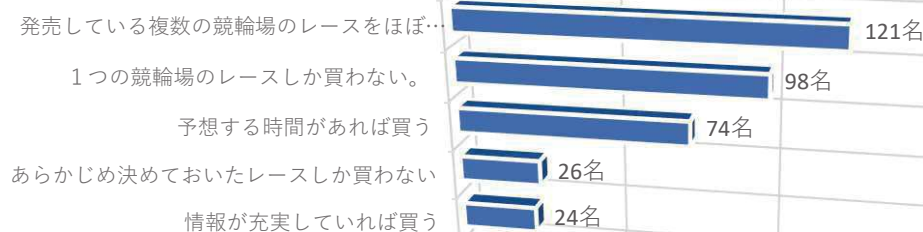
問13. 立川競輪場で車券発売のない時、車券はどこで購入しますか? (複数回答可)

- ①京王閣競輪場 ②西武園競輪場 ③川崎競輪場 ④電話投票 ⑤KEIRIN.JP ⑥ケイドリームス
⑦オッズパーク ⑧チャリロト ⑨ウィンチケット ⑩サテライト ⑪買わない ⑫その他



**問14-1. 複数の競輪場で開催されているレースを同時に発売していたら、
それぞれの競輪場のレースを買いますか？（複数回答可）**

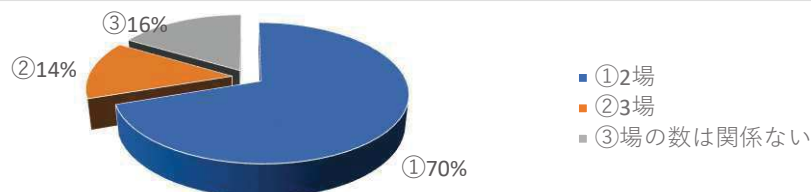
- ① 1つの競輪場のレースしか買わない ② 発売している複数の競輪場のレースをほぼ買う
③ 予想する時間があれば買う ④ 情報が充実していれば買う
⑤ あらかじめ決めておいたレースしか買わない



問14-2. 問14-1で、②～⑤にお答えした方にお尋ねします。

何場まで同時に買いますか

- ① 2場 ② 3場 ③ 場の数は関係ない（発売していれば何場でも）

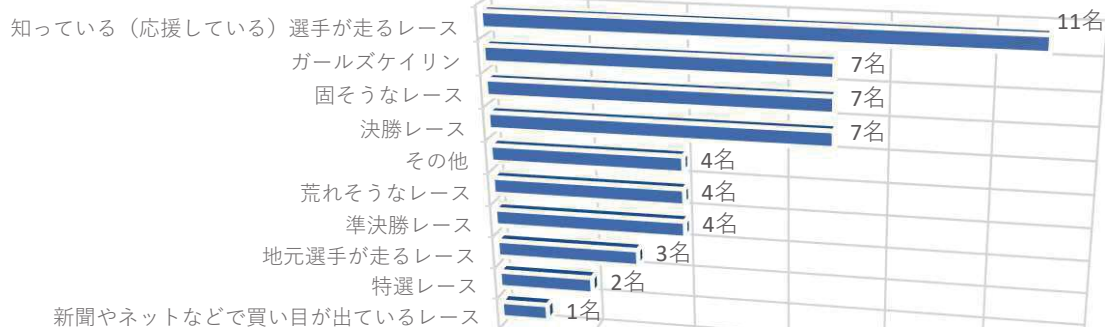


有効回答数：212

問14-3. 問14-1で、⑤をお答えした方にお尋ねします。

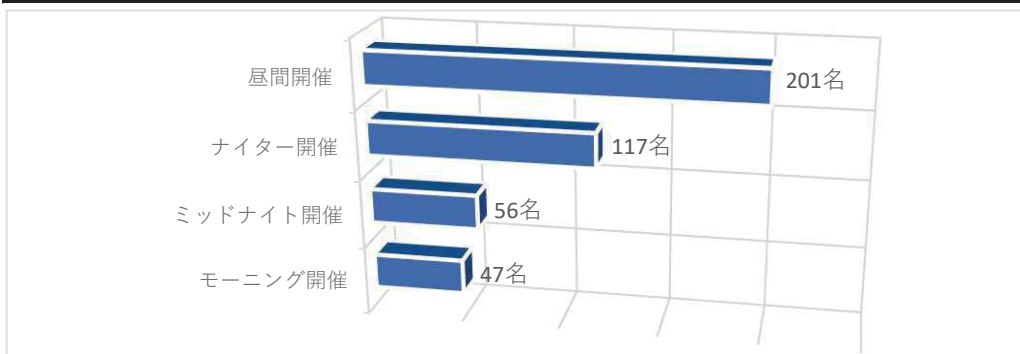
買うレースを決めた理由はなんですか？（複数回答可）

- ① 知っている（応援している）選手が走るレース ② 決勝レース ③ 準決勝レース
④ 特選レース ⑤ 固そうなレース ⑥ 荒れそうなレース ⑦ ガールズケイリン
⑧ 地元選手が走るレース ⑨ 新聞やネットなどで買い目が出ているレース ⑩ その他



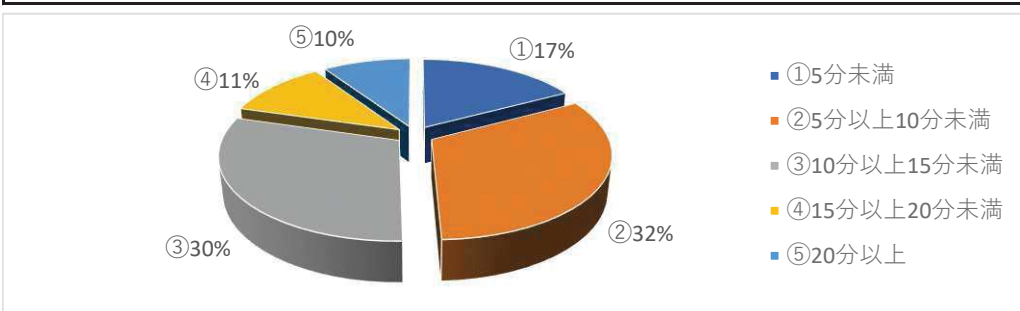
問15. 開催形態の多様化についてお聞きします。現在、競輪は次のような形態での開催が行われていますが、利用してみたいと思う開催形態はどれですか？
（あてはまるもの全て選択して下さい。）

①モーニング開催 ②昼間開催 ③ナイター開催 ④ミッドナイト開催



問16. 予想に費やす平均時間は何分ぐらいですか。

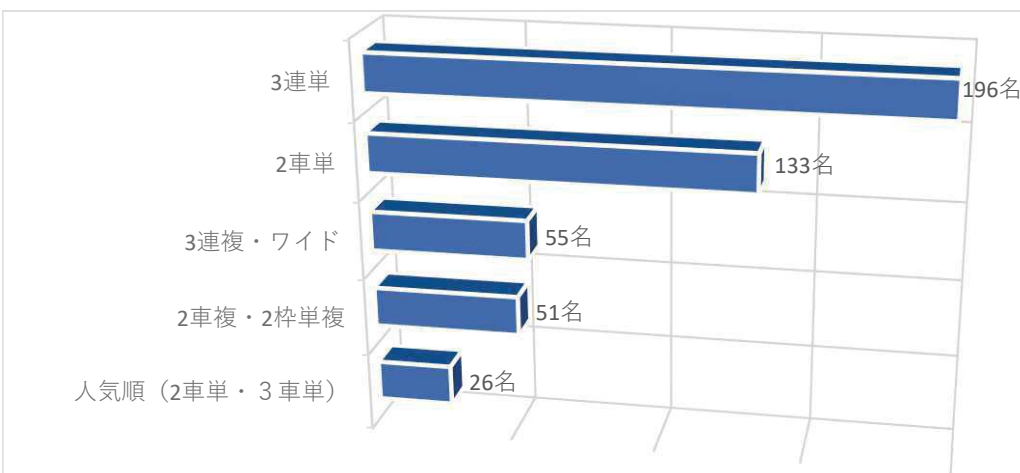
①5分未満 ②5分以上10分未満 ③10分以上15分未満 ④15分以上20分未満 ⑤20分以上



有効回答数：307

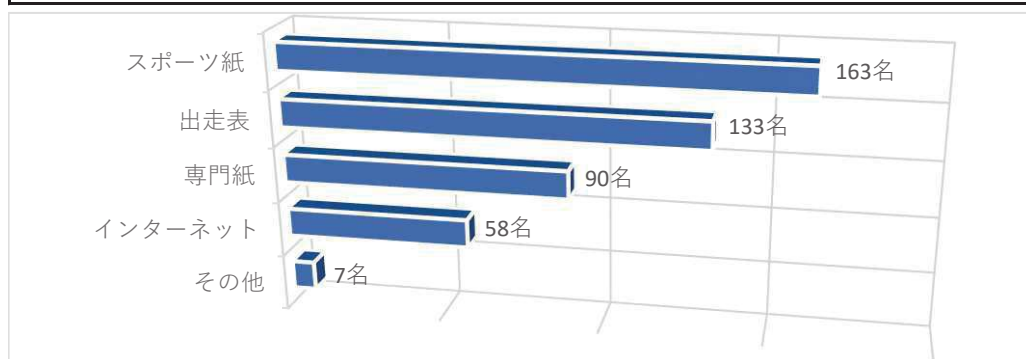
問17. 車券購入の際によく見る（参考にする）オッズはなんですか？（複数回答可）

①3連単 ②2車単 ③2車複・2枠単複 ④3連複・ワイド ⑤人気順（2車単・3車単）



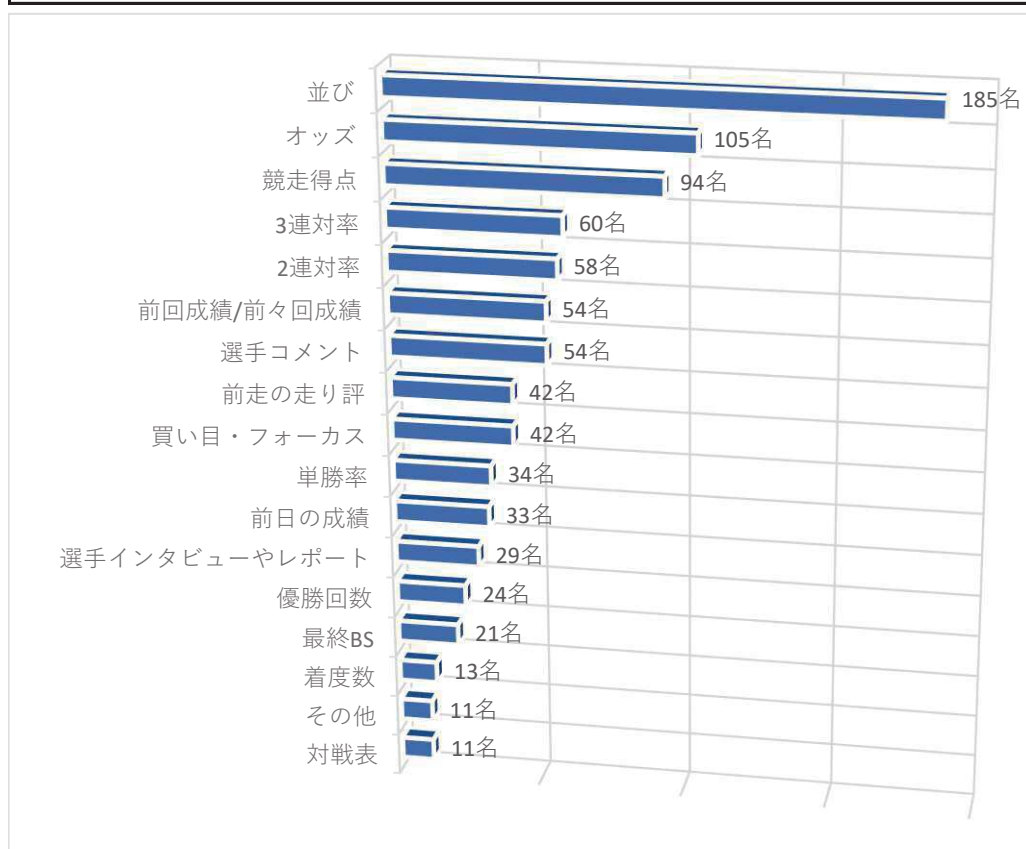
問18. 車券を買うときは、何を見て買いますか？（複数回答可）

①出走表 ②スポーツ紙 ③専門紙 ④インターネット ⑤その他



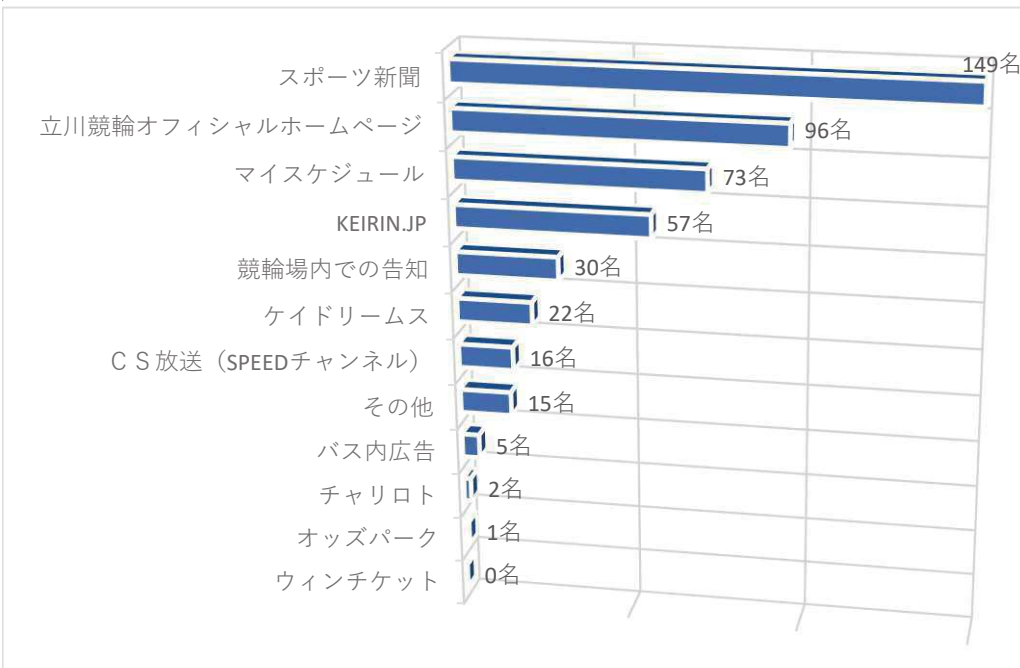
問19. 主にどのような情報を参考に車券を購入しますか？（複数回答可）

①並び ②買い目・フォーカス ③単勝率 ④2連対率 ⑤3連対率 ⑥選手コメント
 ⑦選手インタビューやレポート ⑧前走の走り評 ⑨オッズ ⑩着度数 ⑪最終BS ⑫競走得点
 ⑬前回成績/前々回成績 ⑭前日の成績 ⑮優勝回数 ⑯対戦表 ⑰その他



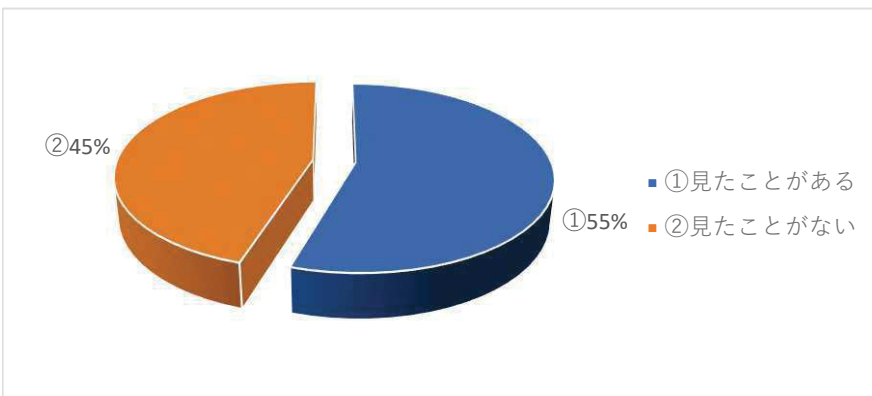
問21. 立川競輪の開催情報は、どこで取得していますか？（複数回答可）

- ①立川競輪オフィシャルホームページ ②スポーツ新聞 ③マイスケジュール
④バス内広告 ⑤競輪場内での告知 ⑥C S放送（SPEEDチャンネル）
⑦KEIRIN.JP ⑧ケイドリームス ⑨オッズパーク ⑩チャリロト ⑪ウィンチケット ⑫その他



問22-1. 立川競輪のホームページはみたことはありますか？

- ①見たことがある ②見たことがない

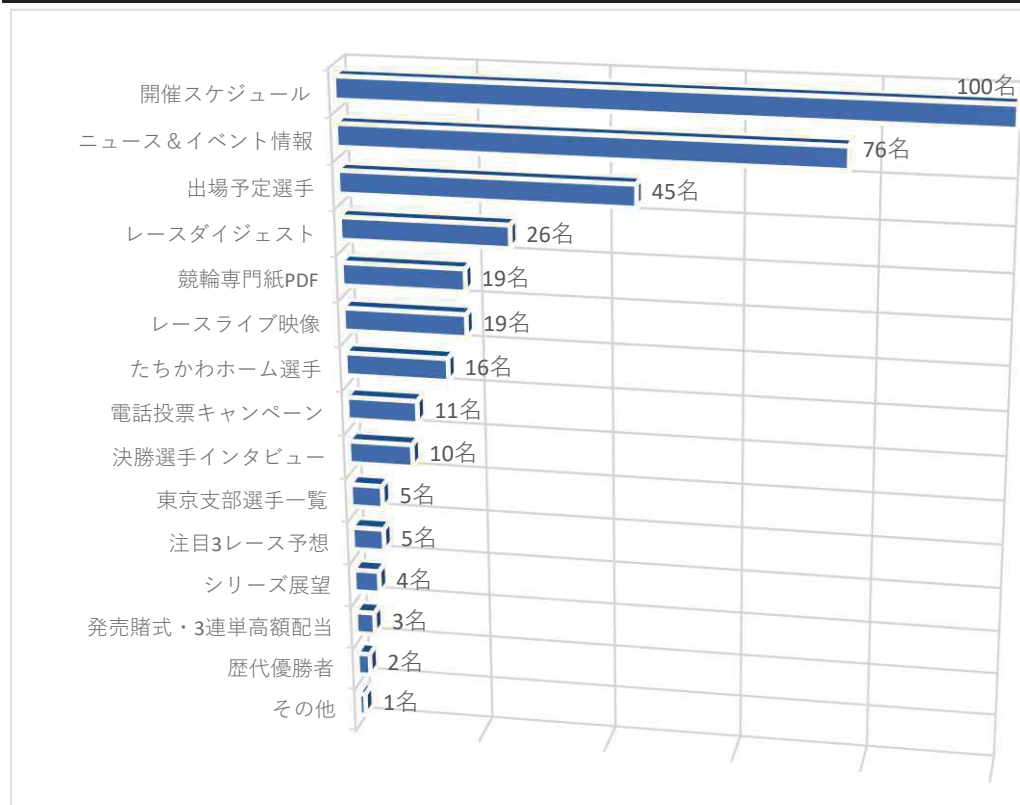


有効回答数：312

問22-2. 問22-1.で「見たことがある」にお答えした方にお尋ねします。

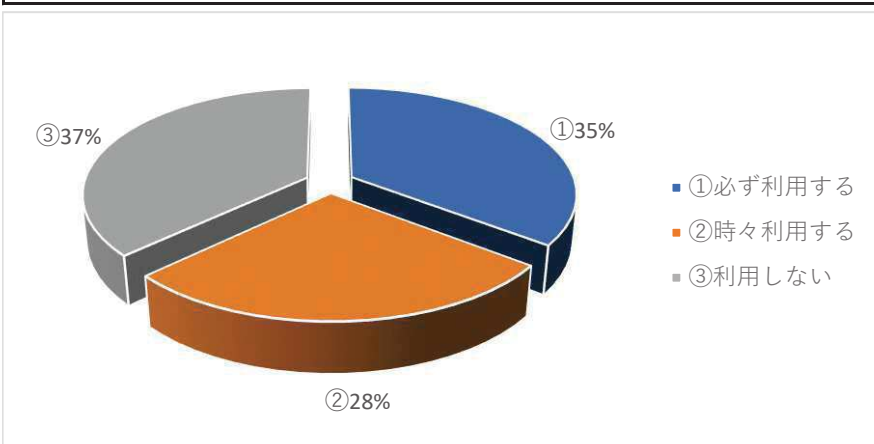
ホームページで普段利用しているコンテンツをお答えください。（複数回答可）

- ①ニュース&イベント情報 ②開催スケジュール ③出場予定選手 ④レースライブ映像
 ⑤レースダイジェスト ⑥電話投票キャンペーン ⑦シリーズ展望 ⑧競輪専門紙PDF
 ⑨決勝選手インタビュー ⑩注目3レース予想 ⑪東京支部選手一覧 ⑫たちかわホーム選手
 ⑬歴代優勝者 ⑭発売賭式・3連単高額配当 ⑮その他



問23-1. 特別観覧席を利用しますか？

- ①必ず利用する ②時々利用する ③利用しない

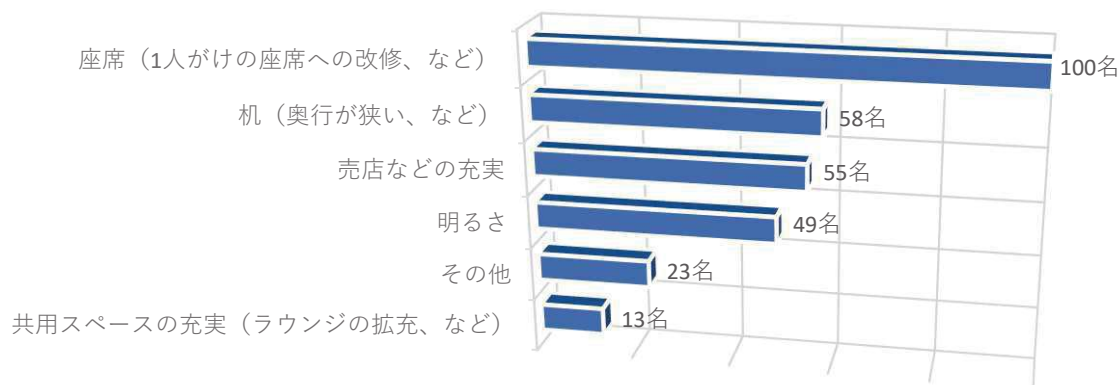


有効回答数：311

問23-2. 問23-1で「必ず利用する」「時々利用する」に回答した方にお尋ねします。

特別観覧席で改善したらよいと思うところはどこですか。（複数回答可）

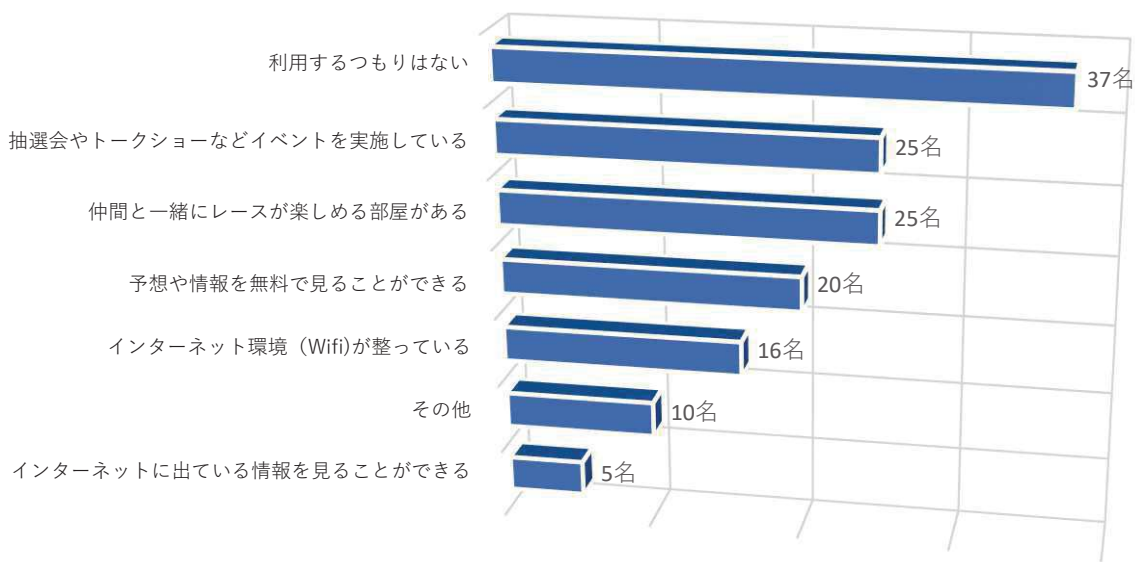
- ①座席（1人がけの座席への改修、など） ②明るさ ③机（奥行が狭い、など）
④共用スペースの充実（ラウンジの拡充、など） ⑤売店などの充実 ⑥その他



問23-3. 問23-1で「利用しない」に回答した方にお尋ねします。

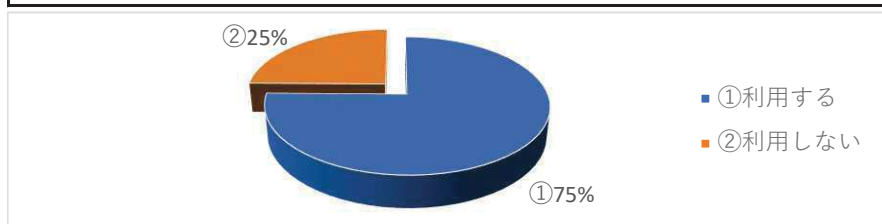
以下のようなサービスがあれば特別観覧席を利用しますか？（複数回答可）

- ①仲間と一緒にレースが楽しめる部屋がある ②インターネット環境（Wifi）が整っている
③インターネットの情報を見ることができる ④予想や情報を無料で見ることができる
⑤抽選会やトークショーなどイベントを実施している ⑥利用するつもりはない ⑦その他



問24-1. ご来場した際に場内の食堂・売店はご利用になりますか？

①利用する ②利用しない

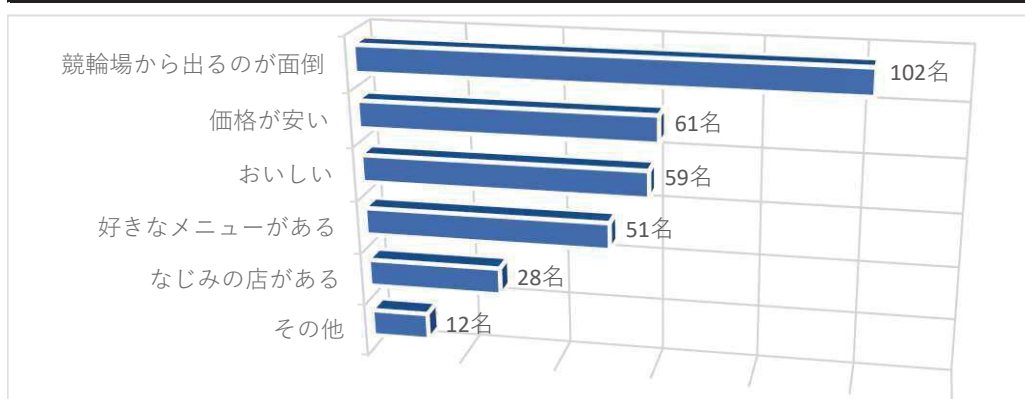


有効回答数：311

問24-2. 問24-1で「利用する」と回答した方にお尋ねします。

利用される主な理由をお答えください（複数回答可）

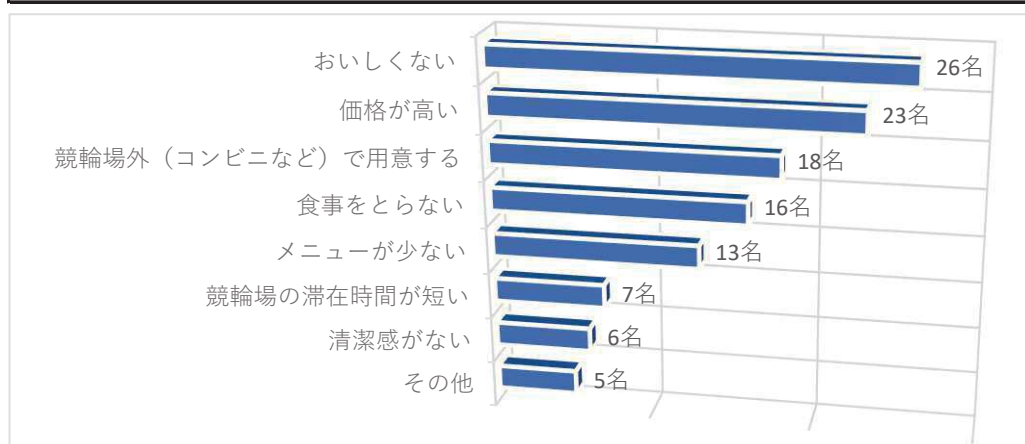
①おいしい ②価格が安い ③好きなメニューがある ④競輪場から出るのが面倒
⑤なじみの店がある ⑥その他



問24-3. 問24-1で「利用しない」と回答した方にお尋ねします。

利用しない主な理由をお答えください。（複数回答可）

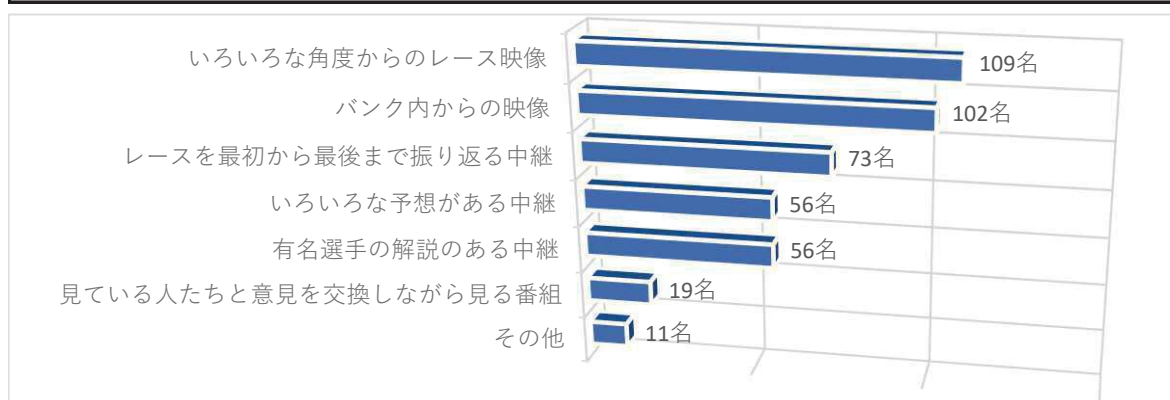
①おいしくない ②価格が高い ③メニューが少ない ④競輪場外（コンビニなど）で用意する
⑤食事をとらない ⑥清潔感がない ⑦競輪場の滞在時間が短い ⑧その他



問25. レース映像・レース中継（CS放送・インターネットライブ含む）で

見たいものを教えてください。（複数回答可）

- ①バンク内からの映像 ②いろいろな角度からのレース映像 ③有名選手の解説のある中継
④レースを最初から最後まで振り返る中継 ⑤いろいろな予想がある中継
⑥見ている人たちと意見を交換しながら見る番組 ⑦その他



問26. 場内で実施されるイベントやファンサービスについて

好みの順位を1位～4位まで順位をつけてください

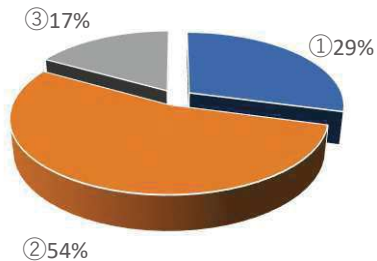
- ①選手・元選手によるトークショー
②新聞記者・専門解説員による予想会
③ガラポン抽選会
④ファンサービス品の無料配布

①	1位	2位	3位	4位	平均2.385位
	101名	49名	82名	67名	
②	1位	2位	3位	4位	平均2.932位
	41名	49名	93名	111名	
③	1位	2位	3位	4位	平均2.408位
	72名	92名	68名	62名	
④	1位	2位	3位	4位	平均2.258位
	86名	103名	50名	56名	

問27. 抽選会についてお尋ねします。どのような抽選会がよいと思いますか？

下記より回答を1つお選びください。

- ①当たる数は少ないが、高額商品が当たる抽選会
- ②高額ではないがたくさんの人に当たる抽選会
- ③競輪選手のサインやサイン入りグッズが当たる抽選会

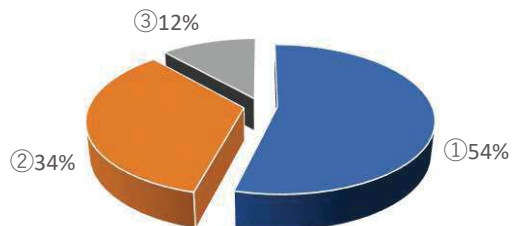


- ① 当たる数は少ないが、高額商品が当たる抽選会
- ② 高額ではないがたくさんの人に当たる抽選会
- ③ 競輪選手のサインやサイン入りグッズが当たる抽選会

有効回答数：302

問28. ファンサービスについてお尋ねします。 どのようなファンサービスがよいと思いますか？ 下記より回答を1つお選びください。

- ①先着で必ず商品がもらえるファンサービス
- ②来場回数に応じて商品がもらえる
- ③投票額に応じて商品がもらえる



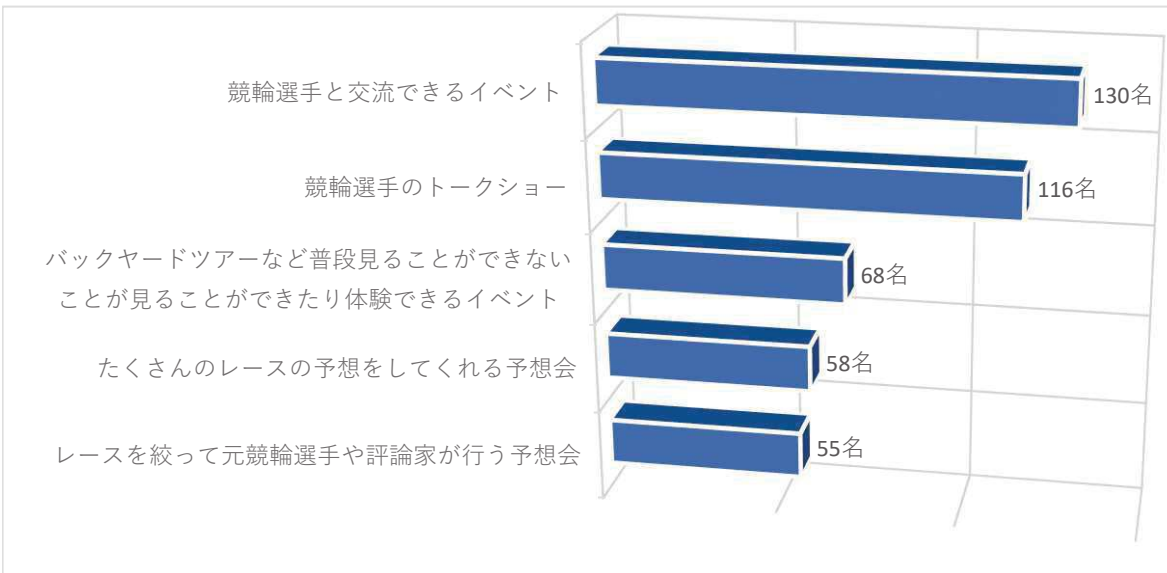
- ① 先着で必ず商品がもらえるファンサービス
- ② 来場回数に応じて商品がもらえる
- ③ 投票額に応じて商品がもらえる

有効回答数：309

問29. イベントについてお尋ねします。

どのようなイベントがよいと思いますか？（複数回答可）

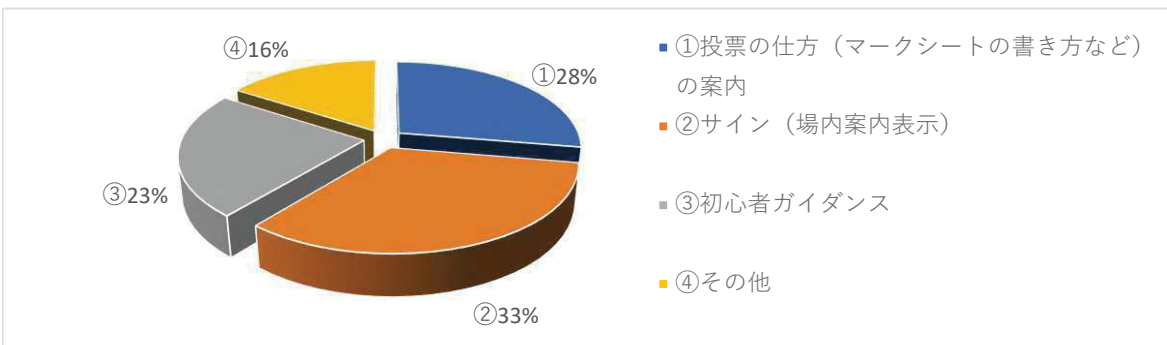
- ①競輪選手と交流できるイベント ②競輪選手のトークショー
 ③たくさんのレースの予想をしてくれる予想会
 ④レースを絞って元競輪選手や評論家が行う予想会
 ⑤バックヤードツアーなど普段見ることができないことが見ることができたり体験できるイベント



問30. 場内施設・サービスについてお尋ねします。 場内施設・サービスで

足りないものは何ですか？ 下記より回答を1つお選びください。

- ①投票の仕方（マークシートの書き方など）の案内 ②サイン（場内案内表示）
 ③初心者ガイダンス ④その他



有効回答数：264

アンケート調査結果（自由記述欄）

【9/6～9/8 アンケート内容および調査結果詳細】

問 11－2. 問 11－1 で「減った」とお答えの方にお尋ねします。来場回数が減った理由は何ですか？

- ・ 記念がつまらなくなった
- ・ イベントの減少（トークショー等の曜日が合わない）

問 14－3. 問 14－1 で「あらかじめ決めておいたレースしか買わない」をお答えした方にお尋ねします。買うレースを決めた理由はなんですか？

- ・ 当たりそうだから
- ・ 自信があるから
- ・ 有力選手が出るから

問 23－2. 問 23－1. で「必ず利用する」「時々利用する」に回答した方にお尋ねします。特別観覧席で改善したらよいと思うところのご記入をお願いします。

- ・ 席を一人にして広くしてほしい、トイレが数が少なく残念
- ・ 狭い。隣の人と近い
- ・ 机が少ない。明かりが足りない。
- ・ 一人掛けの席を増やしてほしい
- ・ wifi の導入
- ・ 子ども連れで座れる席
- ・ 充電できるコンセント、無料ドリンク、タブレット貸し出し
- ・ ドリンクバーの設置
- ・ 喫煙スペースを増やす
- ・ 全館完全禁煙
- ・ テレビ増設

問 23－3. 問 23－1. で「利用しない」に回答した方にお尋ねします。以下のようなサービスがあれば特別観覧席を利用しますか？（その他）

- ・ きれいなら
- ・ 広々としていれば

問 24－2. 問 24－1. で「利用する」と回答した方にお尋ねします。利用される主な理由をお答えください（その他）

- ・ 他に食べるところがないから
- ・ 他に選ぶことが出来ない
- ・ 楽しいから

問 24－3. 問 24－1. で「利用しない」と回答した方にお尋ねします。利用しない主な理由をお答えください。（その他）

- ・ どこに何があるか良く分からない
- ・ なじみの店がない
- ・ まずい

問 31. 立川競輪をより一層魅力的なものにするためには何が必要でしょうか？ご意見・ご要望がありましたらご記入をお願いします。

- ・ TV を増やす(オッズ)
- ・ 椅子を少しふやしてほしい。ゴミ箱を増やしてほしい。
- ・ 今いる客層は賭け要素が主な目的が多いと思いますが、若い人は臨場感やライブ感などを楽しみにすると思うので、体験型アトラクション・レジャーとして、売店等の拡充や競輪場という場を楽しめる施設になると「一度行ってみたい」から来場者が増え、ゆくゆくはリピーターにつながるのではないかと思います。
- ・ 飲食スペースを増やす
- ・ おしゃれな色使い
- ・ カフェ、コンビニがあると嬉しい。Suica 等で入場出来ると嬉しい
- ・ カフェとか、東京競馬場のような楽しくてきれいな館内
- ・ きれいな場内
- ・ 競輪場の音を臨場感が出るように聞けるようにする。(プレミアムルームにスピーカーで流す)とかはいかがでしょうか。
- ・ 子どもの居場所を増やす
- ・ 子供向けグッズやおみやげ等があれば買いたいです。
- ・ コンビ尼があるといいです
- ・ 場内完全禁煙とは言わないが、せめて吸えない場所で吸っている人に注意すべき。ルールが守れない人は出入禁止にするぐらいの気持ちが必要だ
- ・ 照明を少し明るくしてください 明るい場所を一角でも作るとか
- ・ 女子トイレを綺麗にしてほしい
- ・ 女性が入りやすい様な雰囲気？CM 等でのイメージ UP？
- ・ 清潔感
- ・ 外で見れる座席をふやしてほしい
- ・ テーブル、いすを増やしてほしい
- ・ 東京競馬場みたいなガーデン、美しさ、カフェ、ディズニーみたいな美しさ
- ・ 特観席を広くしてほしい
- ・ レディース専用の席
- ・ イベントを増やす
- ・ 給茶機器の場所案内
- ・ グッズの販売
- ・ 特別観覧席を安くしてほしい
- ・ バンク内観戦を増やしてほしい
- ・ ファンサービスの充実
- ・ 未確定抽選会の賞品にクオカードを増やしてほしい
- ・ もう少しサービスを良くしてほしい
- ・ もっと早く入場できるように
- ・ 若い人が来てくれるような工夫が良い
- ・ 若い人達が来場してくれる様なイベントをテレビ等でもっと宣伝したらよいと思います。
- ・ 食べるところをきれいに充実してほしい。

- ・ 食べるために座れるスペース(カウンターとファミリー用)があるといい。
- ・ 飲食店の充実
- ・ 今日初めて来ましたが、食堂が少ないと思いました
- ・ 食事の改善
- ・ 食堂の充実
- ・ 無料ドリンクの場所を増やす
- ・ 本場開催日数を増やす(月に2開催)・ ナイター競輪の開催・ G1 レースの開催
- ・ ガールズ競輪を中心に
- ・ 最近開催数が減少している。いろいろな理由があると思うができるだけ開催してほしい。
- ・ ナイター競輪の実施
- ・ 帰りの立川駅までの無料バスの充実。
- ・ シャトルバスをもっと広告したほうがいいです。
- ・ 送迎バスの時間を遅くしてほしい
- ・ 立川駅行バスの本数増。時刻の適性化
- ・ バス増設
- ・ 無料バス、最終レースまで運行して下さい。
- ・ レース終了後の立川行き最終バスの延長
- ・ wifi の充実
- ・ 地元＝東京選手のがんばり
- ・ 少しずつ改善されていると思います。選手会も地元のイベントに参加していることはとても良いことだと思います。
- ・ 選手との交流
- ・ 立川所属の選手達のファンサービスは素晴らしいです。
- ・ 若い人を集めること
- ・ 他場の車券を多く買えるようにお願いします。
- ・ 選手のインタビューを行ってほしい
- ・ ファンサービスの充実 特別競輪の開催
- ・ バックヤードツアーの実施 可能であればナイター、ミッドナイト実施
- ・ もう少しきれいにしてほしい。女性は時々指定席無料にしてほしい

※代表的な意見を掲載しています。

※一部の不適切な記述については編集、削除しています。

【資料2】ヒアリング調査結果

1 事業者ヒアリング調査

本計画の策定の参考とするため、専用場外設置者、及び民間ポータル運営事業者に、ヒアリング調査を実施しました。

＜ヒアリング実施先＞

- ・専用場外車券売場 サテライト双葉
- ・民間ポータル運営事業者 (株)ケイドリームス

＜ヒアリング内容＞

- (1) 設置者、運営者として工夫している売上浮揚策、工夫等
- (2) 設置者、運営者としての立川競輪に対する評価
- (3) 施行者等に臨まれること
- (4) その他

2 ヒアリングその1【サテライト双葉】

(1) 設置者、運営者として工夫している売上浮揚策、工夫等

- ・なるべくサテライトに来なければ得られない情報をという事で予想会を月3回（競輪）程度やっている。予想の当たり外れよりも、お客様の購買意欲を刺激して欲しいという事をお願いしている。
- ・最近競輪のナイター売上の落ち込みが顕著なので、他競技（特に地方競馬）のお客様に対して投票券引換クーポン券の配布等を行っている。また、オッズ表示を一新してより多場併売に対応できるようにした。
- ・サテライト双葉では競輪車券以外にもボートレースを取り扱っており、ボートレースの併売数増加（6→8場）は売上増に効果的だった。但し、短期的な結果であるので今後の推移を見守りたい。

(2) 設置者、運営者としての立川競輪に対する評価

- ・KEIRIN グランプリの開催場である事からお客様に対してのネームバリューも相当あると感じる。反面、きちんとした施策がなされていない場合は「立川なのに」という否定部分が強く感じられる場合がある。期待が大きければ反動も大きいという事かと推測する。
- ・KEIRIN グランプリを初め、場外売場（サテライト）の積極推進や2車単や3連単の新車券とか民間ポータルの導入等様々な新施策は立川競輪場が業界に先駆けて始めた事であるが、最近そういう斬新な話を聞かない。良くて悪くても業界の俎上に乗っている事が大事だと思うので、立川競輪発の話をたくさん聞いてみたい。
- ・時代の趨勢とはいえコンテンツとして競輪はまだ魅力的であると思う。民間事業者には車券は売れても主催は出来ないわけだから、主催者として誇りを持って事業展開をして欲しい。

（３）施行者等に臨まれること

- ・立川競輪に関しては、ナイター開催や週末開催は必須。都内というメリットを生かして、若者に限らず生観戦するお客様を増やして欲しい。インターネット投票に力を入れるのはわかるが、それでは競輪の魅力は伝わらない。今でも KEIRIN グランプリには1万人を超える人が訪れている。やはり生の迫力を伝える努力は必要だと思う。
- ・そのためには施設改善はもちろん、アクセス方法の整備等も重要だと思う。昔オケラ街道と呼ばれた競輪場への道を、地域起しと連動したイベントやチャンピオンロードと銘打っての装飾はどうだろうか。更に高額購入者（ロイヤル利用者）に対し限定グッズ提供や至近の駐車場提供等のサービスを拡充させるのも良いと思う。

3 ヒアリングその２【㈱ケイドリームス】

（１）設置者、運営者として工夫している売上浮揚策、工夫等

- ・入会から投票までについて
 - 興味喚起（どうやって興味をもつか、何に興味をもつか）
 - 購入補助（どうやったら投票するものを決めるか、予想・予想に必要なデータ）
 - 購買インセンティブ（買いたいと思わせるモチベーション）
 - 定着化（継続して購入するためのコミュニケーション）上記４つのステップとしてそれぞれのステップを細分化する。
- ・興味喚起は、競輪・公営競技・ノベルティなどに分けて競輪であれば、グレードレース・ガールズケイリン・短期登録・ミッドナイトなどコンテンツなど訴求興味を細分化する。
- ・購入補助では、お客様にとって有益であろうデータ（連勝・特昇リーチ・高勝率など）をできるだけTOP ページに近いところから見るができるようする。
- ・購買インセンティブは、選手に関連したノベルティを準備するなどして金額だけのモチベーションでないようにする。
- ・定着化はイベントや参加型のキャンペーンでお客様とのコミュニケーションメニューを用意している。
- ・2019 年度以降の５年間では、対前年度比 110%～115%の売上を見込んでいる。

（２）設置者、運営者としての立川競輪に対する評価

- ・KEIRIN グランプリ発祥の地、KEIRIN グランプリ開催場ということのブランドは強みであると考えている。
- ・立地条件（住宅地にある）からかナイター・ミッドナイトや外向きなど時代にあった本場としての施策に制限が生じていて動くことができない。
- ・特色としては、ファンサービスについては他場にはないものを以前から取り入れていてその点で昔からのお客様は立川ファンが多いような気がする。

具体例

- 場内のジュースサービス（今は廃止）
- 夏のアイス・冬の甘酒の先着サービス
- KEIRIN グランプリや記念競輪のジャンパー

KEIRIN グランプリ出場選手クオカード

マイスケジュール（他場の開催情報があるものがオリジナル）

このようなサービスは他場にはないものでお客様の評判もよいと思う。

- ・以前は立川競輪から始めた施策も多く見られたがこの点は最近なくなってきたような気がする。

具体例

インターネットライブ（立川から始まり、現在の JP ストリームへと変わった）

衛星放送（立川から始まり、その結果 SPEED チャンネルが設立され、無料の独自放送も行った）

以上のように情報発信手法は立川競輪場が初というものが多く、その結果電話投票などのお客様に立川競輪ファンの拡大につながったと思う。

（３）施行者等に臨まれること

- ・本場の魅力は、やはり「生のレース」や「選手」がそこにいるというリアリティ。一方で、ライフスタイルは変化していて以前に比べて圧倒的に月～金勤務が増えていと思う。この時代にどう合わせていくかは重要だと思う。本場ができるリアリティは、インターネット事業者でも絶対できないこと。このリアリティをどう伝えていくかが課題で、インターネットはその道具に過ぎない考える。インターネット事業者と施行者がこの点でどう連携していくかが今後の課題。
- ・無料バスは川崎・平塚に次いで便利だと思うが最終レースまで走っていないのは立川競輪だけだと思う。歩いて帰る客が減る分、道中ゴミを捨てる人も減って、地域の環境美化にもつながるのではないかと思う。
- ・業界として、競輪離れを「あたりにくい」のせいにして、７車立ての推進など安易に「あたりやすい」を是として競輪の魅力を伝えることから逃げている気がする。本来の魅力がユーザーに伝わらなければ継続してもらえないのではないか。「あたりやすさ」を商品の売りにするとボートレースにかなわないので、競輪の魅力や買い方をどう伝えるかが重要だと感じる。

（４）その他（売上浮揚策・来場促進策についての提案）

- ・お客さまが求めているのはリアリティやライブ感。立川競輪ならではのサービスを提供することで、インターネット・本場に関わらずより多くのお客様に興味を持ってもらうことができるのではないか。

①オリジナル映像の配信

- ・競輪場に複数のカメラを設置してさまざまな角度からお客様に見てもらう。
- ・競輪はレースの醍醐味が魅力の一つなので、バンク内からの映像などを提供して迫力のある映像を提供する。また、選手の魅力を伝える上で検車場での様子などの映像も提供するなど。
- ・映像については、インターネットで流すだけでなく本場でも視聴できるように本場の楽しさの一つとして提供する。

②オリジナル情報の提供

- ・競輪を予想するにあたり、立川競輪ならではの情報を提供する。カメラの設置位置によってはトラッキングコードなどで独自の数値（最高時速や位置取りなど）を表示することができる。

③ネットにおけるファン・コミュニティの創設

- ・競輪という共通の趣味においてネット上のコミュニティを構築することで、ネット上においても競輪ファン同士が結びつき、ネットおよびリアルなところでファン同士が楽しむ場を提供する。

【資料 3】 収支改善について

「立川競輪事業の将来像（2014 年版）」に掲載の参考資料「収支改善について」、その後の対応が図られたもの及び記載事項以外の取組事項を以下のとおりまとめました。

1 収支改善について

□外向発売所新設による発売日数増加・早朝発売の実施

立川競輪場の開催日数は、平成 26 年度は 145 日（本場 55 日、場外 90 日）でしたが、近隣場との調整を図るなど開催日数の増加に努め、平成 31 年度は 171 日（本場 46 日、場外 125 日）を予定しております。施設整備については、一般席を完全屋内化し、さらなる効率的な活用を検討してまいります。

□ナイター競輪発売

現状、競輪界ではナイター開催やミッドナイト開催の実施により売上浮揚と収益金の確保に努めています。また、お客様の要望に応えるため、記念競輪や競輪祭（GI）のナイター開催、およびナイター場外発売を積極的に進め、新規顧客の獲得を図っています。

立川競輪場では、業界からのナイター開催や場外発売の積極的な要望を受け、関係機関と調整の結果、競輪祭（GI）を既存開催時間内でのナイター競輪の場外前売り発売を行いました。

また、前橋競輪場の借上げにより立川市営のミッドナイト競輪の開催を実施しており、一定の収益金の確保ができています。

ナイター及びミッドナイト開催及び場外発売については、新規お客様の獲得や一定の収益金の確保が見込めることから、新たな施策として検討が必要と考えています。

□各種広報誌への掲出

費用対効果を考え、記念開催及び KEIRIN グランプリ開催時において広報計画を立て実施しています。

□学生コンテスト

記念開催及び KEIRIN グランプリ開催時の開催告知ポスターの作成については、一般公募も実施しています。

□ホームページ及び SNS・Twitter を使用した広告の強化

ホームページや、Facebook、公式 YouTube チャンネルや Twitter を活用し、情報発信

を行っております。また、選手会と連携し、より親しみを持ってもらえるよう工夫に努めております。

□オリンピックパブリックビューイング
実施に向け、検討を進めています。

□立川市内の施設とのコラボレーション
ららぽーと立川立飛や伊勢丹立川店と連携し、競輪の周知PRイベントを実施しました。

□お子様向けのSTRIDER（ストライダー）試乗会&ミニレースの実施
ストライダーミニレースの実施会場として、たちかわ競輪感謝祭時などにバンクを貸し出すことにより、ファミリー世代を中心とした周辺の地域ファン獲得に努めております。

2 その他の取組事項

□開催従事員の退職者不補充
開催体制の見直しを行うとともに、開催従事員の退職者不補充を継続しました。

□借地の購入
借用していたバックスタンドの土地を平成28年度に購入し、経常費の圧縮につなげました。

□たちかわ競輪感謝祭の実施
平成29年度から立川競輪場周辺住民の方々のご理解への感謝や、立川市が管理するサテライト（場外車券売場）の地元自治体との交流等を目的として、たちかわ競輪感謝祭を開催しました。



たちかわ競輪感謝祭の様子

【資料４】 一般会計への繰出金

昭和26年に開設した立川競輪場は、平成30年度までに約1,327億円を一般会計に繰出し、教育施設、道路、下水道の整備等市財政に大きく貢献してきました。

平成元年度の78億円をピークに減少し、平成17年度からは、競輪事業の財政基盤の安定や今後の施設整備のため、収益金は基金に積み立て、一般会計への繰出金は1千万円としていましたが、第4次長期総合計画の前期基本計画の財政収支の見通しで示したとおり、平成27年度から31年度までは1億円としております。

(単位:円)

年号	繰出金	特別競輪等	年号	繰出金	特別競輪等
昭和26年	9,750,000		平成元年	7,814,824,000	
昭和27年	61,158,000		平成2年	4,958,073,000	グランプリ
昭和28年	89,115,000		平成3年	4,994,858,000	グランプリ
昭和29年	95,125,000		平成4年	5,912,355,000	日本選手権
昭和30年	108,008,000		平成5年	7,047,007,000	グランプリ
昭和31年	104,063,000		平成6年	5,482,658,000	グランプリ
昭和32年	156,786,000		平成7年	5,082,956,000	グランプリ
昭和33年	120,642,000		平成8年	5,252,412,000	グランプリ
昭和34年	176,590,000		平成9年	4,500,000,000	グランプリ
昭和35年	234,482,000		平成10年	4,450,000,000	グランプリ
昭和36年	274,852,000		平成11年	2,650,000,000	グランプリ
昭和37年	339,655,000		平成12年	2,430,000,000	グランプリ
昭和38年	469,830,000		平成13年	2,000,000,000	日本選手権
昭和39年	665,467,000		平成14年	2,000,000,000	グランプリ
昭和40年	891,385,000		平成15年	750,000,000	
昭和41年	1,011,690,000		平成16年	400,000,000	グランプリ
昭和42年	1,057,230,000		平成17年	10,000,000	日本選手権
昭和43年	1,209,397,000		平成18年	10,000,000	
昭和44年	1,364,191,000		平成19年	10,000,000	グランプリ
昭和45年	1,885,386,000		平成20年	10,000,000	
昭和46年	2,185,002,000		平成21年	10,000,000	
昭和47年	2,442,700,000		平成22年	10,000,000	グランプリ
昭和48年	2,083,577,000		平成23年	10,000,000	
昭和49年	3,221,820,000		平成24年	10,000,000	日本選手権
昭和50年	3,245,000,000		平成25年	10,000,000	グランプリ
昭和51年	2,620,000,000		平成26年	10,000,000	
昭和52年	2,800,000,000		平成27年	100,000,000	
昭和53年	2,900,000,000		平成28年	100,000,000	グランプリ
昭和54年	3,200,000,000	日本選手権	平成29年	100,000,000	
昭和55年	3,111,000,000		平成30年	100,000,000	
昭和56年	3,200,000,000	オールスター	合計	132,738,044,000	
昭和57年	3,344,000,000				
昭和58年	3,400,000,000				
昭和59年	3,400,000,000				
昭和60年	3,300,000,000	グランプリ(初開催)			
昭和61年	3,300,000,000	グランプリ			
昭和62年	3,935,000,000				
昭和63年	4,500,000,000	グランプリ			

【資料５】 基金残高

（１） 立川市競輪事業財政調整基金

競輪事業財政調整基金は、各年度の財源の調整を図り、財政の健全な運営に資するため設置しています。

（単位：円）

	積立			取崩	増減	年度末現在高
	収益分	利子分	合計			
平成元年度	1,670,809,000	307,413,909	1,978,222,909	2,211,600,000	△ 233,377,091	4,824,127,682
平成2年度	1,722,007,000	327,563,744	2,049,570,744	2,832,947,000	△ 783,376,256	4,040,751,426
平成3年度	2,424,894,759	266,864,241	2,691,759,000	1,437,307,000	1,254,452,000	5,295,203,426
平成4年度	1,089,972,241	246,085,531	1,336,057,772	0	1,336,057,772	6,631,261,198
平成5年度	641,162,000	171,340,956	812,502,956	1,687,880,000	△ 875,377,044	5,755,884,154
平成6年度	275,261,000	106,161,039	381,422,039	1,863,197,000	△ 1,481,774,961	4,274,109,193
平成7年度	0	55,553,892	55,553,892	250,000,000	△ 194,446,108	4,079,663,085
平成8年度	0	22,328,264	22,328,264	900,000,000	△ 877,671,736	3,201,991,349
平成9年度	0	16,496,585	16,496,585	1,800,000,000	△ 1,783,503,415	1,418,487,934
平成10年度	0	3,557,174	3,557,174	1,422,000,000	△ 1,418,442,826	45,108
平成11年度	0	1,677	1,677	0	1,677	46,785
平成12年度	0	104	104	0	104	46,889
平成13年度	0	49	49	0	49	46,938
平成14年度	100,000,000	21	100,000,021	0	100,000,021	100,046,959
平成15年度	0	833	833	0	833	100,047,792
平成16年度	17,623,000	696	17,623,696	0	17,623,696	117,671,488
平成17年度	480,000,000	59	480,000,059	0	480,000,059	597,671,547
平成18年度			0	0	0	597,671,547
平成19年度	340,898,000	1,110,762	342,008,762	99,554,520	242,454,242	840,125,789
平成20年度	446,831,581	1,264,991	448,096,572	58,527,747	389,568,825	1,229,694,614
平成21年度	335,233,710	740,897	335,974,607	73,910,344	262,064,263	1,491,758,877
平成22年度	202,658,000	314,340	202,972,340	65,637,615	137,334,725	1,629,093,602
平成23年度	42,400,000	388,352	42,788,352	145,461,756	△ 102,673,404	1,526,420,198
平成24年度	198,809,000	1,186,412	199,995,412	49,499,600	150,495,812	1,676,916,010
平成25年度	299,273,000	726,312	299,999,312	43,781,928	256,217,384	1,933,133,394
平成26年度	187,049,000	1,109,794	188,158,794	46,626,229	141,532,565	2,074,665,959
平成27年度	68,107,000	1,003,310	69,110,310	42,942,331	26,167,979	2,100,833,938
平成28年度	101,962,000	464,928	102,426,928	35,784,462	66,642,466	2,167,476,404
平成29年度	50,333,000	95,941	50,428,941	48,056,962	2,371,979	2,169,848,383
平成30年度	50,185,000	95,477	50,280,477	34,289,410	15,991,067	2,185,839,450
合 計	10,745,468,291	1,531,870,290	12,277,338,581	15,149,003,904	△ 2,871,665,323	-----

(2) 立川市競輪事業施設等整備基金

競輪事業施設等整備基金は、施設及び設備の整備並びに用地の購入に資するため設置しています。

(単位:円)

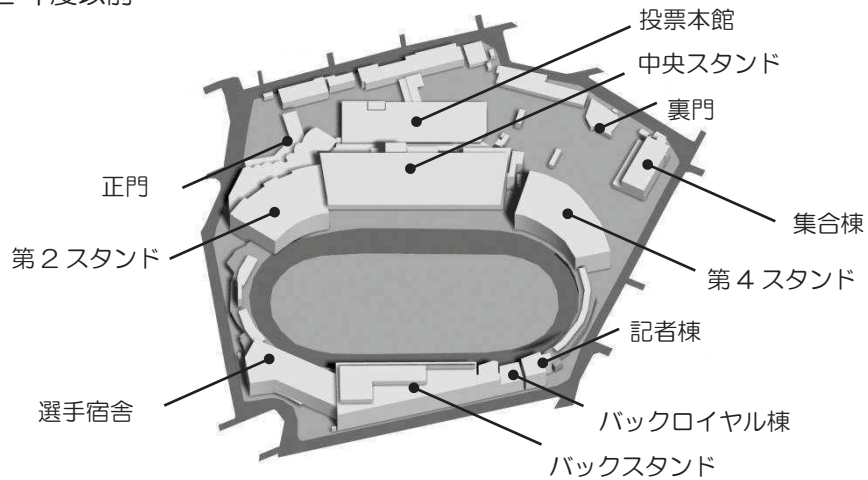
	積 立			取 崩	増 減	年度末現在高
	収益分	利子分	合 計			
平成18年度	690,000,000		690,000,000	0	690,000,000	690,000,000
平成19年度	1,336,038,000	1,206,768	1,337,244,768	0	1,337,244,768	2,027,244,768
平成20年度	784,482,000	3,334,194	787,816,194	25,174,286	762,641,908	2,789,886,676
平成21年度	260,000,000	6,026,525	266,026,525	154,821,600	111,204,925	2,901,091,601
平成22年度	875,000,000	2,388,313	877,388,313	93,451,680	783,936,633	3,685,028,234
平成23年度	356,463,000	2,675,678	359,138,678	169,404,480	189,734,198	3,874,762,432
平成24年度	340,000,000	4,306,996	344,306,996	508,728,002	△ 164,421,006	3,710,341,426
平成25年度	1,017,000,000	4,288,705	1,021,288,705	169,141,708	852,146,997	4,562,488,423
平成26年度	120,000,000	4,929,254	124,929,254	87,112,848	37,816,406	4,600,304,829
平成27年度	340,000,000	3,678,672	343,678,672	409,461,501	△ 65,782,829	4,534,522,000
平成28年度	1,072,000,000	1,144,769	1,073,144,769	3,402,767,493	△ 2,329,622,724	2,204,899,276
平成29年度	540,000,000	158,385	540,158,385	33,200,668	506,957,717	2,711,856,993
平成30年度	530,033,000	177,972	530,210,972	131,235,635	398,975,337	3,110,832,330
合 計	8,261,016,000	34,316,231	8,295,332,231	5,184,499,901	3,110,832,330	-----

【資料6】 施設改修及び保全について

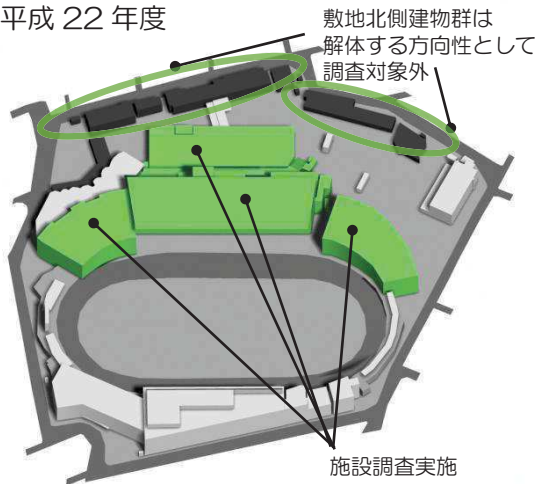
平成 24 年 2 月に「立川競輪場施設改修基本計画」を策定し、施設改修工事（第 1 期）を行い、平成 28 年 12 月にリニューアルオープンをしました。

引き続き施設改修工事（第 2 期）に向けた整理と、施設改修基本計画の対象となっていない施設の安全対策も喫緊の課題であり、施設改修の経過を以下のとおりまとめました。

□平成 22 年度以前



□平成 22 年度



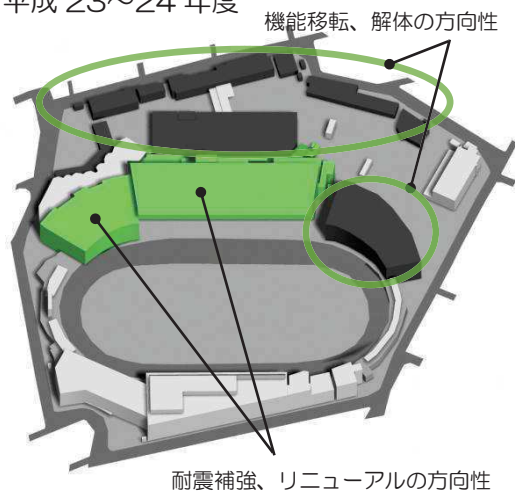
・平成 22 年度「施設調査委託」

⇒老朽化した施設の耐久性、設備機器の現状調査を実施（中央スタンド、第 2 スタンド、第 4 スタンド、投票本館）。

⇒敷地北側建物群は、1981（昭和 56）年より前の旧耐震基準で建てられており経年が進んでいること、都市計画道路立 3・4・25 号線の範囲に含まれること等から解体の方向性を見込み、調査対象とはせず。

⇒集合棟、選手宿舎、バックスタンド等については平成期の建物であり、当時は経年劣化が進行していないものと判断し、調査対象とはせず。

□平成 23～24 年度



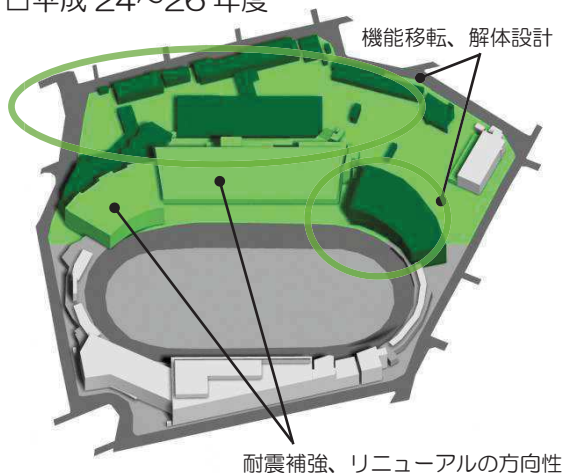
- 平成 23 年度「基本計画策定支援業務委託」

⇒施設調査に基づき、立川競輪場施設改修基本計画を策定。北側建物群および第4スタンド、投票本館の機能移転と解体、中央スタンドおよび第2スタンドの耐震補強とリニューアルの方向性を示す。

- 平成 23 年度「中央スタンド耐震診断委託」
- 平成 24 年度「第2スタンド耐震診断委託」

⇒立川競輪場施設改修基本計画でリニューアルの対象となった中央スタンド、第2スタンドの耐震診断を実施。

□平成 24～26 年度

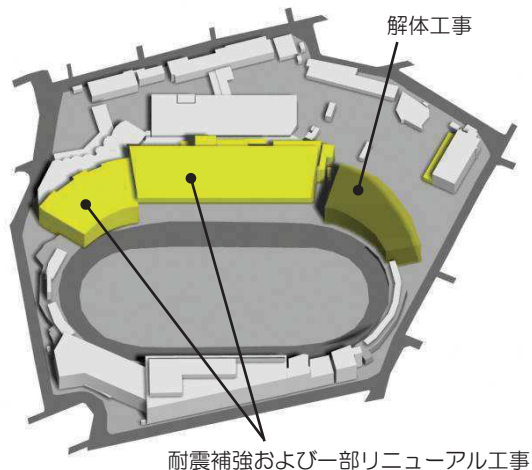


- 平成 24/25 年度「投票本館建替工事設計委託」
- 平成 25 年度「施設改修工事実施設計」
- 平成 26 年度「施設改修実施設計（第2期）」

⇒北側建物群および第4スタンドの機能移転と解体、中央スタンドおよび第2スタンドの耐震補強とリニューアルの基本設計（プロポーザル）。基本設計に基づく実施設計。

⇒建設物価上昇の影響を受け、改修面積の減少、仕様の見直しで、改修工事に係る費用を 45 億 1 千万円とする。

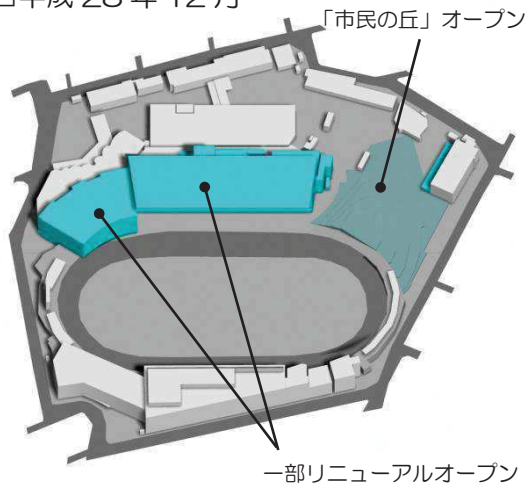
□平成 27～28 年度



- 平成 27/28 年度「施設改修工事（第1期）」
- 「施設改修工事監理委託（第1期）」

⇒労務不足を要因とする単価上昇などで2度の入札不調を受け、実施設計内容のおおよそ半分に相当する、中央スタンドと第2スタンド等の耐震補強と一部リニューアル、第4スタンドの解体等を実施。

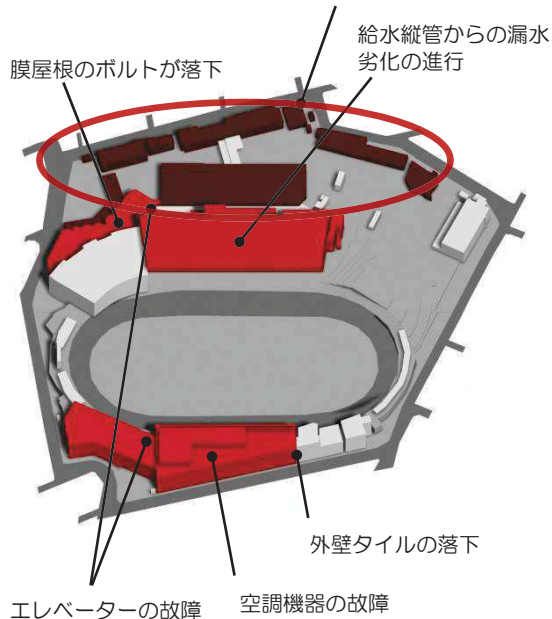
□平成 28 年 12 月



- 平成 28 年 12 月リニューアルオープン
- ⇒中央スタンドおよび第2スタンドが一部リニューアル。
- ⇒地域への開放エリアとして「市民の丘」オープン。

□平成 29 年度以降

施設改修計画で取り壊す予定の施設



※立川競輪場施設改修基本計画の対象外の施設でも
老朽化が進んでいる。

<主な事象、課題>

- 平成 30 年度に正門前、選手宿舎のエレベーター故障が発生（閉じ込め等の被害なし）。これ以外
の場内全てのエレベーターも外部機関に点検を
委託したところ、老朽化が進行しており、リニ
ューアルを推奨されている。

- 平成 30 年 8 月にバックスタンド外壁タイルが自
然落下し道路上に飛散（人的被害なし）。外部機
関に場内のタイル仕上の建物（バックスタンドの
他、選手宿舎、集合棟、記者棟、バックロイヤル
棟）の外壁打診調査を依頼し、調査した全ての建
物で一部のタイルの浮きが
生じている旨の結果を得
る。



- 平成 30 年 8 月に中央スタ
ンド5階機械室内の給水縦
管（建物内の給水配管の
“幹”となる部分）の漏水
が発生。交換補修のため当
該部分の給水管内部を確認
したところ、経年による錆
の進行が原因と判明（中央
スタンド内でも施設改修計画/設計/工事の対象
外となっていた部分であり、他の給水管でも経年
劣化の進行が想定される）。
- 平成 30 年 10 月に正門膜屋根のボルトが落下（非
開催中で被害なし）。緊急で膜屋根ボルト全数の
点検と増締作業、膜屋根メーカーによる部材補強
を実施。
- 経年劣化に伴いバックスタンドの空調機器（冷温
水発生器）の故障が頻発。



【資料 7】

立川競輪事業の将来像検討委員会委員名簿

	役 職	氏 名
委 員 長	公営競技事業部長	大平 武彦
副委員長	産業文化スポーツ部長	矢ノ口 美穂
委 員	総合政策部広報課長	澤田 克巳
	総合政策部行政経営課長	渡貫 泰央
	財務部財政課長	齋藤 真志
	産業文化スポーツ部 オリンピック・パラリンピック準備室長	下河辺 康
	(公財) JKA 東日本エリア競技部 第2競技実施チーム長	藤田 哲也
	(公社) 全国競輪施行者協議会 企画部企画課長	遠藤 秀仁
	立川競輪周辺対策協議会会長	竹内 幸雄
事 務 局	公営競技事業部事業課長	中村 達也
	公営競技事業部事業課庶務係長	小宮山 英稔
	公営競技事業部事業課施設係長	金田 行秀
	公営競技事業部事業課庶務係	大須賀 雄大
	公営競技事業部事業課施設係	村尾 充宏

【資料 8】

○立川競輪事業の将来像検討委員会設置要綱

（設置）

第1条 立川競輪の売上、入場者、開催経費、施設等の現状を分析し、車券売上浮揚策及び経営改善策を検討し今後の経営安定化に向けて幅広く検討するため、立川競輪事業の将来像検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所管事項）

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を検討する。

- （1） 売上浮揚策に関すること。
- （2） 事業費の合理化策に関すること。
- （3） 競輪事業における基金及び一般会計への繰出しに関すること。
- （4） その他必要な事項に関すること。

（組織）

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

2 委員長は、公営競技事業部長を、副委員長は、産業文化スポーツ部長を充てる。

3 委員は、総合政策部広報課長、総合政策部行政経営課長、財務部財政課長及び産業文化スポーツ部オリンピック・パラリンピック準備室長を充てるほか、次の各号に掲げる者につき、市長が委嘱する。

- （1） 公益財団法人JKA職員
- （2） 公益社団法人全国競輪施行者協議会職員
- （3） 立川競輪周辺対策協議会役員

（職務）

第4条 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

3 委員は、委員長の命を受けて委員会の事務に従事する。

（会議）

第5条 委員会は、委員長が必要と認めたときに招集する。

（意見聴取）

第6条 委員会は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席又は資料の提出を求めることができる。

（ワーキンググループの設置）

第7条 委員会は、必要に応じてワーキンググループを置くことができる。

2 ワーキンググループは、委員長の指名により、関係各課の職員をもって組織する。

3 ワーキンググループは、委員会が定めた事項の検討を終えたときは、速やかに委員会に検討結果を報告しなければならない。

（庶務）

第8条 委員会の庶務は、公営競技事業部事業課において処理する。

（委任）

第9条 この要綱の施行について必要な事項は、委員長が別に定める。

【資料 9】

検討の経過

令和元(2019)年 8月28日	第1回立川競輪事業の将来像(2020年版)検討委員会 ＜議題＞ ・立川競輪事業の将来像について(2014年版)に係る取組事項について ・立川競輪事業の将来像について(2020年版)の構成(案)について ・立川競輪を取り巻く現状 ・来場者アンケート調査の実施について ・今後の予定について
令和元(2019)年 10月15日	第2回立川競輪事業の将来像(2020年版)検討委員会 ＜議題＞ ・アンケート調査及びヒアリング調査結果について ・収支改善策について ・今後の収支予測(改善後)について ・今後の予定について
令和元(2019)年 11月20日	第3回立川競輪事業の将来像(2020年版)検討委員会 ＜議題＞ ・立川競輪事業の将来像について(2020年版)案について ・その他

立川競輪事業の将来像について（2020 年版）

令和2（2020）年2月発行

発行 立川市

〒190 - 0012

東京都立川市曙町3丁目32番5号

電話 042 - 524 - 1121

FAX 042 - 527 - 1929

ホームページ <http://www.city.tachikawa.lg.jp/>

編集 公営競技事業部事業課